

平成26年度教科用図書第3採択地区教育委員会協議会

# 報 告 書

報告、平成26年度教科用図書第3採択地区教育委員会協議会から受けました、

国 語、 書 写、 社 会、 地 図  
算 数、 理 科、 生 活、 音 楽  
図画工作、 家 庭、 保 健、 第9条図書

の小学校用教科用図書に係る調査研究の結果を、別添のとおり報告いたします。

平成26年7月31日

平成26年度小学校用教科用図書第3採択地区調査委員会会長

せたな町立若松小学校長 安 土 雅 弘



様式1

教科用図書第3採択地区調査委員会

( 国 語 ) 小委員会委員長

白川清久

印

調査研究 審議の経過	<p>1 審議の経過</p> <p>(1) 審議の対象となった発行者及び数</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・東京書籍、学校図書、三省堂、教育出版、光村図書の5者</li></ul> <p>(2) 調査研究の手順</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・第1回調査委員会（6月26日）で5者の教科書を配布し、調査の観点や手順を協議した。</li><li>・第2回調査委員会（7月15日、16日）に、各自の調査研究を基に内容別に協議し、様式1について整理するとともに、全体を通して各者の特徴をまとめ、様式2、様式3を作成した。</li></ul> <p>(3) 調査研究のための観点、項目</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・取扱内容については、学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等に基づいて取り上げられているか、また、知識・技能の習得、活用、探究に対応できるような内容が取り扱われているかという視点で調査し整理した。</li><li>・内容の程度・排列・分量等については、内容の構成・排列が、地域の実態や学年の発達段階に応じて系統的に組織されているか、また、内容の分量が領域等ごと、全体としてどのようになっているかという視点で調査し整理した。</li></ul>
全体を通じての特徴	<p>2 審議経過の概要</p> <p>(1) 東京書籍については、単元で付けたい力を明確にし、国語の学び方を身に付けることができるようにすることへの配慮という特色があり、優れている。</p> <p>学校図書については、他者と学び合う態度を示す工夫をし、幼保や中学校とのつながりを意図した教材を設けることへの配慮という特色があり、優れている。</p> <p>三省堂については、別冊によって発展的な学習を可能にし、図書館指導や情報活用への配慮という特色があり、優れている。</p> <p>教育出版については、教材のめあてや学習のステップを明確にし、全学年を通して読書力を育成することへの配慮があり、優れている。</p> <p>光村図書については、学年の発達に合わせた系統的な学習を可能にし、言語活動を明確にすることへの配慮があり、優れている。</p> <p>(2) その他、教育出版と光村図書については、北海道にかかわりのある内容の豊富さなどの話題も出されていた。</p>

国語の目標等について

【教科の目標】

国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力及び言語感覚を養い、国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てる。

【学年・領域等の目標など】

[第1学年及び第2学年]

- (1) 相手に応じ、身近なことなどについて、事柄の順序を考えながら話す能力、大事なことを落とさないように聞く能力、話題に沿って話し合う能力を身に付けさせるとともに、進んで話したり聞いたりしようとする態度を育てる。
- (2) 経験したことや想像したことなどについて、順序を整理し、簡単な構成を考えて文や文章を書く能力を身に付けさせるとともに、進んで書こうとする態度を育てる。
- (3) 書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付いたり、想像を広げたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる。

[第3学年及び第4学年]

- (1) 相手や目的に応じ、調べたことなどについて、筋道を立てて話す能力、話の中心に気を付けて聞く能力、進行に沿って話し合う能力を身に付けさせるとともに、工夫をしながら話したり聞いたりしようとする態度を育てる。
- (2) 相手や目的に応じ、調べたことなどが伝わるように、段落相互の関係などに注意して文章を書く能力を身に付けさせるとともに、工夫をしながら書こうとする態度を育てる。
- (3) 目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる。

[第5学年及び第6学年]

- (1) 目的や意図に応じ、考えたことや伝えたいことなどについて、的確に話す能力、相手の意図をつかみながら聞く能力、計画的に話し合う能力を身に付けさせるとともに、適切に話したり聞いたりしようとする態度を育てる。
- (2) 目的や意図に応じ、考えたことなどを文章全体の構成の効果を考えて文章に書く能力を身に付けさせるとともに、適切に書こうとする態度を育てる。
- (3) 目的に応じ、内容や要旨をとらえながら読む能力を身に付けさせるとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる。

【参考】

○ 国語科については、その課題を踏まえ、小学校、中学校及び高等学校を通じて、言語の教育としての立場を一層重視し、国語に対する関心を高め、国語を尊重する態度を育てるとともに、実生活で生きてはたらき、各教科等の学習の基本ともなる国語の能力を身に付けること、我が国の言語文化を享受し継承・発展させる態度を育てることに重点を置いて内容の改善を図る。

特に、言葉を通して的確に理解し、論理的に思考し表現する能力、互いの立場や考えを尊重して言葉で伝え合う能力を育成することや、我が国の言語文化に触れて感性や情緒をはぐくむことを重視する。

そのため、現行の「話すこと・聞くこと」、「書くこと」及び「読むこと」からなる領域構成は維持しつつ、基礎的・基本的な知識・技能を活用して課題を探究することのできる国語の能力を身に付けることに資するよう、実生活の様々な場面における言語活動を具体的に内容に示す。また、現行の[言語事項]の内容のうち各領域の内容に関連の深いものについては、実際の言語活動において一層有機的にはたらくよう、それぞれの領域の内容に位置付けるとともに、必要に応じてまとめて取り上げるようにする。

また、[言語文化と国語の特質に関する事項]を設け、我が国の言語文化に親しむ態度を育てたり、国語の役割や特質についての理解を深めたり、豊かな言語感覚を養ったりするため

の内容を示す。

- 子どもたちの発達の段階を踏まえた学習の系統性を重視し、学校段階・学年段階ごとに、具体的に身に付けるべき能力の育成を目指し、重点的な指導が行われるようにする。その際、小学校においては日常生活に必要な国語の能力の基礎を、中学校においては社会生活に必要な国語の能力の基礎を、高等学校においては社会人として必要な国語の能力の基礎をそれぞれ確実に育成するようにする。

- 古典の指導については、我が国の言語文化を享受し継承・発展させるため、生涯にわたって古典に親しむ態度を育成する指導を重視する。

漢字の指導については、実生活や他教科等の学習における使用や、読書活動の充実に資するため、確実な習得が図れるよう、指導を充実する。書写の指導については、実生活や学習場面に役立つよう、内容や指導の在り方の改善を図る。

敬語の指導については、人間関係を円滑にし、日常の言語生活を豊かにするため、相手や場に応じた言葉遣いが適切にできるようにすることを重視する。言葉のきまりの指導については、系統的に指導するとともに、実際に文章を書いたり読んだりするときなどに役立つよう、指導の改善を図る。

読書の指導については、読書に親しみ、ものの見方、感じ方、考え方を広げたり深めたりするため、読書活動を内容に位置付ける。教材については、我が国において継承されてきた言語文化に親しむことができるよう、長く読まれている古典や近代以降の作品などを、子どもたちの発達の段階に応じて取り上げるようにする。

- 標準授業時数

第1学年－306単位時間

第2学年－315単位時間

第3学年－245単位時間

第4学年－245単位時間

第5学年－175単位時間

第6学年－175単位時間

番号  観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
取扱内容  各学年の目標、内容等 学習指導要領の総則及び各教科、	2・東書	第1学年 第2学年 第3学年 第4学年 第5学年 第6学年	国語131、国語132 国語231、国語232 国語331、国語332 国語431、国語432 国語531 国語631	あたらしいこくご-上、あたらしいこくご-下 新しい国語二上、新しい国語二下 新しい国語三上、新しい国語三下 新しい国語四上、新しい国語四下 新しい国語五 新しい国語六
		<p>○ 話すこと・聞くことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにになっている。</p> <p>第1,2学年～ 聞いたことを正しく伝える活動やおもちゃの作り方を説明する活動を通して、相手に応じ、身近なことなどについて事柄の順序を考えながら話したり、大事なことを落とさないように聞いたりする。</p> <p>第3,4学年～ 司会を決めてグループで話し合う活動やポスターを使って発表する活動を通して、相手や目的に応じて、分かったことや考えたことについて筋道を立てて話したり、進行に沿って話し合ったりする。</p> <p>第5,6学年～ 自分の主張を明確にして計画に沿って話し合う活動や資料を効果的に活用して発表する活動を通して、目的や意図に応じ、伝えたいことなどについての的確に話したり、相手の意図をつかみながら聞いたりする。</p> <p>○ 書くことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにになっている。</p> <p>第1,2学年～ 身の回りの生き物を見て気付いたことを友達に紹介する文章を書く活動や自分の知っている名人を友達に紹介する文章を書く活動を通して、経験したことなどについて順序を整理し、簡単な構成を考えて書く。</p> <p>第3,4学年～ 学校の行事の案内状を書く活動や学校やクラスで起きた出来事取材し学級新聞にまとめる活動を通して、相手や目的に応じ、調べたことなどが伝わるように段落相互の関係などに注意して書く。</p> <p>第5,6学年～ 構成を工夫して物語を書く活動や6年間を振り返って自分の思いを伝える文章を書く活動を通して、目的や意図に応じ、文章全体の構成の効果を考えて書く。</p> <p>○ 読むことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにになっている。</p> <p>第1,2学年～ 乗り物の仕組みについて説明する本を読む活動や場面を選び人物の様子を思い浮かべて音読する活動を通して、事柄の順序に気付いたり、想像を広げたりしながら読む。</p> <p>第3,4学年～ 物語を読んで中心となる人物の気持ちを想像する活動や広告と説明書を読み比べる活動を通して、目的に応じ、内容の中心をとらえたり、段落相互の関係を考えたりしながら読む。</p> <p>第5,6学年～ 新聞の複数の投書記事を読んで書き方を比べる活動や関連のある複数の本を読んで友達に推薦する活動を通して、目的に応じ、内容や要旨をとらえながら読む。</p> <p>○ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～ 昔話や神話・伝承の読み聞かせを聞いたり自分で読んだりしておもしろいと思ったところを発表する活動や、昔から伝わる生活に役立つ言い回しを知り声に出して読む活動</p> <p>第3,4学年～ リズムを感じ取りながら百人一首を音読してかるた遊びをする活動や、日常使われている簡単な単語についてローマ字で書いたり読んだりする活動</p> <p>第5,6学年～ 「竹取物語」や「平家物語」などの文語調の文章を音読する活動や、話し言葉と書き言葉の違いに気付いたり、日常よく使われる敬語の使い方に慣れたりする活動</p> <p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～ 教材末の「ことばの力」において、大事なことを落とさず聞いたり、順序を考えて書いたりすることについて振り返り、確かめるなど基礎的・基本的な知識・技能の習得を図る活動</p> <p>第3,4学年～ 教材末の「言葉の力」において、筋道を立てて話したり、目的と形式を考えて書いたりすることについて振り返り、確かめるなど、基礎的・基本的な知識・技能の習得を図る活動</p> <p>第5,6学年～ 教材末の「言葉の力」において、資料を活用して説明したり、意見を書いたりすることについて振り返り、確かめるなど、基礎的・基本的な知識</p>		

・技能の習得を図る活動

<p>内容の構成・排列、分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1,2学年～ 第1学年で、遊び方を順序よく話す活動、第2学年で、おもちゃの作り方や遊び方を順序よく分かるように説明する活動を取り扱うなど、2学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第3,4学年～ 第3学年で、司会の進行に沿ったグループでの話し合い活動、第4学年で、自分の役割を考えた学級での話し合い活動を取り扱うなど、2学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第5,6学年～ 第5学年で、資料から読み取った情報を活用して文章を書く活動、第6学年で、資料から読み取れる事実を基に自分の意見を書く活動を取り扱うなど、2学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第1学年～ 「話すこと・聞くこと」は7教材、「書くこと」は8教材、「読むこと」は18教材であり、総ページ数は312ページで、前回より約20パーセント増となっている。</p> <p>第2学年～ 「話すこと・聞くこと」は5教材、「書くこと」は9教材、「読むこと」は15教材であり、総ページ数は350ページで、前回より約22パーセント増となっている。</p> <p>第3学年～ 「話すこと・聞くこと」は4教材、「書くこと」は8教材、「読むこと」は15教材であり、総ページ数は366ページで、前回より約20パーセント増となっている。</p> <p>第4学年～ 「話すこと・聞くこと」は4教材、「書くこと」は8教材、「読むこと」は14教材であり、総ページ数は358ページで、前回より約18パーセント増となっている。</p> <p>第5学年～ 「話すこと・聞くこと」は4教材、「書くこと」は6教材、「読むこと」は15教材であり、総ページ数は298ページで、前回より約3パーセント増となっている。</p> <p>第6学年～ 「話すこと・聞くこと」は4教材、「書くこと」は5教材、「読むこと」は16教材であり、総ページ数は290ページで、前回より約1パーセント増となっている。</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 学級の友達と身の回りの名人を紹介し合う活動（第2学年）や役割を決めて音読劇をする活動（第4学年）を通して、相手意識や目的意識を明確にするとともに、年間を通して読書を促す教材や資料を設ける（全学年）など、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 「てびき」の欄を設けて学び方を示したり（全学年）、「国語のノートの作り方」の欄を設けてノート作りの方法を示したり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 巻末に、身に付けた力を他教科等の学習に活用することを促す『言葉の力』を活用しよう」を掲載する（第3～6学年）とともに第5学年及び第6学年を一冊の合本とし、児童自身が年間の学習を見通すことができるようにしたり、学年冒頭に「学習のロードマップ」を設けたりする（第2学年以上）など、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>その他</p>	

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
観 点	11・学図	第1学年	国語133、国語134	みんなと学ぶ小学校国語二年上、みんなと学ぶ小学校国語二年下
		第2学年	国語233、国語234	みんなと学ぶ小学校国語三年上、みんなと学ぶ小学校国語三年下
		第3学年	国語333、国語334	みんなと学ぶ小学校国語四年上、みんなと学ぶ小学校国語四年下
		第4学年	国語433、国語434	みんなと学ぶ小学校国語五年上、みんなと学ぶ小学校国語五年下
		第5学年	国語533、国語534	みんなと学ぶ小学校国語六年上、みんなと学ぶ小学校国語六年下
		第6学年	国語633、国語634	
取 扱 内 容	各 学 年 の 目 標 、 内 容 等	<p>○ 話すこと・聞くことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにしている。</p> <p>第1,2学年～ 友達に知らせたいことを紹介する活動やグループで話し合っ て一つにまとめる活動を通して、相手に応じ、身近なことについて事柄の 順序を考えながら話したり、話題に沿って話し合ったりする。</p> <p>第3,4学年～ 司会を立て、中心をはっきりさせて計画的に話し合う活動や話し合っ て課題解決の方法を考える活動を通して、相手や目的に応じ、調べたこと などについて筋道を立てて話したり、進行に沿って話し合ったりする。</p> <p>第5,6学年～ 話の構成を工夫して学校紹介をする活動やテーマを決めてパネルディス カッションをする活動を通して、目的や意図に応じ、伝えたいことにつ いて的確に話したり、計画的に話し合ったりする。</p> <p>○ 書くことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにな っている。</p> <p>第1,2学年～ 洋服の着方について友達に説明する文章を書く活動や二つのもの の違いを書き出したカードを基に文章を書く活動を通して、経験したことなど について順序を整理し、簡単な構成を考えて書く。</p> <p>第3,4学年～ 学校の行事の案内状を書く活動や四コマまんがの内容を基に物語を書く 活動を通して、相手や目的に応じ、調べたことなどが伝わるように段落相 互の関係などに注意して書く。</p> <p>第5,6学年～ 調べたことを表やグラフを使って分かりやすくまとめる活動や、効果的 な構成を考え、身近な話題から簡単な意見文を書く活動を通して、目的や 意図に応じ、文章全体の構成の効果を考えて書く。</p> <p>○ 読むことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにな っている。</p> <p>第1,2学年～ 役割を決めて音読劇や人形劇をする活動や文章を読んで登場人物の行動 の理由を想像する活動を通して、場面の様子に気付いたり、想像を広げたり しながら読む。</p> <p>第3,4学年～ 物語を読んで感想を述べ合う活動や様々な見方で本を選んで読書をする 活動を通して、目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考 えたりしながら読む。</p> <p>第5,6学年～ 筆者の考えと根拠を確かめながら読み、自分の考えをはっきりさせる 活動や、伝記を読んでその人物の生き方を知り自分の生き方について考 える活動を通して、目的に応じ、内容や要旨をとらえながら読む。</p> <p>○ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項については、次のような学習活動が 取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～ 語り口調や言い回しを感じながら昔話や神話を読む活動や、事物の内容 をくわしく表したり、事物を指し示したりする言葉があることに気付く活 動</p> <p>第3,4学年～ リズムを感じ取りながら百人一首の短歌を音読して思い浮かべた風景に ついて話し合う活動や、日常使われている簡単な単語をローマ字で書い たり読んだりする活動</p> <p>第5,6学年～ 「枕草子」を読み、好きな季節について随筆を書く活動や、話し言葉と 書き言葉の違いに気付いたり、日常よく使われる敬語の使い方に慣れたり する活動</p> <p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、次のような学習活動が取り上 げられている。</p> <p>第1,2学年～ 「国語のカギ」において、時間の順序を表す言葉に気を付けて読んだり、 声の大きさに気を付けて話したりすることについて振り返り、確かめるな ど、基礎的・基本的な知識・技能の習得を図る活動</p> <p>第3,4学年～ 「国語のカギ」において、インタビューの仕方について考えたり、取材 カードに書いてまとめたりすることについて振り返り、確かめるなど、基 礎的・基本的な知識・技能の習得を図る活動</p> <p>第5,6学年～ 「国語のカギ」において、司会を立てて話し合ったり、表やグラフを使 ってまとめて書いたりすることについて振り返り、確かめるなど、基礎的</p>		

・基本的な知識・技能の習得を図る活動	
内容の構成・排列、分量等	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1,2学年～ 第1学年で、伝えたい事柄を考えて話す活動、第2学年で、話の順序を考えて、したこととその様子を報告する活動を取り扱うなど、2学年通じて系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第3,4学年～ 第3学年で、見てきたことを基に中心に気を付けて書く活動、第4学年で、見てきたことを中心にまとめて報告文を書く活動を取り扱うなど、2学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第5,6学年～ 第5学年で、自分の経験を生かして随筆を書く活動、第6学年で、登場人物や物語の展開を設定して創作的な文章を書く活動を取り扱うなど、2学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第1学年～ 「話すこと・聞くこと」は9教材、「書くこと」は7教材、「読むこと」は22教材であり、総ページ数は262ページで、前回より約11パーセント増となっている。</p> <p>第2学年～ 「話すこと・聞くこと」は4教材、「書くこと」は6教材、「読むこと」は21教材であり、総ページ数は292ページで、前回より約12パーセント増となっている。</p> <p>第3学年～ 「話すこと・聞くこと」は5教材、「書くこと」は7教材、「読むこと」は20教材であり、総ページ数は298ページで、前回より約5パーセント増となっている。</p> <p>第4学年～ 「話すこと・聞くこと」は7教材、「書くこと」は7教材、「読むこと」は20教材であり、総ページ数は310ページで、前回より約3パーセント増となっている。</p> <p>第5学年～ 「話すこと・聞くこと」は5教材、「書くこと」は7教材、「読むこと」は21教材であり、総ページ数は336ページで、前回より約11パーセント増となっている。</p> <p>第6学年～ 「話すこと・聞くこと」は5教材、「書くこと」は9教材、「読むこと」は19教材であり、総ページ数は338ページで、前回より約8パーセント増となっている。</p>
使用上の配慮等	<p>○ 自分の宝物を発表し合う活動(第1学年)や手紙、案内状、依頼状、礼状、送付状を書く活動(第2～6学年)を通して、相手意識や目的意識を明確にするとともに、教材と関連のある図書を紹介した「本と友達」を掲載する(全学年)など、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 「学習のてびき」に読解プロセスを示したり(全学年)、「授業で使う言葉」で用語を調べることができるようにしたり(全学年)するなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 巻末に「保護者の方へ」を掲載し(全学年)、学習内容や身に付けることを保護者が理解することにより家庭学習につなげていくことができるようにしたり、書き文字に近い字形・字体になるようデザインした書体を使用したりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>
その他	



番号  観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	15・三省堂	第1学年 第2学年 第3学年 第4学年 第5学年 第6学年	国語135、国語136 国語235、国語236 国語335、国語336 国語435、国語436 国語535、国語536 国語635、国語636	しょうがくせいのこくご二年上、しょうがくせいのこくご二年下 小学生のこくご二年、小学生のこくご二年、学びを広げる二年 小学生のこくご三年、小学生のこくご三年、学びを広げる三年 小学生のこくご四年、小学生のこくご四年、学びを広げる四年 小学生のこくご五年、小学生のこくご五年、学びを広げる五年 小学生のこくご六年、小学生のこくご六年、学びを広げる六年
取扱内容  各学年の目標、内容等	<p>○ 話すこと・聞くことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにになっている。</p> <p>第1,2学年～ スピーチをする活動やコンテストに出す作品をグループで話し合っ て決める活動を通して、相手に応じ、身近なことなどについて事柄の順序を考 えながら話したり、話題に沿って話し合ったりする。</p> <p>第3,4学年～ 観光ガイドとして南の島を説明する活動や安全についてクラスで話し合 う活動を通して、相手や目的に応じ、調べたことなどについて筋道を立て て話したり、進行に沿って話し合ったりする。</p> <p>第5,6学年～ 調べたことを資料を活用しながら報告する活動や理由を明確にして推薦 スピーチをする活動を通して、目的や意図に応じ、考えたことなどについ て的確に話したり、相手の意図をつかみながら聞いたりする。</p> <p>○ 書くことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにな っている。</p> <p>第1,2学年～ 学校でできるようになったことを家の人に伝えるために書く活動や観察 して分かったことを記録する文章を書く活動を通して、経験したことなど について順序を整理し、簡単な構成を考えて書く。</p> <p>第3,4学年～ クラスのことを調べ、報告する文章を書く活動や社会科見学の礼状を書 く活動を通して、相手や目的に応じ、調べたことなどが伝わるように段落 相互の関係などに注意して書く。</p> <p>第5,6学年～ 構成を考えて見学レポートを書く活動や生活の中で体験したことを随筆 に書く活動を通して、目的や意図に応じ、文章全体の構成の効果を考え て書く。</p> <p>○ 読むことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにな っている。</p> <p>第1,2学年～ 帽子のはたらきについて説明する文章を読む活動や様子を思い浮かべな がら音読する活動を通して、事柄の順序に気付いたり、想像を広げたりし ながら読む。</p> <p>第3,4学年～ 食べ物に関する説明文を表にまとめながら読む活動や本を読んで心に残 った内容について紹介し合う活動を通して、目的に応じ、内容の中心をと らえたり段落相互の関係を考えたりしながら読む。</p> <p>第5,6学年～ 図とそれを説明している部分を比べながら読む活動や筆者が文章を通 して読者に伝えたかったことを話し合う活動を通して、目的に応じ、内容や 要旨をとらえながら読む。</p> <p>○ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項については、次のような学習活動が取 り上げられている。</p> <p>第1,2学年～ 神話を読んで面白いと思ったところを友達と話し合う活動や、似た意味 の言葉の中から場面の様子や自分の気持ちに合ったものを選び文を書く活 動</p> <p>第3,4学年～ 故事成語の意味を調べて登場人物や場面を想像して物語を書く活動や、 日常使われている簡単な単語についてローマ字で書いたり読んだりする活 動</p> <p>第5,6学年～ 狂言を声に出して読み、せりふのやりとりから面白さを味わう活動や、 話し言葉と書き言葉の違いに気付いたり、日常よく使われる敬語の使い方 に慣れたりする活動</p> <p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、次のような学習活動が取り上げ られている。</p> <p>第1,2学年～ 「覚えておきましょう」において、順序に気を付けて話したり文章を読 み返して間違いを正したりすることについて振り返り、確かめるなど、基 礎的・基本的な知識・技能の習得を図る活動</p> <p>第3,4学年～ 「覚えておきましょう」において、進行に沿って話し合ったり段落相互 の關係に注意して書いたりすることについて振り返り、確かめるなど、基 礎的・基本的な知識・技能の習得を図る活動</p> <p>第5,6学年～ 「覚えておきましょう」において、自分の意見と比べながら聞いたり文</p>			

	<p>章全体の構成の効果を考えて書いたりすることについて振り返り、確かめるなど、基礎的・基本的な知識・技能の習得を図る活動</p>
内容の構成・排列、分量等	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1,2学年～ 第1学年で、昨日の出来事が伝わるように話す活動、第2学年で、夏休みの思い出を順序が分かるように話す活動を取り扱うなど、2学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第3,4学年～ 第3学年で、心の動きについてまとまりに気を付けて書く活動、第4学年で、お気に入りの場所について中心に気を付けて書く活動を取り扱うなど、2学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第5,6学年～ 第5学年で、自分の考えをもち計画的に話し合う活動、第6学年で、主張と根拠を明確にしてパネルディスカッションをする活動を取り扱うなど、2学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第1学年～ 「話すこと・聞くこと」は9教材、「書くこと」は10教材、「読むこと」は13教材であり、総ページ数は260ページで、前回より約1パーセント減となっている。</p> <p>第2学年～ 「話すこと・聞くこと」は5教材、「書くこと」は10教材、「読むこと」は14教材であり、総ページ数は254ページで、前回より約18パーセント減となっている。</p> <p>第3学年～ 「話すこと・聞くこと」は5教材、「書くこと」は11教材、「読むこと」は13教材であり、総ページ数は278ページで、前回より約19パーセント減となっている。</p> <p>第4学年～ 「話すこと・聞くこと」は5教材、「書くこと」は11教材、「読むこと」は13教材であり、総ページ数は278ページで、前回より約19パーセント減となっている。</p> <p>第5学年～ 「話すこと・聞くこと」は5教材、「書くこと」は10教材、「読むこと」は12教材であり、総ページ数は294ページで、前回より約23パーセント減となっている。</p> <p>第6学年～ 「話すこと・聞くこと」は5教材、「書くこと」は10教材、「読むこと」は13教材であり、総ページ数は310ページで、前回より約21パーセント減となっている。</p>
使用上の配慮等	<p>○ 夏休みの思い出を友達に書いて伝える活動（第2学年）や社会科見学のお願いやお礼の手紙を書く活動（第4学年）を通して、相手意識や目的意識を明確にするとともに、読書ガイド「わたしの本だな」を掲載する（全学年）など、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 「～しよう（てびき）」に学び方を示したり（全学年）、別冊「学びを広げる」における「言葉のポケット」に学習のポイントを示したり（第2～6学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ すべての児童が国語の授業で使用する「小学生の国語」と国語科の授業だけでなく他教科の学習等においても活用できる「学びを広げる」の2分冊構成にし（第2～6学年）、個に応じた学習に対応できるようにしたり、書き文字に近い字形・字体になるようデザインした書体を使用したりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>
その他	

様式 3

番号  観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
取扱内容  各学年の目標、内容等  学習指導要領の総則及び各教科、	17・教出	第1学年 第2学年 第3学年 第4学年 第5学年 第6学年	国語137、国語138 国語237、国語238 国語337、国語338 国語437、国語438 国語537、国語538 国語637、国語638	ひろがることばようがくご1上、ひろがることばようがくご1下 ひろがることば小学国語2上、ひろがることば小学国語2下 ひろがる言葉小学国語3上、ひろがる言葉小学国語3下 ひろがる言葉小学国語4上、ひろがる言葉小学国語4下 ひろがる言葉小学国語5上、ひろがる言葉小学国語5下 ひろがる言葉小学国語6上、ひろがる言葉小学国語6下
		<p>○ 話すこと・聞くことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにになっている。</p> <p>第1,2学年～ メモを使って正確に伝える活動やグループで話し合っって考えを一つにまとめる活動を通して、相手に応じ、身近なことについて事柄の順序を考えながら話したり、話題に沿って話し合ったりする。</p> <p>第3,4学年～ 司会や提案、記録などの役割を決めて話し合う活動やポスターセッションをする活動を通して、相手や目的に応じ、考えたことや分かったことについて筋道を立てて話したり、進行に沿って話し合ったりする。</p> <p>第5,6学年～ 伝える目的に応じた資料を用いて発表する活動やパネルディスカッションをする活動を通して、目的や意図に応じ、伝えたいことについての的確に話したり、計画的に話し合ったりする。</p> <p>○ 書くことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにになっている。</p> <p>第1,2学年～ メモを基に見付けたことを書く活動や町探検で見付けたことを報告する文章を書く活動を通して、経験したことなどについて、順序を整理し、簡単な構成を考えて書く。</p> <p>第3,4学年～ 図鑑で調べた生き物について説明する文章を書く活動や不思議な事柄について資料を基に説明する文章を書く活動を通して、相手や目的に応じ、調べたことが伝わるように段落相互の関係などに注意して書く。</p> <p>第5,6学年～ 自分の立場を決め、考えとその根拠を結び付けて書く活動や目的に応じて割り付けを工夫して「学校案内パンフレット」を書く活動を通して、目的や意図に応じ、文章全体の構成の効果を考えて書く。</p> <p>○ 読むことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにになっている。</p> <p>第1,2学年～ 本を読んで好きな場面を決めて音読する活動や生き物が大きくなるまでの様子についてカードにまとめながら読む活動を通して、想像を広げたり、事柄の順序に気付いたりしながら読む。</p> <p>第3,4学年～ 詩の様子が伝わるように工夫して音読する活動や紹介したい本を選び「読書発表会」をする活動を通して、目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読む。</p> <p>第5,6学年～ 印象に残った作品を推薦する「図書推薦会」を開く活動や伝記を読んで、その人物の生き方を知り自分の生き方について考える活動を通して、目的に応じ、内容や要旨をとらえながら読む。</p> <p>○ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～ 昔話の読み聞かせを聞いて面白いと思ったところや好きだと思ったところを音読して友だちに紹介する活動や、昔話の場面を紙人形を用いて楽しむ活動</p> <p>第3,4学年～ ことわざ・慣用句・故事成語の意味を調べたり、使い方を考えたりしてカードにまとめる活動や身の回りで使われている簡単な単語をローマ字で書いたり読んだりする活動</p> <p>第5,6学年～ 「春暁」「論語」などの漢文のリズムを感じ取りながら読む活動や、話し言葉と書き言葉の違いに気付いたり、日常よく使われる敬語の使い方に慣れたりする活動</p> <p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～ コラム「ここが大事」において、声の大きさや速さに注意して話したり、登場人物の考えを想像したりすることについて振り返り、確かめるなど、基礎的・基本的な知識・技能の習得を図る活動</p> <p>第3,4学年～ コラム「ここが大事」において、登場人物の性格を考えながら読んだり、共通点と違う点を整理して話したりすることについて振り返り、確かめるなど、基礎的・基本的な知識・技能の習得を図る活動</p> <p>第5,6学年～ コラム「ここが大事」において、メモをとりながら質問や反論を聞いたり、言葉や文章を引用したりすることについて振り返り、確かめるなど、</p>		

基礎的・基本的な知識・技能の習得を図る活動

<p>内容の構成・排列、分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1,2学年～ 第1学年で、夏休みの絵日記を見ながら質問し合う活動、第2学年で、おもちゃの作り方について順序に気を付けて話す活動を取り扱うなど、2学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第3,4学年～ 第3学年で、見学したことの中心をはっきりとさせて報告文を書く活動、第4学年で、構成を工夫して報告文を書く活動を取り扱うなど、2学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第5,6学年～ 第5学年で、根拠となる資料を用いて自分の意見を書く活動、第6学年で、自分の意見や根拠を整理して意見文を書く活動を取り扱うなど、2学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第1学年～ 「話すこと・聞くこと」は6教材、「書くこと」は10教材、「読むこと」は24教材であり、総ページ数は284ページで、前回より約3パーセント増となっている。</p> <p>第2学年～ 「話すこと・聞くこと」は4教材、「書くこと」は8教材、「読むこと」は16教材であり、総ページ数は296ページで、前回より約7パーセント増となっている。</p> <p>第3学年～ 「話すこと・聞くこと」は5教材、「書くこと」は6教材、「読むこと」は15教材であり、総ページ数は300ページで、前回より約1パーセント増となっている。</p> <p>第4学年～ 「話すこと・聞くこと」は4教材、「書くこと」は6教材、「読むこと」は16教材であり、総ページ数は310ページで、前より約1パーセント増となっている。</p> <p>第5学年～ 「話すこと・聞くこと」は4教材、「書くこと」は6教材、「読むこと」は16教材であり、総ページ数は308ページで、前回より約3パーセント増となっている。</p> <p>第6学年～ 「話すこと・聞くこと」は5教材、「書くこと」は6教材、「読むこと」は15教材であり、総ページ数は328ページで、前回より約1パーセント増となっている。</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 学級の友達に好きなことや得意なことを伝え合う活動（2学年）や気に入ったところを選んで音読劇をする活動（第4学年）を通して、相手意識や目的意識を明確にするとともに、教材に関連のある図書を紹介した「本を読もう」を掲載する（全学年）など、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 単元の始めに「めあて」の欄を設けて目標を示したり（全学年）、「ここが大事」に学習のポイントを紹介したり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 巻末に各教材の指導事項や学習に必要と思われる用語などをまとめた「この本で学ぶこと」を掲載し（全学年）、家庭学習や個に応じた学習に役立つようにしたり、色覚の個人差に配慮した色使いやレイアウトを工夫したりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>その他</p>	

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
<p>観点</p> <p>取扱内容</p> <p>各学年の目標、内容等</p> <p>学習指導要領の総則及び各教科、</p>	38・光村	第1学年 第2学年 第3学年 第4学年 第5学年 第6学年	国語139、国語140 国語239、国語240 国語339、国語340 国語439、国語440 国語539 国語639	こくご一上かざぐるま、こくご一下ともだち こくご二上たんぼ、こくご二下赤とんぼ 国語三上わかば、国語三下あおぞら 国語四上かがやき、国語四下はばたき 国語五銀河 国語六創造
<p>○ 話すこと・聞くことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにしている。</p> <p>第1,2学年～ 身近な物についてクイズを出し合う活動やあったらいいものについて発表会をする活動を通して、相手に応じ、身近なことなどについて事柄の順序を考えながら話したり、大事なことを落とさずに聞いたりする。</p> <p>第3,4学年～ 資料から分かることを筋道を立てて発表する活動や聞き取りメモを工夫して説明を聞く活動を通して、相手や目的に応じ、調べたことなどについて筋道を立てて話したり、話の中心に気を付けて聞いたりする。</p> <p>第5,6学年～ 理由を明確にして推薦する活動や相手の意図を聞き取りながら学級討論会をする活動を通して、目的や意図に応じ、考えたことなどについての的確に話したり、計画的に話し合ったりする。</p> <p>○ 書くことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにしている。</p> <p>第1,2学年～ 学校にいる生き物などについて家の人に知らせる文章を書く活動やおもちの作り方を説明する文章を書く活動を通して、経験したことなどについて、順序を整理し、簡単な構成を考えて書く。</p> <p>第3,4学年～ 生活の中の疑問について本で調べ報告する文章を書く活動や取材した資料を効果的に使い新聞を作成する活動を通して、相手や目的に応じ調べたことなどが伝わるように段落相互の関係を考えながら書く。</p> <p>第5,6学年～ 写真を基に想像を広げ、表現を工夫して物語を書く活動や町のパンフレットを作成し、交流する活動を通して、目的や意図に応じ、文章全体の構成の効果を考えながら書く。</p> <p>○ 読むことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにしている。</p> <p>第1,2学年～ 自動車について説明した文章をノートにまとめながら読む活動や生き物が登場する文章を音読劇にしながら読む活動を通して、事柄の順序に気付いたり、想像を広げたりしながら読む。</p> <p>第3,4学年～ 登場人物と自分を比べて読む活動や、読んだ文章について心に残った場面を紹介する活動を通して、目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読む。</p> <p>第5,6学年～ 新聞を読み、編集の仕方や記事の書き方を考える活動や、これまでに読んだ本の中から心に残った本について紹介し合う活動を通して、目的に応じ、内容や要旨をとらえながら読む。</p> <p>○ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～ 昔話を読んでおもしろいと思った内容について話し合う活動や、言葉には物事の内容を表す働きや経験したことを伝える働きがあることに気付く活動</p> <p>第3,4学年～ リズムを感じ取りながら短歌を音読したり暗唱したりする活動や、日常生活で使われている簡単な単語についてローマ字で書いたり読んだりする活動</p> <p>第5,6学年～ リズムを感じ取りながら「竹取物語」「枕草子」などの古文を音読する活動や、話し言葉と書き言葉の違いに気付いたり、日常よく使われる敬語の使い方に関わったりする活動</p> <p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～ コラム「たいせつ」において、事柄の順序を考えて話したり、本を選んで読んだりすることについて振り返り、確かめるなど、基礎的・基本的な知識・技能の習得を図る活動</p> <p>第3,4学年～ コラム「たいせつ」において、場面の様子が分かるように音読したり、段落相互の関係に注意して文章を構成したりすることについて振り返り、確かめるなど、基礎的・基本的な知識・技能の習得を図る活動</p> <p>第5,6学年～ コラム「たいせつ」において、要旨をとらえて読んだり、話し手の意図をとらえながら聞いたりすることについて振り返り、確かめるなど、</p>				

基礎的・基本的な知識・技能の習得を図る活動	
内容の構成・排列・分量等	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1,2学年～ 第1学年で、体験したことや経験したことを話して伝える活動、第2学年で、伝えたいことや考えたことを順序を考えて発表する活動を取り扱うなど、2学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第3,4学年～ 第3学年で、伝えたいことの内容を意識して説明する文章を書く活動、第4学年で、内容の中心を明らかにして報告文を書く活動を取り扱うなど、2学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第5,6学年～ 第5学年で、説得力のある構成を工夫しスピーチをする活動、第6学年で、話し方や資料の提示の仕方などを工夫しスピーチをする活動を取り扱うなど、2学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第1学年～ 「話すこと・聞くこと」は11教材、「書くこと」は9教材、「読むこと」は22教材であり、総ページ数は272ページで、前回より約6パーセント増となっている。</p> <p>第2学年～ 「話すこと・聞くこと」は5教材、「書くこと」は7教材、「読むこと」は15教材であり、総ページ数は276ページで、前回より約1パーセント増となっている。</p> <p>第3学年～ 「話すこと・聞くこと」は6教材、「書くこと」は7教材、「読むこと」は18教材であり、総ページ数は292ページで、前回より約1パーセント増となっている。</p> <p>第4学年～ 「話すこと・聞くこと」は4教材、「書くこと」は6教材、「読むこと」は16教材であり、総ページ数は298ページで、前回より約3パーセント増となっている。</p> <p>第5学年～ 「話すこと・聞くこと」は4教材、「書くこと」は6教材、「読むこと」は16教材であり、総ページ数は284ページで、前回より約4パーセント増となっている。</p> <p>第6学年～ 「話すこと・聞くこと」は4教材、「書くこと」は5教材、「読むこと」は19教材であり、総ページ数は284ページで、前回より約4パーセント増となっている。</p>
使用上の配慮等	<p>○ 好きなものを学級で発表し合う活動（第2学年）や伝えたいことや相手を決めてパンフレットを作る活動（第6学年）を通して、相手意識や目的意識を明確にするとともに、本を読むことと日常生活との関連を示した「この本、読もう」を掲載する（全学年）など、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 「学習」に学習の進め方を示したり（第2～6学年）、「学習に用いる言葉」で用語を調べることができるようにしたり（第3～6学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 巻末の付録「学習を広げよう」に補充的な学習や発展的な学習に活用できる資料を掲載する（第2～6学年）とともに第5学年及び第6学年を一冊の合本とし、児童自身が年間の学習を見通すことができるようにしたり、色による識別に頼ることなく形で識別できるようにしたりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>
その他	

様式 1

教科用図書第 3 採択地区調査委員会

( 書 写 ) 小委員会委員長

白川清久 印

調査研究	<p>1 審議の経過</p> <p>(1) 審議の対象となった発行者名及び数</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 東京書籍、学校図書、三省堂、教育出版、光村図書、日本文教出版の 6 者</li></ul> <p>(2) 調査研究の手順</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 第 1 回調査委員会 (6 月 26 日) で 6 者の教科書を配布し、調査の観点や手順を協議した。</li><li>・ 第 2 回調査委員会 (7 月 15 日、16 日) に、各自の調査研究を基に内容別に協議し、様式 1 について整理するとともに、全体を通して各者の特徴をまとめ、様式 2、様式 3 を作成した。</li></ul>
審議の経過	<p>(3) 調査研究のための観点、項目</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 取扱内容については、学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等に基づいて取り上げられているか、また、知識・技能の習得、活用、探究に対応できるような内容が取り扱われているかという視点で調査し整理した。</li><li>・ 内容の程度・排列・分量等については、内容の構成・排列が、地域の実態や学年の発達段階に応じて系統的に組織されているか、また、内容の分量が領域等ごと、全体としてどのようになっているかという視点で調査し整理した。</li><li>・ 使用上の配慮等については、児童の学習意欲を高める工夫や主体的に学習に取り組めるような工夫がされているか、また、目次など使用上の便宜は図られているかという視点で調査し整理した。</li></ul>
全体を通じての特徴	<p>2 審議経過の概要</p> <p>(1) 東京書籍については、学習したことを他教科や日常生活へ活用できるような配慮という特色があり、優れている。</p> <p>学校図書については、学習の進め方を意識させ、振り返りができるような配慮という特色があり、優れている。</p> <p>三省堂については、学習過程を工夫し、気づきを促すような配慮という特色があり優れている。</p> <p>教育出版については、基礎的・基本的な内容をおさえ、日常生活に活用できるような配慮という特色があり優れている。</p> <p>光村図書については、児童の発達の段階を考慮し、系統的な学習ができるような配慮という特色があり優れている。</p> <p>日本文教出版については、各学年の発達の段階を考慮し、単元のねらいを焦点化できるような配慮という特色があり優れている。</p> <p>(2) その他、東京書籍と教育出版については、興味・関心を高める書写に関する資料が多く掲載されていることについての話題が出されていた。</p>

書写に関する事項について
<p><b>【教科の目標】</b>            国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力及び言語感覚を養い、国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てる。</p>
<p><b>【学年・領域等の目標など】</b>            [伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項]のうち、書写に関する事項            [第1学年及び第2学年]            ア 姿勢や筆記用具の持ち方を正しくし、文字の形に注意しながら、丁寧に書くこと。            イ 点画の長短や方向、接し方や交わり方などに注意して、筆順に従って文字を正しく書くこと。            [第3学年及び第4学年]            ア 文字の組立て方を理解し、形を整えて書くこと。            イ 漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書くこと。            ウ 点画の種類を理解するとともに、毛筆を使用して筆圧などに注意して書くこと。            [第5学年及び第6学年]            ア 用紙全体との関係に注意し、文字の大きさや配列などを決めるとともに、書く速さを意識して書くこと。            イ 目的に応じて使用する筆記具を選び、その特徴を生かして書くこと。            ウ 毛筆を使用して、穂先の動きと点画のつながりを意識して書くこと。</p>

**【参考】**

- 国語科については、その課題を踏まえ、小学校、中学校及び高等学校を通じて、言語の教育としての立場を一層重視し、国語に対する関心を高め、国語を尊重する態度を育てるとともに、実生活で生きてはたらき、各教科等の学習の基本ともなる国語の能力を身に付けること、我が国の言語文化を享受し継承・発展させる態度を育てることに重点を置いて内容の改善を図る。

特に、言葉を通して的確に理解し、論理的に思考し表現する能力、互いの立場や考えを尊重して言葉で伝え合う能力を育成することや、我が国の言語文化に触れて感性や情緒をはぐくむことを重視する。

そのため、現行の「話すこと・聞くこと」、「書くこと」及び「読むこと」からなる領域構成は維持しつつ、基礎的・基本的な知識・技能を活用して課題を探究することのできる国語の能力を身に付けることに資するよう、実生活の様々な場面における言語活動を具体的に内容に示す。また、現行の[言語事項]の内容のうち各領域の内容に関連の深いものについては、実際の言語活動において一層有機的にはたらくよう、それぞれの領域の内容に位置付けるとともに、必要に応じてまとめて取り上げるようにする。

また、[言語文化と国語の特質に関する事項]を設け、我が国の言語文化に親しむ態度を育てたり、国語の役割や特質についての理解を深めたり、豊かな言語感覚を養ったりするための内容を示す。

- 子どもたちの発達の段階を踏まえた学習の系統性を重視し、学校段階・学年段階ごとに、具体的に身に付けるべき能力の育成を目指し、重点的な指導が行われるようにする。その際、小学校においては日常生活に必要な国語の能力の基礎を、中学校においては社会生活に必要な国語の能力の基礎を、高等学校においては社会人として必要な国語の能力の基礎をそれぞれ確実に育成するようにする。

- 古典の指導については、我が国の言語文化を享受し継承・発展させるため、生涯にわたって古典に親しむ態度を育成する指導を重視する。

漢字の指導については、実生活や他教科等の学習における使用や、読書活動の充実に資するため、確実な習得が図れるよう、指導を充実する。書写の指導については、実生活や学習



場面に役立つよう、内容や指導の在り方の改善を図る。

敬語の指導については、人間関係を円滑にし、日常の言語活動を豊かにするため、相手や場に応じた言葉遣いが適切にできるようにすることを重視する。言葉のきまりの指導については、系統的に指導するとともに、実際に文章を書いたり読んだりするときなどに役立つよう、指導の改善を図る。

読書の指導については、読書に親しみ、ものの見方、感じ方、考え方を広げたり深めたりするため、読書活動を内容に位置付ける。教材については、我が国において継承されてきた言語文化に親しむことができるよう、長く読まれている古典や近代以降の作品などを、子どもたちの発達の段階に応じて取り上げるようにする。

○ 標準授業時数

毛筆を使用する書写の指導に相当する授業時間は、第3学年以上に「年間30単位時間程度」とする。

様式3

番号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
観点	2・東書	第1学年 第2学年 第3学年 第4学年 第5学年 第6学年	書写131 書写231 書写331 書写431 書写531 書写631	新編 あたらしい しよしゃ 一 新編 新しい しよしゃ 二 新編 新しい 書写 三 新編 新しい 書写 四 新編 新しい 書写 五 新編 新しい 書写 六
取扱内容	<p>○ 硬筆については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1,2学年～ 点画の長さや方向の違いに気を付けて書いたり、点画の付き方を比較したりする活動を通して、文字を正しく書く。</p> <p>第3,4学年～ 筆順や漢字の組立てに気を付けて書いたり、漢字と仮名の大きさを比較しながら書いたりする活動を通して、文字の形を整えて書く。</p> <p>第5,6学年～ 文字のつながりを意識して書いたり、手紙やパンフレットなど様々な用紙に書いたりする活動を通して、文字の大きさや配列などを決めて書く。</p> <p>○ 毛筆については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第3,4学年～ 1～2字の漢字や平仮名の題材で、点画の形や交わり方、つき方や間隔、筆順など筆の動きに気を付けながら書く活動を通して、点画の種類を理解し、筆圧などに注意して書く。</p> <p>第5,6学年～ 4字までの漢字や平仮名、漢字仮名交じりの題材で、点画相互や文字のつながり、配列に気を付けながら書く活動を通して、穂先の動きと点画のつながりを意識して書く。</p> <p>○ 硬筆と毛筆の関連については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第3,4学年～ 文字の中心、筆順と字形、上下の文字の組立て方の理解など、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、毛筆による書写の学習により硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける。</p> <p>第5,6学年～ 筆順や点画のつながり、文字の配列の理解など、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、毛筆による書写の学習により硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける。</p> <p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～ 「生活に広げよう」において、いろいろなものに名前を書いたり、お世話になった人たちへお礼の手紙を書いたりするなど、実生活との関連を図った活動</p> <p>第3,4学年～ 「生活に広げよう」において、調べたことを観察カードに整理したり、点画の長さや方向、上下の組立て方に気を付けて書き初めを書いたりするなど、実生活との関連を図った活動</p> <p>第5,6学年～ 「生活に広げよう」において、適切な筆記具を選んでカードや寄せ書きを書いたり、調べたことを配列を工夫したしおりを作成したりするなど、実生活との関連を図った活動</p>			
各学年の目標、内容等	学習指導要領の総則及び各教科、内容等			

<p>内容の構成・排列、分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～ 平仮名について「曲がり・折れ・おりかえし」「とめ・はらい・はね」など、点画や筆順、字形についての学習の後に、漢字や片仮名の学習を取り扱うなど系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第2学年～ 漢字について「玉・日」などの画の長さや方向や「王・父」など点画の接し方や交わり方の学習の後に、文章表記を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第3学年～ 毛筆について「下」などの横画・縦画や「大」などのはらいについての学習の後に、2字の平仮名の「曲がり」の筆使いを取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第4学年～ 毛筆について「羊」などの画の長さや間隔や「麦」などの画の方向を学習した後に、2字の漢字の筆順や字形、文字の組み立て方を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第5学年～ 毛筆と硬筆の関連を図った「道」などの組立てや「成長」などの筆順についての学習の後に、様々な用紙に応じて書く学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第6学年～ 毛筆と硬筆の関連を図った「湖」などの組立てや「牧場」などの筆順と点画のつながりについての学習の後に、字間や行間、余白など配列について取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第1学年～ 硬筆は30ページであり、総ページ数は41ページで、前回と同様となっている。</p> <p>第2学年～ 硬筆は28ページであり、総ページ数は41ページで、前回と同様となっている。</p> <p>第3学年～ 硬筆は4ページ、毛筆は20ページであり、総ページ数は49ページで、前回と同様となっている。</p> <p>第4学年～ 硬筆は3ページ、毛筆は19ページであり、総ページ数は49ページで、前回と同様となっている。</p> <p>第5学年～ 硬筆は4ページ、毛筆は19ページであり、総ページ数は49ページで、前回より約9パーセント増となっている。</p> <p>第6学年～ 硬筆は5ページ、毛筆は20ページであり、総ページ数は49ページで、前回より約9パーセント増となっている。</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 学習のポイントを説明するキャラクターが登場したり(全学年)、「かさこじぞう」(第2学年)や「竹取物語」(第5学年)などの国語科との関連を図った教材を掲載したりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 書写の学び方について、インデックスで既習事項を確認し、個別の課題に対応できるようにしたり(第3～6学年)、自己評価欄を設けたり(全学年)するなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 教科書の紙面を大きくすることで書き込み欄を増やしたり(全学年)、毛筆の学習手本を半紙原寸サイズで提示することで大きさや位置を視覚的に理解しやすいようにしたり(第3～6年)するなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>その他</p>	

様式3

番号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
観点	11・学図	第1学年	書写132	みんなとまなぶ しょうがっこうしよしゃ 一ねん
		第2学年	書写232	みんなとまなぶ 小学校しよしゃ 二年
		第3学年	書写332	みんなとまなぶ 小学校書写 三年
		第4学年	書写432	みんなとまなぶ 小学校書写 四年
		第5学年	書写532	みんなとまなぶ 小学校書写 五年
		第6学年	書写632	みんなとまなぶ 小学校書写 六年
取扱内容	<p>○ 硬筆については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1,2学年～ 点画の長さや方向に気を付けて書いたり、点画の長短や方向を比較したりする活動を通して、文字を正しく書く。</p> <p>第3,4学年～ 漢字と仮名の大きさを比較しながら書いたり、漢字の組立てや配列に気を付けながら書いたりする活動を通して、文字の形を整えて書く。</p> <p>第5,6学年～ 点画のつながりを意識して書いたり、短冊やポスターなど様々な用紙に書いたりする活動を通して、文字の大きさや配列などを決めて書く。</p> <p>○ 毛筆については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第3,4学年～ 1～2字の漢字や平仮名の題材で、いろいろな点画の形や交わり方、接し方や筆順、字形など筆使いに気を付けながら書く活動を通して、点画の種類を理解し筆圧などに注意して書く。</p> <p>第5,6学年～ 4字までの漢字や平仮名、漢字仮名交じりの題材で、点画のつながりや配列に気を付けながら書く活動を通して、穂先の動きと点画のつながりを意識して書く。</p> <p>○ 硬筆と毛筆の関連については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第3,4学年～ 文字の大小、漢字の部分の組立て方についての理解など、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、毛筆による書写の学習により硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける。</p> <p>第5,6学年～ 漢字と仮名の大きさの違いや文字の配列の理解など、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、毛筆による書写の学習により硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける。</p> <p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～ 「しりょう」において、観察カードを書いたり、チョークやクレヨンなどの筆記具を用いて文字を書いたりするなど、実生活との関連を図った活動</p> <p>第3,4学年～ 「資料」において、ローマ字で名前や地名を書いたり、漢字や仮名の大きさや配列に気を付けて学級新聞を作成したりするなど、実生活との関連を図った活動</p> <p>第5,6学年～ 「資料」において、用紙や用具を選んで卒業生へのメッセージを作成したり、文字の大きさと配列に気を付けて「連詩」を作成したりするなど、実生活との関連を図った活動</p>			

各学年の学習指導要領の総則及び各教科、内容等

<p>内容の構成・排列、分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～ 平仮名について「とめ・はね・はらい」「折れ・曲がり・むすび」など、点画や筆順、字形についての学習の後に、漢字や片仮名の学習を取り扱うなど系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第2学年～ 漢字について「工・園」などの画の長さや方向や「口・父」などの点画のつき方・交わり方についての学習の後に、文章表記を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第3学年～ 毛筆について「十・日」などの点画の筆使いや「ビル」などの「曲がり」や「折れ」についての学習をした後に、2字の平仮名や漢字の筆使いを取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第4学年～ 毛筆について「友」などの点画の交わり方と接し方や「左右」などの筆順と字形を学習した後に、平仮名の結びや字形を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第5学年～ 毛筆と硬筆の関連について「道」などの筆使いや「あこがれ」などの点画のつながりについての学習の後に、漢字仮名交じりの配列を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第6学年～ 毛筆と硬筆の関連について「風」などの「かまえ」の筆使いや「発展」などの点画のつながりと組立てについての学習の後に、漢字仮名交じりの大きさと配列を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第1学年～ 硬筆は30ページであり、総ページ数は41ページで、前回より約11パーセント増となっている。</p> <p>第2学年～ 硬筆は32ページであり、総ページ数は41ページで、前回より約24パーセント増となっている。</p> <p>第3学年～ 硬筆は8ページ、毛筆は29ページであり、総ページ数は49ページで、前回と同様となっている。</p> <p>第4学年～ 硬筆は12ページ、毛筆は30ページであり、総ページ数は45ページで、前回より約10パーセント増となっている。</p> <p>第5学年～ 硬筆は8ページ、毛筆は25ページであり、総ページ数は45ページで、前回より約10パーセント増となっている。</p> <p>第6学年～ 硬筆は4ページ、毛筆は30ページであり、総ページ数は41ページで、前回より約9パーセント減となっている。</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 学習のポイントを解説するキャラクターが登場したり（全学年）、「俳句」（第2学年）や「枕の草子」（第5学年）などの国語の教科用図書との関連を図った教材を掲載したりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 書写の学び方について、学習の過程を一覧にした「毛筆学習の進め方」掲載したり（第3～6学年）、自己評価欄を設けたり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 巻頭に文字に関連した教材を掲載したり（全学年）、毛筆の学習手本を半紙原寸サイズで提示して大きさや位置を視覚的に理解しやすいようにしたり（第3～6年）するなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>その他</p>	

番号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
観点	15・三省堂	第1学年 第2学年 第3学年 第4学年 第5学年 第6学年	書写133 書写233 書写333 書写433 書写533 書写633	しょうがくせいしよしゃ 一ねん 小学生のしよしゃ 二年 小学生の書写 三年 小学生の書写 四年 小学生の書写 五年 小学生の書写 六年
取扱内容  各学年の目標、内容等 学習指導要領の総則及び各教科、	<p>○ 硬筆については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1,2学年～ 点画の長さや方向の違いに気を付けて書いたり、点画の長短や方向に注意して書いたりする活動を通して、文字を正しく書く。</p> <p>第3,4学年～ 漢字の組立てや筆順に気を付けて書いたり、漢字や仮名の大きさと配列を比較しながら書いたりする活動を通して、文字の形を整えて書く。</p> <p>第5,6学年～ 封筒やノートに合わせて書いたり、カードやパンフレットを書いたりする活動を通して、文字の大きさや配列などを決めて書く。</p> <p>○ 毛筆については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第3,4学年～ 1～2字の漢字や平仮名の題材で、いろいろな点画の形や交わり方、接し方や間隔、筆順など筆使いに気を付けながら書く活動を通して、点画の種類を理解し筆圧などに注意して書く。</p> <p>第5,6学年～ 漢字や漢字仮名交じりの題材で、文字の大きさや配列、筆順や点画相互、文字のつながりに気を付けながら書く活動を通して、穂先の動きと点画のつながりを意識して書く。</p> <p>○ 硬筆と毛筆の関連については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第3,4学年～ 漢字の組立て、漢字と仮名の大きさの違いの理解など、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、毛筆による書写の学習により硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける。</p> <p>第5,6学年～ 書く速さや筆順、点画のつながりの理解など、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、毛筆による書写の学習により硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける。</p> <p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～ 「ひろげよう」において、1年生の思い出を書いて紹介したり、友達や身近な人にお礼の手紙を書いて伝えたりするなど、実生活との関連を図った活動</p> <p>第3,4学年～ 「ひろげよう」において、学校行事に招待するはがきを書いたり、学校の出来事や調べたこと、見学したことなどを新聞にまとめたりするなど、実生活との関連を図った活動</p> <p>第5,6学年～ 「ひろげよう」において、学校の授業で調べたことや社会科見学で見聞きしたことをレポート用紙に書いたり、目的に合わせて書き方と筆記用具を考えてポスターを書いたりするなど、実生活との関連を図った活動</p>			

<p>内容の構成・排列、分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～ 平仮名について「とめ・はらい・はね」「まがり・むすび・かたち」など、点画や筆順、字形についての学習の後に、片仮名や漢字の学習を取り扱うなど系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第2学年～ 漢字について「土・大」などの画の長さや方向や「入・牛」などの点画のつき方や交わり方についての学習の後に、文章表記を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第3学年～ 毛筆について「下」などの点画の書き方や「木」などの「はらい」についての学習の後に、2字の平仮名の「曲がり」の筆使いを取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第4学年～ 毛筆について「光」などの「曲がり」の書き方や「式」などの「そり」についての学習の後に、2字の漢字の筆順や字形、平仮名の筆使いを取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第5学年～ 毛筆と硬筆の関連について「仲間」などの文字の部分の整え方や「知る」などの漢字と平仮名の大きさについての学習の後に、様々な用紙に応じて書く学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第6学年～ 毛筆と硬筆の関連について「団結」などの字形や「晴れた空」などの文字の大きさと配列についての学習の後に、目的にふさわしい筆記具と書き方について取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第1学年～ 硬筆は36ページであり、総ページ数は41ページで、前回より約3パーセント増となっている。</p> <p>第2学年～ 硬筆は33ページであり、総ページ数は41ページで、前回より約3パーセント増となっている。</p> <p>第3学年～ 硬筆は2ページ、毛筆は33ページであり、総ページ数は45ページで、前回より約2パーセント増となっている。</p> <p>第4学年～ 硬筆は5ページ、毛筆は30ページであり、総ページ数は45ページで、前回より約2パーセント増となっている。</p> <p>第5学年～ 硬筆は19ページ、毛筆は14ページであり、総ページ数は45ページで、前回より約2パーセント増となっている。</p> <p>第6学年～ 硬筆は25ページ、毛筆は17ページであり、総ページ数は45ページで、前回より約2パーセント増となっている。</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 学習のガイダンスをするキャラクターが登場したり（全学年）、「かさこじぞう」（第2学年）や「竜」（第6学年）などの国語の教科用図書との関連を図った教材を掲載したりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 書写の学び方について、毛筆で学習した点画の特徴を硬筆で確認できる書き込み欄を設けたり（第3～6学年）、書く教材の最後に自己評価の観点を示したり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 巻頭に書写に関連した教材や資料を掲載したり（全学年）、書き初めの学習手本を長半紙サイズで提示して大きさや位置を視覚的に理解しやすいようにしたり（第3～6年）するなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>その他</p>	

様式3

番号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
観点	17・教出	第1学年	書写134	しょうがくしょや1
		第2学年	書写234	小学しょや2
		第3学年	書写334	小学書写3
		第4学年	書写434	小学書写4
		第5学年	書写534	小学書写5
		第6学年	書写634	小学書写6
		取扱内容	各学年の目標、内容等 学習指導要領の総則及び各教科、	<p>○ 硬筆については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている</p> <p>第1,2学年～ 点画の長さや方向に気を付けたり、画の接し方や交わり方に気を付けて書いたりする活動を通して、文字を正しく書く。</p> <p>第3,4学年～ いろいろな文字の組立て方に気付いたり、筆順に気を付けて書いたりする活動を通して、文字の形を整えて書く。</p> <p>第5,6学年～ ポスター用紙や色紙など様々な用紙に合わせて書いたり、用紙全体との関係に注意して書いたりする活動を通して、全体の構成などを決めて書く。</p>
<p>○ 硬筆と毛筆の関連については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第3,4学年～ 筆圧や筆使い、筆順と点画の接し方の理解など、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、毛筆による書写の学習により硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける。</p> <p>第5,6学年～ 文字の組立てや大きさ、目的にあった筆記具の利用など、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、毛筆による書写の学習により硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける。</p>				
	<p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～ 「かいてつたえよう」において、友達のよいところをカードに書いたり、お世話になった人に招待状を書いたりするなど、実生活との関連を図った活動</p> <p>第3,4学年～ 「書いて伝えよう」において、おすすめの本のカードを書いたり、記事の配置を考えて筆記具を工夫して新聞を書いたりするなど、実生活との関連を図った活動</p> <p>第5,6学年～ 「書いて伝えよう」において、様々な筆記具を使ってポスターなどを書いたり、思い出に残る卒業記念文集を書いたりするなど、実生活との関連を図った活動</p>			



<p>内容の構成・排列、分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～ 平仮名について「止め、払い」「曲がり、折れ」など、点画や文字の形についての学習の後に、片仮名や漢字の学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第2学年～ 漢字について「十・上」などの筆順や「作・文」などの点画の接し方や交わり方についての学習の後に、文章表記を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第3学年～ 毛筆について「土」などの漢字の始筆、送筆、終筆や「大」などの「払い」の筆使いについての学習の後に、2字の平仮名の「曲がり」について取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第4学年～ 毛筆について「花」などの基本点画の反復や「右・左」などの筆順や字形についての学習の後に、点画の接し方、交わり方を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第5学年～ 文字の組立て方について「土地」などの偏と旁や「道」などの中心と外の部分についての学習の後に、硬筆を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第6学年～ 毛筆と硬筆の関連について「友情」などの組立て方や点画のつながりや「歴史」などの中と外の組立てについての学習の後に、硬筆で学習した余白、字間について取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第1学年～ 硬筆は39ページであり、総ページ数は45ページで、前回より約13パーセント増となっている。</p> <p>第2学年～ 硬筆は33ページであり、総ページ数は41ページで、前回より約3パーセント増となっている。</p> <p>第3学年～ 硬筆は6ページ、毛筆は35ページであり、総ページ数は59ページで、前回より約13パーセント増となっている。</p> <p>第4学年～ 硬筆は8ページ、毛筆は33ページであり、総ページ数は57ページで、前回より約10パーセント増となっている。</p> <p>第5学年～ 硬筆は10ページ、毛筆は28ページであり、総ページ数は49ページで、前回より約11パーセント増となっている。</p> <p>第6学年～ 硬筆は3ページ、毛筆は34ページであり、総ページ数は49ページで、前回より約11パーセント増となっている。</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 学習のガイダンスをするキャラクターが登場したり（全学年）、「おおきなかぶ」（第1学年）や「枕草子」（第6学年）などの国語の教科用図書との関連を図った教材を掲載したりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 書写の学び方について、学習のポイントや他の文字での応用を図る段階を示したり（4～6学年）、教材ごとに自己評価欄を設けたり（全学年）するなど、児童が主体的に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 巻頭に折り込みの書写に関連した教材（全学年）や、裏表紙に児童自らが繰り返し確認できるよう筆記具の持ち方（全学年）を示したりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>その他</p>	

様式3

番号  観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	38・光村	第1学年 第2学年 第3学年 第4学年 第5学年 第6学年	書写135 書写235 書写335 書写435 書写535 書写635	しよしゃねん しよしゃにん 書写三年 書写四年 書写五年 書写六年
取扱内容  各学年の目標、内容等 学習指導要領の総則及び各教科、	<p>○ 硬筆については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1,2学年～ 点画の形と方向に気を付けて文字をなぞったり、画の接し方や交わり方を考えたりする活動を通して、文字を正しく書く。</p> <p>第3,4学年～ 漢字が偏になった時の形の違いを考えたり、筆順に気を付けて書いたりする活動を通して、文字の形を整えて書く。</p> <p>第5,6学年～ 様々な大きさの用紙に合わせて書いたり、用紙全体との関係に注意して書いたりする活動を通して、文字の大きさや配列などを決めて書く。</p> <p>○ 毛筆については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第3,4学年～ 1～2字の漢字や平仮名の題材で、点画の形とその形を作る筆の動きに注意しながら書く活動を通して、点画の種類を理解し筆圧などに注意して書く。</p> <p>第5,6学年～ 漢字仮名交じりの文言の題材で、小筆や筆ペンなどを使用して点画相互、文字のつながりを意識して書く活動を通して、穂先の動きと点画のつながりを意識して書く。</p> <p>○ 硬筆と毛筆の関連については、次のような内容や学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第3,4学年～ 点画の筆使いや文字の配列についての理解など、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、毛筆による書写の学習により硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける。</p> <p>第5,6学年～ 穂先の動きや点画のつながり、文字の大きさや配列など、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、毛筆による書写の学習により硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける。</p> <p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～ 「しりょう」において、あさがおの観察カードなど、横書きの文章を書いたり、友達に縦書きと横書きの手紙を書いたりするなど、実生活との関連を図った活動</p> <p>第3,4学年～ 「しりょう」において、書く位置や文字の大きさに気を付けてはがきを書いたり、新聞を読みやすく書く工夫を確かめたりするなど、実生活と関連を図った活動</p> <p>第5,6学年～ 「資料」において、文字の大きさや配列などに気を付けて新聞などを書いたり、ノートの書き方やメモの取り方を確かめて文章を書いたりするなど、実生活との関連を図った活動</p>			

<p>内容の構成・排列、分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～ 平仮名について「止め、払い」「曲がり、折れ」など、点画や文字の形の学習の後に、片仮名や漢字の学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第2学年～ 漢字について「三・川」などの筆順や「千・口」などの「払い」や「折れ」の方向についての学習の後に、文章表記を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第3学年～ 毛筆について「二・土」などの始筆、送筆、終筆や「日・木」の「折れ」や「払い」についての学習の後に、漢字の中心を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第4学年～ 毛筆について「左・右」などの筆順と字形や「原・皮」などの接し方の学習をした後に、部分の組立てや漢字の大きさを取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第5学年～ 毛筆について「平・和」などの穂先の動きや「も」などの点画のつながりを学習した後に、行の中心や文字の大きさ、配列について取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第6学年～ 硬筆と毛筆の関連について「湖」などの三つの部分の組立て方や「あけび」などの穂先の動きと点画のつながりについての学習の後に、書き方のリズムを取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第1学年～ 硬筆は36ページであり、総ページ数は39ページで、前回より約2パーセント増となっている。</p> <p>第2学年～ 硬筆は31ページであり、総ページ数は37ページで、前回より約16パーセント増となっている。</p> <p>第3学年～ 硬筆は5ページ、毛筆は42ページであり、総ページ数は55ページで、前回より約15パーセント増となっている。</p> <p>第4学年～ 硬筆は7ページ、毛筆は34ページであり、総ページ数は49ページで、前回より約2パーセント増となっている。</p> <p>第5学年～ 硬筆は13ページ、毛筆は26ページであり、総ページ数は47ページで、前回より約7パーセント増となっている。</p> <p>第6学年～ 硬筆は6ページ、毛筆は27ページであり、総ページ数は49ページで、前回より約11パーセント増となっている。</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 児童の課題解決のヒントを与えるキャラクターが登場したり（全学年）、手紙の書き方（第3学年）、「枕草子」（第5学年）などの国語の教科用図書との関連を図った教材を掲載したりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 書写の学び方について、当該学年のまとめとして児童が課題を選択して学習する教材を設定したり（第3～6学年）、教材ごとに自己評価欄を設けたり（全学年）するなど、児童が主体的に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 巻頭に学習内容全体を示した「学習の進め方」を配置したり（第4～6学年）、巻末に書写に関連したコラム的な記事（第2～6学年）を掲載したりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>その他</p>	

様式3

番号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
観点	116・日文	第1学年 第2学年 第3学年 第4学年 第5学年 第6学年	書写136 書写236 書写336 書写436 書写536 書写636	しょうがくしょや 一ねん 小学しょや 二年 小学書写 三年 小学書写 四年 小学書写 五年 小学書写 六年
取扱内容  各学年の目標、内容等 学習指導要領の総則及び各教科、	<p>○ 硬筆については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1,2学年～ はらいの向きに気を付けて書いたり、点画の長短や方向、接し方や交わり方について考えたりする活動を通して、文字を正しく書く。</p> <p>第3,4学年～ 部首と他の部分の組立て方について考えたり、左右や上下の部分の大きさや位置の違いを考えたりする活動を通して、文字の形を整えて書く。</p> <p>第5,6学年～ ポスターや色紙など様々な用紙に合わせて書いたり、用紙全体との関係に注意したりする活動を通して、文字の大きさや配列などを決めて書く。</p> <p>○ 毛筆については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第3,4学年～ 1～2字の漢字や平仮名の題材で、点画の形とその形を作る筆の動きに注意しながら書く活動を通して、点画の種類を理解し筆圧などに注意して書く。</p> <p>第5,6学年～ 1～2字の漢字や平仮名の題材で、筆順に注意して点画相互、文字のつながりを意識して書く活動を通して、穂先の動きと点画のつながりを意識して書く。</p> <p>○ 硬筆と毛筆の関連については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第3,4学年～ 文字の組立てや筆順と字形の理解など、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、毛筆による書写の学習により硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける。</p> <p>第5,6学年～ 文字の大きさ、配列などの理解など、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、毛筆による書写の学習により硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける。</p> <p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～ 「ひろがるまなび」において、観察したことについて夏休みの絵日記を書いたり、フェルトペンで年賀状を書いたりするなど、実生活との関連を図った活動</p> <p>第3,4学年～ 「広がる学び」において、丁寧な文字で老人クラブへのお礼の手紙を書いたり、文字の大きさを考えて学級新聞を書いたりするなど、実生活との関連を図った活動</p> <p>第5,6学年～ 「広がる学び」において、目的に応じた筆記具を選びポスターを書いたり、電話しながら大切な要件をメモに書いたりするなど、実生活との関連を図った活動</p>			

<p>内容の構成・排列、分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～ 平仮名について「止め、払い」「折れ、曲がり」など、点画や文字の形の学習をした後に、片仮名や漢字の学習について取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第2学年～ 漢字について「目・四」などの文字の形や、「上・下」などの点画の接し方や交わり方についての学習の後に、文章表記を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第3学年～ 毛筆について「いろいろな線」の筆圧や「一」の始筆、送筆、終筆の学習をした後に、1字の漢字の筆使いや漢字の中心について取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第4学年～ 毛筆について「光」などの1字の漢字の基本点画や「麦」などの間隔、方向の学習をした後に、2字の漢字の筆順と字形の関係、部分の組立てを取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第5学年～ 毛筆と硬筆の関連について「花」などの全学年で学習したことの復習や「道」などの漢字の組立てや字形についての学習の後に文字の大きさや配列について取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第6学年～ 毛筆について「湖」などの3つの部分がある漢字の組立て方や「飛」などの点画のつながりについての学習の後に、3字以上の文字の大きさ、配列、余白について取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第1学年～ 硬筆は39ページであり、総ページ数は40ページで、前回と同様となっている。</p> <p>第2学年～ 硬筆は33ページであり、総ページ数は40ページで、前回と同様となっている。</p> <p>第3学年～ 硬筆は8ページ、毛筆は35ページであり、総ページ数は52ページで、前回と同様となっている。</p> <p>第4学年～ 硬筆は11ページ、毛筆は37ページであり、総ページ数は52ページで、前回と同様となっている。</p> <p>第5学年～ 硬筆は5ページ、毛筆は35ページであり、総ページ数は52ページで、前回と同様となっている。</p> <p>第6学年～ 硬筆は5ページ、毛筆は34ページであり、総ページ数は52ページで、前回と同様となっている。</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 目標の達成に向けたヒントを投げかけるキャラクターが登場したり（全学年）、本の紹介（第4学年）や随筆（第6学年）などの国語の教科用図書との関連を図った言語活動を取り入れたりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 書写の学び方について、教材ごとに学習内容について自己評価欄を設けたり（全学年）、まとめて課題を設定できるようにしたり（第3～6学年）するなど、児童が主体的に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 巻頭に1年間の学習の見通しをもたせる「学習のめあて」（全学年）や、巻末に次の学年の学習内容を示す「チャレンジ」（第2、4、5学年）を掲載したりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>その他</p>	

様式 1

教科用図書第 3 採択地区調査委員会

( 社 会 ) 小委員会委員長

本 谷 弘 之



<p>調 査 研 究 ・ 審 議 の 経 過</p>	<p>1 審議経過の概要</p> <p>(1) 審議の対象となった発行者名及び数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京書籍、教育出版、光村図書、日本文教出版の 4 者</li> </ul> <p>(2) 調査研究の手順</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第 1 回調査委員会(6 月 2 6 日)で 4 者の教科書を配布し、調査の観点や手順を協議した。</li> <li>・第 2 回調査委員会(7 月 1 5 日、1 6 日)に、各自の調査研究を基に内容別に協議し、様式 1 について整理するとともに、全体を通して各者の特徴をまとめ様式 2, 様式 3 を作成した。</li> </ul> <p>(3) 調査研究のための観点、項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取扱内容については、学習指導要領の総則及び教科や各学年の目標や内容等を踏まえ、具体的な学習活動がどのように目標を達成できるようになっているかという視点で調査し整理した。</li> <li>・内容の程度・排列・分量等については、児童の興味・関心や地域の実態に応じた内容か、又、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされているか、前回とも比較し適当な分量であるかという視点で調査し整理した。</li> <li>・使用上の配慮等については、児童が学習意欲をもって主体的に取り組めるような工夫がなされているか、又、使用上の便宜がどのように図られているかという視点で調査し整理した。</li> </ul>
<p>全 体 を 通 じ て の 特 徴</p>	<p>2 審議結果の概要</p> <p>(1) 東京書籍については、学習の進め方を示すなど、問題意識をもって、学習を進められるよう工夫したり、防災教育やキャリア教育など新しい教育課題に関する教材を取り上げたりするという特色があり、優れている。</p> <p>教育出版については、活動の方法や手順、資料を読み解く際の着眼点が明示されたり、学んだことのキーワードを用いてノートやレポートのまとめを例示したりするという特色があり、優れている。</p> <p>光村図書については、児童が主体的に課題を追究しながら社会認識を深められるように各小単元を構成したり、すべての学年で防災意識が高められるような単元を導入したりするという特色があり、優れている。</p> <p>日本文教出版については、児童一人ひとりの問題意識を学級全体での話し合いに結びつける小単元の流れを工夫したり、人権・福祉に関わる内容を大きく取り上げたりするという特色があり、優れている。</p> <p>(2) このほか、教育出版と日本文教出版については、領土に関する内容に多くのページを費やしているなどの話題も出されていた。</p>

社会の目標等について

【教科の目標】

社会生活についての理解を図り、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育て、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

【学年・領域等の目標など】

[第3学年及び第4学年]

- (1) 地域の産業や消費生活の様子、人々の健康な生活や良好な生活環境及び安全を守るための諸活動について理解できるようにし、地域社会の一員としての自覚をもつようにする。
- (2) 地域の地理的環境、人々の生活の変化や地域の発展に尽くした先人の働きについて理解できるようにし、地域社会に対する誇りと愛情を育てるようにする。
- (3) 地域における社会的事象を観察、調査するとともに、地図や各種の具体的資料を効果的に活用し、地域社会の社会的事象の特色や相互の関連などについて考える力、調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにする。

[第5学年]

- (1) 我が国の国土の様子、国土の環境と国民生活との関連について理解できるようにし、環境の保全や自然災害の防止の重要性について関心を深め、国土に対する愛情を育てるようにする。
- (2) 我が国の産業の様子、産業と国民生活との関連について理解できるようにし、我が国の産業の発展や社会の情報化の進展に関心をもちようにする。
- (3) 社会的事象を具体的に調査するとともに、地図や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を効果的に活用し、社会的事象の意味について考える力、調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにする。

[第6学年]

- (1) 国家・社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産について興味・関心と理解を深めるようにするとともに、我が国の歴史や伝統を大切にし、国を愛する心情を育てるようにする。
- (2) 日常生活における政治の働きと我が国の政治の考え方及び我が国と関係の深い国の生活や国際社会における我が国の役割を理解できるようにし、平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きていくことが大切であることを自覚できるようにする。
- (3) 社会的事象を具体的に調査するとともに、地図や地球儀、年表などの各種の基礎的資料を効果的に活用し、社会的事象の意味をより広い視野から考える力、調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにする。

【参考】

- 社会科、地理歴史科、公民科においては、その課題を踏まえ、小学校、中学校及び高等学校を通じて、社会的事象に関心をもち多面的・多角的に考察し、公正に判断する能力と態度を養い、社会的な見方や考え方を成長させることを一層重視する方向で改善を図る。
- 社会的事象に関する基礎的・基本的な知識、概念や技能を確実に習得させ、それらを活用する力や課題を探究する力を育成する観点から、各学校段階の特質に応じて、習得すべき知識、概念の明確化を図るとともに、コンピュータなども活用しながら、地図や統計など各種の資料から必要な情報を集めて読み取ること、社会的事象の意味、意義を解釈すること、事象の特色や事象間の関連を説明すること、自分の考えを論述することを一層重視する方向で改善を図る。
- 我が国及び世界の成り立ちや地域構成、今日の社会経済システム、様々な伝統や文化、宗教についての理解を通して、我が国の国土や歴史に対する愛情をはぐくみ、日本人としての自覚をもって国際社会で主体的に生きるとともに、持続可能な社会の実現を目指すなど、公共的な事柄に自ら参加していく資質や能力を育成することを重視する方向で改善を図る。

○ 標準授業時数

第3学年－ 70単位時間

第4学年－ 90単位時間

第5学年－ 100単位時間

第6学年－ 105単位時間

様式3

番号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
観点	2・東書	第3,4学年 第5学年 第6学年	社会331 社会332 社会531, 532 社会631, 632	新編新しい社会3・4上 新編新しい社会3・4下 新編新しい社会5上,新編新しい社会5下 新編新しい社会6上,新編新しい社会6下
<p>取扱内容</p> <p>各学年の目標、内容等</p>	<p>○ 地域社会に関する内容については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第3,4学年～ 地域の文化財や郷土芸能を受け継いでいる人々について調べたり、博物館を利用して古い道具や昔の暮らしについて調べたりする活動を通して、地域社会に対する誇りと愛情をもつ。</p> <p>○ 我が国の国土と産業に関する内容については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第5学年～ 北方領土などの日本の国土の様子を地図や地球儀で調べたり、地域の医療や教育、防災で利用されている情報ネットワークについて調べたりする活動を通して、国土に対する愛情や社会の情報化についての関心を深める。</p> <p>○ 我が国の歴史と政治、国際理解に関する内容については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第6学年～ 天皇中心の国づくりについて整理し新聞にまとめたり、地球の環境問題と持続可能な社会について調べたりする活動を通して、我が国の歴史伝統を大切にし、世界の人々と共に生きていくことについて考える。</p> <p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第3,4学年～ 廃棄物の処理にかかわる学習の後に「ごみのしより」について調べたり考えたりしたことをカードにまとめ、友達に分かりやすく発表するなどの知識・技能を活用する活動</p> <p>第5学年～ 食料生産の学習を基に、米の生産量と消費量の変化のグラフを読み取り、農家のかかえる問題とこれからの米づくりについて考えをまとめ、それぞれの提案について話し合うなどの知識・技能を活用する活動</p> <p>第6学年～ 既習事項を基に明治維新に功績があった人物の関係図の作成を通して、それぞれの人物の業績について考えたことを根拠や解釈を示しながら表現するなどの知識・技能を活用する活動</p>			
内容の構成・排列、分量等	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第3,4学年～ 地域の発展に尽くした先人の具体的事例については、開発、教育などの事例を取り上げるなど、地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるような構成し、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第5学年～ 我が国の国土については、高地や低地、温暖な気候や冷涼な気候などの事例を取り上げるなど、地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるような構成し、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第6学年～ 我が国とつながりの深い国については、アメリカ、中国、韓国、サウジアラビアの事例を取り上げるなど、児童の興味・関心や地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるような構成し、系統的・発展的に学習できるような工夫</p>			



<p>内容の構成・排列、分量等</p>	<p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第3,4学年～ 「身近な地域や市の地形、土地利用、公共施設などの様子」は40ページ、「地域の生産や販売に携わっている人々の働き」は58ページ、「地域の人々の健康な生活や良好な生活環境を守るための諸活動」は48ページ、「地域の人々の安全を守るための諸活動」は52ページ、「地域の古い道具、文化財や年中行事、地域の発展に尽くした先人の具体的事例」は50ページ、「県の地形や産業、県内の特色ある地域」は58ページであり、総ページ数は312ページで、前回より16パーセント増となっている。</p> <p>第5学年～ 「我が国の国土の様子と国民生活との関連」は98ページ、「我が国の農業や水産業（食料生産）の様子と国民生活との関連」は58ページ、「我が国の工業の様子と国民生活との関連」は56ページ、「我が国の情報産業などの様子と国民生活との関連」は42ページであり、総ページ数は260ページで、前回より20パーセント増となっている。</p> <p>第6学年～ 「我が国の歴史上の主な事象」は154ページ、「我が国の政治の働き、日本国憲法の考え方」は56ページ、「我が国とつながりの深い国の人々の生活の様子、国際社会における我が国の役割」は52ページであり、総ページ数は268ページで、前回より16パーセント増となっている。</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 自然環境を生かした農業にかかわる学習に関連して、大規模な農業を行っている十勝地方の事例を掲載したり（第5学年）、寒い土地の暮らしにかかわる学習に関連して、アイヌの人たちの伝統的な食事や衣服、住居等の事例を掲載したり（第5学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 地域の安全を守る仕事に関する学習の後に、地域の人々の活動について調べる活動を設定したり（第3、4学年）、我が国の政治の働きにかかわる学習の後に、自分たちができる政治参加について考える活動を設定したり（第6学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 目次に「見る・聞く・ふれる」、「読み取る」などの学び方のコラム（全学年）や、巻末に学習した事項をまとめた日本地図（第5学年）を示したり、図表は色だけでなく、形からも区別できるようにしたりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>その他</p>	

様式 3

番号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
観点	17・教出	第3・4学年 第5学年 第6学年	社会333 社会334 社会533, 534 社会633, 634	小学社会3・4上 小学社会3・4下 小学社会5上, 小学社会5下 小学社会6上, 小学社会6下
<p>取扱内容</p> <p>各学年の目標、内容等</p> <p>学習指導要領の総則及び各教科、</p>	<p>○ 地域社会に関する内容については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにになっている。</p> <p>第3, 4学年～ 地域に伝わる祭りなどの年中行事を受け継いでいる人々について調べたり、古い地図から地域の新田開発について調べたりする活動を通して、地域社会に対する誇りと愛情をもつ。</p> <p>○ 我が国の国土と産業に関する内容については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにになっている。</p> <p>第5学年～ 北方領土などの日本の国土の様子を地図で調べたり、地域の医療や福祉、防災で利用されている情報ネットワークについて調べたりする活動を通して、国土に対する愛情や社会の情報化についての関心を深める。</p> <p>○ 我が国の歴史と政治、国際理解に関する内容については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにになっている。</p> <p>第6学年～ 茶の湯などを通して室町文化と現在の暮らしのつながりを考えたり、地球の環境問題について調べたりする活動を通して、我が国の歴史や伝統を大切にし、世界の人々と共に生きていくことについて考える。</p> <p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第3, 4学年～ 地域の生産や販売に携わっている人々の働きにかかわる学習の後に、仕事の工夫をまとめたちらしを作成し、発表し合うなどの知識・技能を活用する活動</p> <p>第5学年～ 食料生産の学習を基に、これからの日本の食料生産についての新聞づくりを通して、自分の考えたことをまとめ、それぞれの意見を発表して話し合うなどの知識・技能を活用する活動</p> <p>第6学年～ 既習事項を基に、戦国時代の3人の武将のそれぞれの立場になってまとめる活動を通して、それぞれの人物の業績について考えたことを根拠や解釈を示しながら表現するなどの知識・技能を活用する活動</p>			
<p>内容の構成・排列、分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第3, 4学年～ 地域の発展に尽くした先人の具体的事例については、開発、教育などの事例を取り上げるなど、地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるよう構成し、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第5学年～ 我が国の農業生産については、野菜、果物、畜産物などの事例を取り上げるなど、地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるよう構成し、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第6学年～ 我が国とつながりの深い国については、韓国、アメリカ、中国、サウジアラビアの事例を取り上げるなど、児童の興味・関心や地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるよう構成し、系統的・発展的に学習できるような工夫</p>			

	<p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第3,4学年～ 「身近な地域や市の地形、土地利用、公共施設などの様子」は44ページ、「地域の生産や販売に携わっている人々の働き」は50ページ、「地域の人々の健康な生活や良好な生活環境を守るための諸活動」は44ページ、「地域の人々の安全を守るための諸活動」は36ページ、「地域の古い道具、文化財や年中行事、地域の発展に尽くした先人の具体的事例」は48ページ、「県の地形や産業、県内の特色ある地域」は54ページであり、総ページ数は294ページで、前回より5パーセント減となっている。</p> <p>第5学年～ 「我が国の国土の様子と国民生活との関連」は84ページ、「我が国の農業や水産業（食料生産）の様子と国民生活との関連」は56ページ、「我が国の工業の様子と国民生活との関連」は50ページ、「我が国の情報産業などの様子と国民生活との関連」は26ページであり、総ページ数は232ページで、前回より3パーセント減となっている。</p> <p>第6学年～ 「我が国の歴史上の主な事象」は144ページ、「我が国の政治の働き、日本国憲法の考え方」は36ページ、「我が国とつながりの深い国の人々の生活の様子、国際社会における我が国の役割」は42ページであり、総ページ数は228ページで、前回より5パーセント増となっている。</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 寒冷地の生活環境にかかわる学習に関連して、すべり止めの砂を市内の様々な場所に置いてある札幌市の事例を掲載したり（第5学年）、食料生産にかかわる学習に関連して、北方領土の周りで漁業を行っている根室市の事例を掲載したり（第5学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 地域の昔の暮らしにかかわる学習の後に、昔さがしマップをつくる活動を設定したり（第3、4学年）、我が国と世界の国々とのつながりにかかわる学習の後に、現代社会の課題と自分とのかかわりについてまとめる活動を設定したり（第6学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 巻頭に学習の進め方や教科書の活用の仕方（全学年）、巻末に学習した出来事や遺跡、文化財をまとめた日本地図（第6学年）を示したり、図表は配置の大きさ、文字の色や形、線の太さを変えたりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>その他</p>	

様式3

番号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
観点	38・光村	第3,4学年 第5学年 第6学年	社会335 社会336 社会535 社会635	社会3・4上 社会3・4下 社会5 社会6
<p>取扱内容</p> <p>各学年の目標、学習指導要領の総則及び各教科、内容等</p>	<p>○ 地域社会に関する内容については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第3,4学年～ 地域に伝わる郷土芸能を受け継いでいる人々について調べたり、測量などを体験し、昔の人たちの治水工事について調べたりする活動を通して、地域社会に対する誇りと愛情をもつ。</p> <p>○ 我が国の国土と産業に関する内容については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第5学年～ 北方領土などの日本の国土の様子を地図や地球儀などで調べたり、地域の医療や防災で利用されている情報ネットワークについて調べたりする活動を通して、国土に対する愛情や社会の情報化についての関心を深める。</p> <p>○ 我が国の歴史と政治、国際理解に関する内容については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第6学年～ 茶の湯や水墨画などの室町文化を体験して感想を交流したり、世界各国が協力して行う支援活動について調べたりする活動を通して、我が国の歴史や伝統を大切に、世界の人々と共に生きていくことについて考える。</p> <p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第3,4学年～ 県の地形や産業の学習の後に、県の特色をとらえながら県の中で行ってみたい場所を旅行計画書にまとめ、調べたことを発表し合うなどの知識・技能を活用する活動</p> <p>第5学年～ 暮らしを支える自動車工業の学習を基に、自動車づくりに携わる人たちの努力や工夫を知り、「10年後の自動車」の企画書を作るなどの知識・技能を活用する活動</p> <p>第6学年～ 既習事項を基に天下統一にかかわる3人の武将の功績をまとめた年表の作成を通して、それぞれの武将の業績について考えたことを根拠や解釈を示しながら表現するなどの知識・技能を活用する活動</p>			
<p>内容の構成・排列、分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第3,4学年～ 地域の発展に尽くした先人の具体的事例については、開発、文化財の保護などの事例を取り上げるなど、地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるよう構成し、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第5学年～ 我が国の農業生産については、野菜、果物、畜産物などの事例を取り上げるなど、地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるよう構成し、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第6学年～ 我が国とつながりの深い国については、中国、アメリカ、ブラジル、サウジアラビアの事例を取り上げるなど、児童の興味・関心や地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるよう構成し、系統的・発展的に学習できるような工夫</p>			

<p>内容の構成・排列、分量等</p>	<p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第3,4学年～ 「身近な地域や市の地形、土地利用、公共施設などの様子」は36ページ、「地域の生産や販売に携わっている人々の働き」は42ページ、「地域の人々の健康な生活や良好な生活環境を守るための諸活動」は40ページ、「地域の人々の安全を守るための諸活動」は32ページ、「地域の古い道具、文化財や年中行事、地域の発展に尽くした先人の具体的事例」は48ページ、「県の地形や産業、県内の特色ある地域」は42ページであり、総ページ数は252ページで、前回より9パーセント減となっている。</p> <p>第5学年～ 「我が国の国土の様子と国民生活との関連」は86ページ、「我が国の農業や水産業（食料生産）の様子と国民生活との関連」は54ページ、「我が国の工業の様子と国民生活との関連」は50ページ、「我が国の情報産業などの様子と国民生活との関連」は30ページであり、総ページ数は228ページで、前回より2パーセント増となっている。</p> <p>第6学年～ 「我が国の歴史上の主な事象」は142ページ、「我が国の政治の働き、日本国憲法の考え方」は32ページ、「我が国とつながりの深い国の人々の生活の様子、国際社会における我が国の役割」は38ページであり、総ページ数は228ページで、前回より4パーセント増となっている。</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 気候の特色と人々の暮らしにかかわる学習に関連して、断熱材を使った家のつくりについて旭川市の事例を掲載したり（第5学年）、世界遺産にかかわる学習に関連して、自然遺産に登録された知床の事例を掲載したり（第6学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 都道府県に関する学習の後に、これまで学習した県の特色をかるたにまとめる活動を設定したり（第3、4学年）、学習のまとめとして、世界で起きている問題を解決する取組について意見文を書く活動を設定したり（第6学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 巻頭に「教科書をヒントに、学習を進めよう」という教科書の活用方法（全学年）や日本の地形や主な交通網、土地利用を示す日本地図（第5学年）を示したり、図表は配置の大きさ、文字の形を変えたりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>その他</p>	

様式 3

番号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
観点	116・日文	第3・4学年 第5学年 第6学年	社会337 社会338 社会537, 538 社会637, 638	小学社会3・4上 小学社会3・4下 小学社会5上, 小学社会5下 小学社会6上, 小学社会6下
<p>取扱内容</p> <p>各学年の目標、内容等</p> <p>学習指導要領の総則及び各教科、</p>	<p>○ 地域社会に関する内容については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにになっている。</p> <p>第3, 4学年～ 地域に伝わる祭りを受け継いでいる人々について調べたり、郷土資料館を利用して堤防や港の建設など地域の開発に尽くした人々について調べたりする活動を通して、地域社会に対する誇りと愛情をもつ。</p> <p>○ 我が国の国土と産業に関する内容については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにになっている。</p> <p>第5学年～ 北方領土などの日本の国土の様子を地図で調べたり、地域の医療や防災で利用されている情報ネットワークについて調べたりする活動を通して、国土に対する愛情や社会の情報化についての関心を深める。</p> <p>○ 我が国の歴史と政治、国際理解に関する内容については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにになっている。</p> <p>第6学年～ 能の体験を通して室町文化と現在の暮らしのつながりを考えたり、地球の環境問題と国連の働きについて調べたりする活動を通して、我が国の歴史や伝統を大切に、世界の人々と共に生きていくことについて考える。</p> <p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第3, 4学年～ 工場見学の学習の後に、工場で働く人の努力などについて調べたことや考えたことをキーワードを使い、振り返りシートにまとめるなどの知識・技能を活用する活動</p> <p>第5学年～ 日本の地形や気候の学習を基に、日本の地形や各地の気候を振り返りシートを用いて比較し、共通点や相違点などについて考えをまとめ、話し合うなどの知識・技能を活用する活動</p> <p>第6学年～ 既習事項を基に幕末から明治維新までの出来事や人物の関係を、年表や関係図にまとめることを通して、それぞれの人物の業績について考えたことを根拠や解釈を示しながら表現するなどの知識・技能を活用する活動</p>			
<p>内容の構成・排列、分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第3, 4学年～ 地域の発展に尽くした先人の具体的事例については、開発、環境保全などの事例を取り上げるなど、地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるように構成し、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第5学年～ 我が国の農業生産については、畜産物、野菜、果物などの事例を取り上げるなど、地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるように構成し、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第6学年～ 我が国とつながりの深い国については、韓国、中国、アメリカ、ブラジルの事例を取り上げるなど、児童の興味・関心や地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるように構成し、系統的・発展的に学習できるような工夫</p>			

	<p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第3,4学年～ 「身近な地域や市の地形、土地利用、公共施設などの様子」は46ページ、「地域の生産や販売に携わっている人々の働き」は62ページ、「地域の人々の健康な生活や良好な生活環境を守るための諸活動」は46ページ、「地域の人々の安全を守るための諸活動」は42ページ、「地域の古い道具、文化財や年中行事、地域の発展に尽くした先人の具体的事例」は54ページ、「県の地形や産業、県内の特色ある地域」は56ページであり、総ページ数は319ページで、前回と比較して同様のページ数となっている。</p> <p>第5学年～ 「我が国の国土の様子と国民生活との関連」は92ページ、「我が国の農業や水産業（食料生産）の様子と国民生活との関連」は60ページ、「我が国の工業の様子と国民生活との関連」は46ページ、「我が国の情報産業などの様子と国民生活との関連」は26ページであり、総ページ数は232ページで、前回より12パーセント増となっている。</p> <p>第6学年～ 「我が国の歴史上の主な事象」は173ページ、「我が国の政治の働き、日本国憲法の考え方」は40ページ、「我が国とつながりの深い国の人々の生活の様子、国際社会における我が国の役割」は42ページであり、総ページ数は262ページで、前回より16パーセント増となっている。</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 気候の特色と人々の暮らしにかかわる学習に関連して、厳しい寒さを生かした観光や農業の様子について旭川市の事例を掲載したり（第5学年）、自然を守る運動にかかわる学習に関連して、知床半島や釧路湿原の事例を掲載したり（第5学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 災害に関する学習の後に、被災地への国内外からの支援について調べる活動を設定したり（第3、4学年）、日本国憲法に関する学習の後に、自分や学校生活と憲法との関係を考える活動を設定したり（第6学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 巻頭に教科書及び資料、地図の活用方法（全学年）、巻末に自分の将来を書き込むことのできる年表（第6学年）を示したり、図表は斜線やドットなどを使用したりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>その他</p>	

<p>調 査 研 究  審 議 の 経 過</p>	<p>1 審議経過の概要</p> <p>(1) 審議の対象となった発行者名及び数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京書籍、帝国書院の 2 者</li> </ul> <p>(2) 調査研究の手順</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第 1 回調査委員会(6 月 2 6 日)で 2 者の教科書を配布し、調査の観点や手順を協議した。</li> <li>・第 2 回調査委員会(7 月 1 5 日、1 6 日)に、各自の調査研究を基に内容別に協議し、様式 1 について整理するとともに、全体を通して各者の特徴をまとめ様式 2, 様式 3 を作成した。</li> </ul> <p>(3) 調査研究のための観点、項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取扱内容については、各学年の目標を達成する上で、どのような学習活動が取り上げられているか、又、「地域の人々の社会生活の様子」や「我が国の国土や産業に関する社会事象」、「我が国の歴史と政治及び国際社会に関する社会的事象」をより具体的に把握するために地図や年表、具体的資料が活用、探究しやすいものになっているかという視点で調査し整理した。</li> <li>・内容の程度・排列・分量等については、地図や資料等に多様性や活用性があり系統的、発展的に学習できるような工夫がされているか、前回とも比較し適当な分量であるかという視点で調査し整理した。</li> <li>・使用上の配慮については、今日的な課題の取り扱いはどうか、児童が学習意欲をもって主体的に取り組めるような工夫がなされているか、又、使用上の便宜がどのように図られているかなどという視点で調査し整理した。</li> </ul>
<p>全 体 を 通 じ て の 特 徴</p>	<p>2 審議経過の概要</p> <p>(1) 東京書籍については、日本列島を大きくとらえ、都道府県の位置と名称がよくわかること、拡大図や 3 ページ大の全図などを設け、特色ある地域の地形、気候、産業、位置がよくわかる構成であること、地図の約束や標記の仕方を巻頭に掲載し、児童が困った際は、振り返られるような工夫があること、地図の活用を促す言葉を掲載し、児童が主体的に学習を進められるような工夫があることなどの特色があり、優れている。</p> <p>帝国書院については、全編を通して、赤色の都道府県名に黒いふちどりを付した文字が見やすいこと、都市部の拡大図、鳥瞰図、イラスト等の多様な表現を用いて、地形の特徴や都道府県などの地理的位置関係、都市と産業、地域の結びつきなどが捉えやすくなっていること、「ノートコーナー」で理解を深める説明や解説、作業を指示しており、児童が主体的に学習に取り組めることなどの特色があり、優れている。</p> <p>(2) このほか、両者とも「キャラクターのセリフ」により地図の活用の着目点を示すことで、グラフや写真等が見やすくなったなどの話題も出されていた。</p>



地図(社会)の目標等について

【教科の目標】

(社会の目標)

社会生活についての理解を図り、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育て、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

【学年・領域等の目標など】

[社会・第3学年及び第4学年]

- (1) 地域の産業や消費生活の様子、人々の健康な生活や良好な生活環境及び安全を守るための諸活動について理解できるようにし、地域社会の一員としての自覚をもつようにする。
- (2) 地域の地理的環境、人々の生活の変化や地域の発展に尽くした先人の働きについて理解できるようにし、地域社会に対する誇りと愛情を育てるようにする。
- (3) 地域における社会的事象を観察、調査するとともに、地図や各種の具体的資料を効果的に活用し、地域社会の社会的事象の特色や相互の関連などについて考える力、調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにする。

[社会・第5学年]

- (1) 我が国の国土の様子、国土の環境と国民生活との関連について理解できるようにし、環境の保全や自然災害の防止の重要性について関心を深め、国土に対する愛情を育てるようにする。
- (2) 我が国の産業の様子、産業と国民生活との関連について理解できるようにし、我が国の産業の発展や社会の情報化の進展に関心をもちようにする。
- (3) 社会的事象を具体的に調査するとともに、地図や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を効果的に活用し、社会的事象の意味について考える力、調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにする。

[社会・第6学年]

- (1) 国家・社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産について興味・関心と理解を深めるようにするとともに、我が国の歴史や伝統を大切にし、国を愛する心情を育てるようにする。
- (2) 日常生活における政治の働きと我が国の政治の考え方及び我が国と関係の深い国の生活や国際社会における我が国の役割を理解できるようにし、平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きていくことが大切であることを自覚できるようにする。
- (3) 社会的事象を具体的に調査するとともに、地図や地球儀、年表などの各種の基礎的資料を効果的に活用し、社会的事象の意味をより広い視野から考える力、調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにする。

【参考】

- 社会科、地理歴史科、公民科においては、その課題を踏まえ、小学校、中学校及び高等学校を通じて、社会的事象に関心をもち多面的・多角的に考察し、公正に判断する能力と態度を養い、社会的な見方や考え方を成長させることを一層重視する方向で改善を図る。
- 社会的事象に関する基礎的・基本的な知識、概念や技能を確実に習得させ、それらを活用する力や課題を探究する力を育成する観点から、各学校段階の特質に応じて、習得すべき知識、概念の明確化を図るとともに、コンピュータなども活用しながら、地図や統計など各種の資料から必要な情報を集めて読み取ること、社会的事象の意味、意義を解釈すること、事象の特色や事象間の関連を説明すること、自分の考えを論述することを一層重視する方向で改善を図る。
- 我が国及び世界の成り立ちや地域構成、今日の社会経済システム、様々な伝統や文化、宗教についての理解を通して、我が国の国土や歴史に対する愛情をはぐくみ、日本人としての自覚をもって国際社会で主体的に生きるとともに、持続可能な社会の実現を目指すなど、公共的な事柄に自ら参加していく資質や能力を育成することを重視する方向で改善を図る。

○ 標準授業時数(社会)

第3学年－ 70単位時間

第4学年－ 90単位時間

第5学年－ 100単位時間

第6学年－ 105単位時間

様式 3

番号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
観点	46・帝国	第4学年 第5学年 第6学年	地図 432	楽しく学ぶ 小学生の地図帳 4・5・6年
取扱内容  各学年の目標、内容等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の人々の社会生活の様子をとらえたり、その特色や相互の関連などを考えたりすることについては、都道府県の形や文字、位置に着目したクイズや都道府県の紹介文の作成など、都道府県の位置と名称を学習する活動を通して、地図や具体的資料を活用して調べる活動。</li> <li>・我が国の国土や産業に関する社会的事象を具体的にとらえたり、その意味について考えたりすることについては、世界各地の主なまつりや日本と同じ緯度の国を探すなどの世界の国名と場所を覚える活動を通して、地図帳や地球儀、統計等の基礎的資料を活用して調べる活動。</li> <li>・我が国の歴史と政治及び国際社会に関する社会的事象を具体的にとらえたり、その意味をより広い視野から考えたりすることについては、今の都道府県の昔の名前を調べる活動や歴史上の主な出来事と場所を探す活動を通して、歴史に関する社会的事象について地図や資料を活用して調べる活動。</li> </ul> </li> <li>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、主な地図記号を地図中から探したり、地図上の駅から見た方位や縮尺、高さについて考えたりするなど、地図の表記のきまりについての基礎的な知識・技能を習得させる活動や、地震・火山の災害分布図や防災マップづくりを通して、災害時の身の守り方について実践的に考えたり、十勝平野でどのような作物が作られているか考えたりするなど、習得した知識・技能を活用するための具体的な活動が取り上げられている。</li> </ul>			
内容の構成・ 排列、 分量等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 内容の構成・排列については、巻頭の「地図のなりたちとやくそくごと」、「地図帳の使い方」の後に、日本列島を概観する「日本とそのまわり」、都道府県の地方図、都市部の拡大図、「世界の地図」を取り扱うとともに、「資料・統計」を排列し、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</li> <li>○ 内容の分量については、「地図帳の使い方」が6ページ、「日本の全図」が12ページ、「日本の地方図」が32ページ、「世界の地図」が17ページ、「資料・統計」が19ページであり、総ページ数は86ページで、前回と同様となっている。(前回と同様 A B判を使用)</li> </ul>			
使用上の 配慮等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 写真や絵地図、鳥瞰図、イラスト等の多様な表現を用いたり、流水が流れてくる海岸を確認したりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</li> <li>○ 「キャラクターのセリフ」によって地図の活用の着目点を示したり、「ノートコーナー」では理解を深める説明や解説、作業を指示したりするなど、主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</li> <li>○ 都道府県や世界の国々の名称と位置関係が分かる3ページ大の地図や地図帳の使い方を示したり、赤色文字の都道府県名や国名には、黒いふちどりを付したりするなど、使用上の便宜が図られている。</li> </ul>			
その他				

様式 3

番号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
観点	2・東書	第4学年 第5学年 第6学年	地図431	新編 新しい地図帳
取扱内容 各学年の目標、内容等 学習指導要領の総則及び各教科、	<p>○ 各学年の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の人々の社会生活の様子をとらえたり、その特色や相互の関連などを考えたりすることについては、都道府県の形や文字、位置に着目したクイズや自分が住んでいる都道府県の位置の確認など、都道府県の位置と名称を学習する活動を通して、地図や具体的資料を活用して調べる活動。</li> <li>・ 我が国の国土や産業に関する社会的事象を具体的にとらえたり、その意味について考えたりすることについては、地球儀を回転させながら世界の地図とともに世界の主な大陸と海洋の位置や日本の都市と外国の都市の距離を確かめる活動を通して、地図帳や地球儀、統計等の基礎的資料を活用して調べる活動。</li> <li>・ 我が国の歴史と政治及び国際社会に関する社会的事象を具体的にとらえたり、その意味をより広い視野から考えたりすることについては、我が国において世界文化遺産や世界自然遺産に登録された場所を探す活動を通して、歴史に関する社会的事象について地図や資料を活用して調べる活動。</li> </ul> <p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、地図上のある地点から見た方向を考えたり、距離について様々な縮尺で計ったりするなど、地図の表記のきまりについての基礎的な知識・技能を習得させる活動や、日本の地形や気候などとの関係から自然災害の起きる要因や防災対策について考えたり、北海道の農産物の生産量について考えたりするなど、習得した知識・技能を活用するための具体的な活動が取り上げられている。</p>			
内容の構成・排列・分量等	<p>○ 内容の構成・排列については、巻頭の「ながめてみよう日本のすがた」「日本の47都道府県」により日本列島を概観した後に「地図帳の使い方」、都道府県の地方図、都市部の拡大図、「世界の地図」を取り扱うとともに、「資料・統計」を排列し、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○ 内容の分量については、「地図帳の使い方」が4ページ、「日本の全図」が14ページ、「日本の地方図」が32ページ、「世界の地図」が15ページ、「資料・統計」が29ページであり、総ページ数は94ページで、前回より21パーセント増となっている。（A B判からA 4判に変更）</p>			
使用上の配慮等	<p>○ 写真や模式図、イラスト等の多様な表現を用いたり、アイヌの人たちのことばに由来した地名を調べたりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 「キャラクターのセリフ」によって地図の活用の着目点を示したり、「資料・統計」では関連して調べるページを示して作業を指示したりするなど、主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</p> <p>○ 都道府県や世界の国々の名称と位置関係が分かる3ページ大の地図や索引の活用の仕方を具体例を基に示したり、地図中の文字や記号を大きく示したりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>			
その他				

様式 1

教科用図書第 3 採択地区調査委員会

( 算 数 ) 小委員会委員長

米 田 昌 印

<p>調 査 研 究  ・  審 議 の 経 過</p>	<p>1 審議経過の概要</p> <p>(1) 審議の対象となった発行者名及び数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、啓林館、日本文教出版の 6 者</li> </ul> <p>(2) 調査研究の手順</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第 1 回調査委員会（6 月 26 日）で 6 者の教科書を配布し、調査の観点や手順を協議した。</li> <li>・第 2 回調査委員会（7 月 15 日、16 日）に、各自の調査研究を基に内容別に協議し、様式 1 について整理するとともに、全体を通して各社の特徴をまとめ様式 2、様式 3 を作成した。</li> </ul> <p>(3) 調査研究のための観点、項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取扱内容については、学習指導要領の総則及び教科、各学年の目標、内容等に基づいて取り上げているか、知識・技能の習得、活用、探究に対応できるように補充的な学習や発展的な学習に関する内容等がどのように取り扱われているかという視点で調査し整理した。</li> <li>・内容の構成・排列については、地域の実態や発達の段階に応じて、系統的・発展的に組織されているか、分量については、「取扱内容」への対応状況はどのようになっているかという視点で調査し整理した。</li> <li>・使用上の配慮等については、児童の学習意欲を高める工夫や主体的に学習に取り組めるような工夫、使用上の便宜が図られているかという視点で調査し整理した。</li> </ul>
<p>全 体 を 通 じ て の 特 徴</p>	<p>2 審議経過の概要</p> <p>(1) 東京書籍については、単元や毎時間の授業で「見通し・振り返り」が展開できる構成にし、伝え合う活動を効果的に設定しているという特色があり優れている。</p> <p>大日本図書については、学年内の単元間の振り返りが容易となる合本にするるとともに、作業的・体験的活動を効果的に設定しているという特色があり優れている。</p> <p>学校図書については、余裕のある指導計画により余剰時間を有効に活用できるとともに、算数的考え方を巻頭に掲載しているという特色があり優れている。</p> <p>教育出版については、理解度に応じた練習問題の掲載、算数的考え方や解決の補助となる絵図等の書き方を系統的に掲載するという特色があり優れている。</p> <p>啓林館については、豊富な練習問題を用意するとともに、算数的考え方や効果的な切り取り教材を巻末に掲載しているという特色があり優れている。</p> <p>日本文教出版については、A B 版とし問題解決的な学習の手順や着眼点を側注に掲載することで、児童の主体的な学習を支援するという特色があり優れている。</p> <p>(2) このほか、東京書籍、教育出版、啓林館については、北海道に関する教材や資料などを多く活用していること、東京書籍については、2 年生の「時こくと時間」や 5 年生の「比例」等の学習時期が、児童の発達段階や系統・発展を踏まえ考慮されている等の話題も出されていた。</p>

## 算数の目標等について

## 【教科の目標】

算数的活動を通して、数量や図形についての基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、日常の事象について見通しをもち筋道を立てて考え、表現する能力を育てるとともに、算数的活動の楽しさや数理的な処理のよさに気付き、進んで生活や学習に活用しようとする態度を育てる。

## 【学年・領域等の目標など】

## 〔第1学年〕

- (1) 具体物を用いた活動などを通して、数についての感覚を豊かにする。数の意味や表し方について理解できるようにするとともに、加法及び減法の意味について理解し、それらの計算の仕方を考え、用いることができるようにする。
- (2) 具体物を用いた活動などを通して、量とその測定についての理解の基礎となる経験を重ね、量の大きさについての感覚を豊かにする。
- (3) 具体物を用いた活動などを通して、図形についての理解の基礎となる経験を重ね、図形についての感覚を豊かにする。
- (4) 具体物を用いた活動などを通して、数量やその関係を言葉、数、式、図などに表したり読み取ったりすることができるようにする。

## 〔第2学年〕

- (1) 具体物を用いた活動などを通して、数についての感覚を豊かにする。数の意味や表し方についての理解を深めるとともに、加法及び減法についての理解を深め、用いることができるようにする。また、乗法の意味について理解し、その計算の仕方を考え、用いることができるようにする。
- (2) 具体物を用いた活動などを通して、長さや体積などの単位と測定について理解できるようにし、量の大きさについての感覚を豊かにする。
- (3) 具体物を用いた活動などを通して、三角形や四角形などの図形について理解できるようにし、図形についての感覚を豊かにする。
- (4) 具体物を用いた活動などを通して、数量やその関係を言葉、数、式、図、表、グラフなどに表したり読み取ったりすることができるようにする。

## 〔第3学年〕

- (1) 加法及び減法を適切に用いることができるようにするとともに、乗法についての理解を深め、適切に用いることができるようにする。また、除法の意味について理解し、その計算の仕方を考え、用いることができるようにする。さらに、小数及び分数の意味や表し方について理解できるようにする。
- (2) 長さ、重さ及び時間の単位と測定について理解できるようにする。
- (3) 図形を構成する要素に着目して、二等辺三角形や正三角形などの図形について理解できるようにする。
- (4) 数量やその関係を言葉、数、式、図、表、グラフなどに表したり読み取ったりすることができるようにする。

## 〔第4学年〕

- (1) 除法についての理解を深め、適切に用いることができるようにする。また、小数及び分数の意味や表し方についての理解を深め、小数及び分数についての加法及び減法の意味を理解し、それらの計算の仕方を考え、用いることができるようにする。さらに、概数について理解し、目的に応じて用いることができるようにする。
- (2) 面積の単位と測定について理解し、図形の面積を求めることができるようにするとともに、角の大きさの単位と測定について理解できるようにする。
- (3) 図形を構成要素及びそれらの位置関係に着目して考察し、平行四辺形やひし形などの平面図形及び直方体などの立体図形について理解できるようにする。
- (4) 数量やその関係を言葉、数、式、図、表、グラフなどに表したり調べたりすることができるようにする。

[第5学年]

- (1) 整数の性質についての理解を深める。また、小数の乗法及び除法や分数の加法及び減法の意味についての理解を深め、それらの計算の仕方を考え、用いることができるようにする。
- (2) 三角形や平行四辺形などの面積及び直方体などの体積を求めることができるようにする。また、測定値の平均及び異種の二つの量の割合について理解できるようにする。
- (3) 平面図形についての理解を深めるとともに、角柱などの立体図形について理解できるようにする。
- (4) 数量の関係を考察するとともに、百分率や円グラフなどを用いて資料の特徴を調べることができるようにする。

[第6学年]

- (1) 分数の乗法及び除法の意味についての理解を深め、それらの計算の仕方を考え、用いることができるようにする。
- (2) 円の面積及び角柱などの体積を求めることができるようにするとともに、速さについて理解し、求めることができるようにする。
- (3) 縮図や拡大図、対称な図形について理解し、図形についての理解を深める。
- (4) 比や比例について理解し、数量の関係の考察に関数の考えを用いることができるようにするとともに、文字を用いて式に表すことができるようにする。また、資料の散らばりを調べ統計的に考察することができるようにする。

【参考】

- 算数科、数学科については、その課題を踏まえ、小・中・高等学校を通じて、発達の段階に応じ、算数的活動・数学的活動を一層充実させ、基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付け、数学的な思考力・表現力を育て、学ぶ意欲を高めるようにする。
- 数量や図形に関する基礎的・基本的な知識・技能は、生活や学習の基盤となるものである。また、科学技術の進展などの中で、理数教育の国際的な通用性が一層問われている。このため、数量や図形に関する基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図る観点から、算数・数学の内容の系統性を重視しつつ、学年間や学校段階間で内容の一部を重複させて、発達や学年の段階に応じた反復（スパイラル）による教育課程を編成できるようにする。
- 数学的な思考力・表現力は、合理的、論理的に考えを進めるとともに、互いの知的なコミュニケーションを図るために重要な役割を果たすものである。このため、数学的な思考力・表現力を育成するための指導内容や活動を具体的に示すようにする。特に、根拠を明らかにし筋道を立てて体系的に考えることや、言葉や数、式、図、表、グラフなどの相互の関連を理解し、それらを適切に用いて問題を解決したり、自分の考えを分かりやすく説明したり、互いに自分の考えを表現し伝え合ったりすることなどの指導を充実する。
- 子どもたちが算数・数学を学ぶ意欲を高めたり、学ぶことの意義や有用性を実感したりできるようにすることが重要である。そのために、数量や図形の意味を理解する上で基盤となる素地的な学習活動を取り入れて、数量や図形の意味を実感的に理解できるようにすること・発達や学年の段階に応じた反復（スパイラル）による教育課程により、理解の広がりや深まりなど学習の進歩が感じられるようにすること・学習し身に付けたものを、日常生活や他教科等の学習、より進んだ算数・数学の学習へ活用していくことを重視する。
- 算数的活動・数学的活動は、基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付けるとともに、数学的な思考力・表現力を高めたり、算数・数学を学ぶことの楽しさや意義を実感したりするために、重要な役割を果たすものである。算数的活動・数学的活動を生かした指導を一層充実し、また、言語活動や体験活動を重視した指導がおこなわれるようにするために、小・中学校では各学年の内容において、算数的活動・数学的活動を具体的に示すようにするとともに、高等学校では、必修科目や多くの生徒の選択が見込まれる科目に「課題学習」を位置付ける。

○ 標準授業時数

第1学年－136単位時間  
第3学年－175単位時間  
第5学年－175単位時間

第2学年－175単位時間  
第4学年－175単位時間  
第6学年－175単位時間

様式 3

番号   観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	2・東書	第1学年 第2学年 第3学年 第4学年 第5学年 第6学年	算数 131 算数 132 算数 231、算数 232 算数 331、算数 332 算数 431、算数 432 算数 531、算数 532 算数 631	新編 あたらしいさんすう 1上さんすう だいすき! 新編 あたらしいさんすう 1下 新編 新しい算数 2上、新編 新しい算数 2下 新編 新しい算数 3上、新編 新しい算数 3下 新編 新しい算数 4上、新編 新しい算数 4下 新編 新しい算数 5上、新編 新しい算数 5下 新編 新しい算数 6 数学ヘジャンプ!
取扱内容  各学年の目標、内容等	<p>○ 数と計算については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 棚にしまうじょうろの合計の数を求めたり、水槽に残った金魚の数を求めたりする活動を通して、整数の加法・減法の意味や計算の仕方を理解する。</p> <p>第2学年～ 乗り物に乗っている人数を求めたり、式に合わせておはじきを並べたりする活動を通して、整数の乗法の意味や計算の仕方を理解する。</p> <p>第3学年～ ゼリーを同じ数ずつ分けたり、全体の数を変えて除法の余りを考えたりする活動を通して、整数の除法の意味や計算の仕方を理解する。</p> <p>第4学年～ 水筒と水差しに入っている水の量を比べたり、木の周りの長さを表したりする活動を通して、小数や分数の加法・減法の意味や計算の仕方を理解する。</p> <p>第5学年～ 買ったリボンの代金を求めたり、リボンの1mの値段を求めたりする活動を通して、小数の乗法・除法の意味や計算の仕方を理解する。</p> <p>第6学年～ ペンキで塗る板の面積を求めたり、ホースの1m当たりの重さを求めたりする活動を通して、分数の乗法・除法の意味や計算の仕方を理解する。</p> <p>○ 量と測定については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 鉛筆やリボンの長さを比べたり、敷物の広さの比べ方を考えたりする活動を通して、長さや面積、体積の比べ方を理解する。</p> <p>第2学年～ おもちゃの魚の長さの測り方を考えたり、はがきの縦と横の長さを比べたりする活動を通して、長さの単位と測定の意味を理解する。</p> <p>第3学年～ はさみ、乾電池、コンパスを重い順番に並べたり、筆箱や鉛筆削りの重さを測ったりする活動を通して、重さの単位と測定の意味を理解する。</p> <p>第4学年～ 方眼上の図形の広さを比べたり、周りの長さが等しく形の異なる四角形の面積を比べたりする活動を通して、面積の単位と測定の意味を理解する。</p> <p>第5学年～ 図形を移動して面積を求めたり、図形の高さを考えたりする活動を通して、三角形や平行四辺形などの面積の求め方を理解する。</p> <p>第6学年～ 直方体と四角柱の体積の求め方を比べたり、円柱を変形して体積を求めたりする活動を通して、角柱や円柱の体積の求め方を理解する。</p> <p>○ 図形については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 似た形のものを集めたり、4枚の三角形の色板を使って長方形を作ったりする活動を通して、ものの形を認めたり、形の特徴をとらえたりする。</p> <p>第2学年～ パズルを切り取っているいろいろな形を作ったり、教科書やノートの形を調べたりする活動を通して、正方形や長方形、直角三角形について理解する。</p> <p>第3学年～ 円周上の点や中心を使って三角形をかいたり、辺の長さについて注目で仲間分けしたりする活動を通して、二等辺三角形や正三角形について理解する。</p> <p>第4学年～ 四角形を平行な辺の組数で仲間分けしたり、身の回りの垂直や平行を探したりする活動を通して、平行四辺形やひし形、台形の性質について理解する。</p> <p>第5学年～ 紙で作ったいろいろな三角形や四角形を重ねて調べたり、形も大きさも同じ図形を見付けたりする活動を通して、図形の合同について理解する。</p> <p>第6学年～ 大きさを変えた台形を比べたり、見えている部分から全体の形を予想したりする活動を通して、縮図や拡大図、対称な図形について理解する。</p> <p>○ 数量関係については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 縦に並んでいる人を○で表したり、一輪車と人を線で結んだりする活動を通して、絵や図を用いたものの個数の表し方を理解する。</p> <p>第2学年～ 生活科で育てたい野菜をグラフや表に表したり、グラフや表から数を求めたりする活動を通して、簡単な表やグラフの読み方やかき方について理解する。</p> <p>第3学年～ けがの種類と人数やけがをした場所と人数を表にしたり、棒グラフを読み取ったりする活動を通して、棒グラフの読み方やかき方を理解する。</p> <p>第4学年～ 2都市の気温の変化を表した棒グラフと折れ線グラフを比べたり、読み取ったりする活動を通して、折れ線グラフの読み方やかき方を理解する。</p> <p>第5学年～ 都道府県別の果物の収穫量を比べたり、アンケート結果をグラフで表したりする活動を通して、円グラフや帯グラフの読み方やかき方を理解する。</p> <p>第6学年～ 卵の重さを比べたり、重いさつまいもがよく採れた班を調べたりする活動を通して、資料の平均や柱状グラフについて理解する。</p>			

	<p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～ 「おぼえているかな」のページにおいて、信号待ちで並んでいる車について、順序を表す数を扱うなどの補充的な学習</p> <p>第2学年～ 「おぼえているかな」のページにおいて、たくさんあるあめについて、十を単位とした数の見方を扱うなどの補充的な学習</p> <p>第3学年～ 「どんな数か読めるかな？」のページにおいて、学校にある靴箱の数について、4位数までの数の表し方を扱うなどの補充的な学習</p> <p>第4学年～ 「おもしろ問題にチャレンジ」のページにおいて、除法の筆算について、4位数の計算を扱うなどの発展的な学習</p> <p>第5学年～ 「算数のおはなし」のページにおいて、円錐、三角錐、八角錐について、先のとがった立体の名称を扱うなどの発展的な学習</p> <p>第6学年～ 「おもしろ問題にチャレンジ」のページにおいて、除法の商について、分数での表し方を扱うなどの発展的な学習</p>
<p>内容の構成・排列、分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～ 順序を表す数の学習の後に、1位数と1位数の加法の学習を取り扱い、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第2学年～ 2位数の加法や減法の筆算の学習の後に、乗法九九の意味や計算の仕方を理解する学習を取り扱い、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第3学年～ 2位数や3位数に1位数をかける乗法の学習の後に、2位数を1位数でわる除法の学習を取り扱い、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第4学年～ 小数第三位までの小数の加法や減法の学習の後に、同分母分数の加法や減法の学習を取り扱い、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第5学年～ 小数第二位までの小数の乗法の学習の後に、小数第二位までの小数の除法の学習を取り扱い、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第6学年～ 比と比の値の学習の後に、比例と反比例の学習を取り扱い、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第1学年～ 数と計算は95ページ、量と測定は15ページ、図形は10ページ、数量関係は22ページであり、総ページ数は163ページで、前回より約4パーセント増となっている。</p> <p>第2学年～ 数と計算は109ページ、量と測定は33ページ、図形は18ページ、数量関係は23ページであり、総ページ数は234ページで、前回より約15パーセント増となっている。</p> <p>第3学年～ 数と計算は102ページ、量と測定は26ページ、図形は23ページ、数量関係は49ページであり、総ページ数は272ページで、前回より約12パーセント増となっている。</p> <p>第4学年～ 数と計算は111ページ、量と測定は36ページ、図形は37ページ、数量関係は29ページであり、総ページ数は290ページで、前回より約9パーセント増となっている。</p> <p>第5学年～ 数と計算は80ページ、量と測定は52ページ、図形は45ページ、数量関係は27ページであり、総ページ数は286ページで、前回より約11パーセント増となっている。</p> <p>第6学年～ 数と計算は26ページ、量と測定は42ページ、図形は26ページ、数量関係は67ページであり、総ページ数は259ページで、前回より約15パーセント増となっている。</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 「考えよう伝えよう」のページで式や図を使って児童の考えを示したり（第2～6学年）、「算数卒業旅行」のページで興味・関心に応じて5つの復習コースを選択できるようにしたり（第6学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 巻末に「補充問題」と「解答」のページを掲載し、一人で練習や答え合わせができるようにしたり（第2～6学年）、「算数マイノートをつくろう」のページでノートづくりの例を示したり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</p> <p>○ 巻頭に教科書の使い方を示す「新しい算数を使って学習しよう」のページを示すとともに（第2～6学年）、巻末に学習を深める「おもしろ問題にチャレンジ」のページを掲載したり（第3～6学年）、単語の途中での改行を避けた文節改行を採用したりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>その他</p>	



番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
観 点	4・大日本	第1学年	算数 133	新版たのしいさんすう 1
		第2学年	算数 233	新版たのしい算数 2
		第3学年	算数 333	新版たのしい算数 3
		第4学年	算数 433	新版たのしい算数 4
		第5学年	算数 533	新版たのしい算数 5
		第6学年	算数 633	新版たのしい算数 6
取 扱 内 容  各 学 年 の 目 標 、 内 容 等	<p>○ 数と計算については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 水槽に入れる金魚の数を数えたり、絵を見てひき算のお話を作ったりする活動を通して、整数の加法・減法の意味や計算の仕方を理解する。</p> <p>第2学年～ 乗り物に乗っている人数を求めたり、求める式を立てたりする活動を通して、整数の乗法の意味や計算の仕方を理解する。</p> <p>第3学年～ いちごを同じ数ずつ分けたり、クッキーを何人に分けられるかを考えたりする活動を通して、整数の除法の意味や計算の仕方を理解する。</p> <p>第4学年～ なしと箱の重さの合計を求めたり、合わせたお茶の量を求めたりする活動を通して、小数や分数の加法・減法の意味や計算の仕方を理解する。</p> <p>第5学年～ リボンの代金を求めたり、直方体の木の棒の重さを求めたりする活動を通して、小数の乗法・除法の意味や計算の仕方を理解する。</p> <p>第6学年～ ペンキで塗る板の面積を求めたり、車のガソリン1Lで走る距離を求めたりする活動を通して、分数の乗法・除法の意味や計算の仕方を理解する。</p> <p>○ 量と測定については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 2本の鉛筆の長さを比べたり、ペットボトルの水の量を比べたりする活動を通して、長さや面積、体積の比べ方を理解する。</p> <p>第2学年～ 同じ長さのしおりを作ったり、はがきの横の長さを測ったりする活動を通して、長さの単位と測定の意味を理解する。</p> <p>第3学年～ のりとはさみの重さを比べたり、果物の重さを測ったりする活動を通して、重さの単位と測定の意味を理解する。</p> <p>第4学年～ 周りの長さが等しい花壇の広さを比べたり、教室の面積の求め方を考えたりする活動を通して、面積の単位と測定の意味を理解する。</p> <p>第5学年～ 図形を移動して面積を求めたり、長方形と平行四辺形の面積を比べたりする活動を通して、三角形や平行四辺形などの面積の求め方を理解する。</p> <p>第6学年～ 直方体と角柱の体積の求め方を比べたり、底面に着目して体積を求めたりする活動を通して、角柱や円柱の体積の求め方を理解する。</p> <p>○ 図形については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 似ている形のものを集めたり、4色の板を使っていろいろな形を作ったりする活動を通して、ものの形を認めたり、形の特徴をとらえたりする。</p> <p>第2学年～ 四角い紙の辺の長さを比べたり、いろいろな直角三角形をかいたりする活動を通して、正方形や長方形、直角三角形について理解する。</p> <p>第3学年～ いくつかの三角形を仲間分けしたり、コンパスを使ってかいたりする活動を通して、二等辺三角形や正三角形について理解する。</p> <p>第4学年～ いくつかの四角形を仲間分けしたり、平行四辺形をかいたりする活動を通して、平行四辺形やひし形、台形の性質について理解する。</p> <p>第5学年～ ぴったりと重なる四角形を選んだり、合同な三角形のかき方を説明したりする活動を通して、図形の合同について理解する。</p> <p>第6学年～ 同じ形に見える図形を見付けたり、複数の図形を仲間分けしたりする活動を通して、縮図や拡大図、対称な図形について理解する。</p> <p>○ 数量関係については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 遊んでいる動物の絵を種類ごとに縦に並べたり、○で表したりする活動を通して、絵や図を用いたものの個数の表し方を理解する。</p> <p>第2学年～ 遊び場で遊んでいる人数を簡単な表で表したり、グラフに表したりする活動を通して、簡単な表やグラフの読み方やかき方について理解する。</p> <p>第3学年～ 遊びたい遊びの種類のアンケート結果を表で表したり、グラフに表したりする活動を通して、棒グラフの読み方やかき方について理解する。</p> <p>第4学年～ 一日の気温の変化を調べたり、1年間の気温の変化を折れ線グラフに表したりする活動を通して、折れ線グラフの読み方やかき方を理解する。</p> <p>第5学年～ リンゴのとれ高をグラフから読み取ったり、人口をグラフに表したりする活動を通して、円グラフや帯グラフの読み方やかき方を理解する。</p> <p>第6学年～ ソフトボール投げの記録を表にまとめたり、柱状グラフに表したりする活動を通して、資料の平均や柱状グラフについて理解する。</p>			

	<p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～ 「ふくしゅう1」のページにおいて、アサガオの花の数について、1位数同士の加法や減法を扱うなどの補足的な学習</p> <p>第2学年～ 「ふくしゅう2」のページにおいて、お菓子や輪飾りの数について、2位数と1位数の減法を扱うなどの補足的な学習</p> <p>第3学年～ 「何本になるのかな」のページにおいて、遊園地に咲いている花の数について、簡単な3位数の加法や減法を扱うなどの補足的な学習</p> <p>第4学年～ 「もっと算数たまたまばこ」のページにおいて、直角三角形について、面積の求め方を扱うなどの発展的な学習</p> <p>第5学年～ 「もっと算数たまたまばこ」のページにおいて、整数の仲間分けについて、数の特徴や数と数の関係を扱うなどの発展的な学習</p> <p>第6学年～ 「算数たまたまばこ」のページにおいて、身の回りにある比について、3つの比を活用することを扱うなどの発展的な学習</p>
<p>内容の構成・排列・分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～ 個数を数え方や順序を表す数の見方の学習の後に、1位数の加法や減法の学習を取り扱い、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第2学年～ 2位数の加法や減法の学習の後に、乗法九九の意味や計算の仕方を理解する学習を取り扱い、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第3学年～ 3位数の加法や減法、2位数の乗法の学習の後に、1位数の除法の学習を取り扱い、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第4学年～ 3位数の乗法や2位数の除法の学習の後に、小数の乗法や除法の学習を取り扱い、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第5学年～ 小数の乗法や除法の学習の後に、異分母の分数の加法や減法の学習を取り扱い、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第6学年～ 分数の乗法の学習の後に、分数の除法の意味や計算の仕方を理解する学習を取り扱い、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第1学年～ 数と計算は92ページ、量と測定は12ページ、図形は10ページ、数量関係は10ページであり、総ページ数は151ページで、前回より約4パーセント増となっている。</p> <p>第2学年～ 数と計算は96ページ、量と測定は32ページ、図形は19ページ、数量関係は14ページであり、総ページ数は221ページで、前回より約2パーセント増となっている。</p> <p>第3学年～ 数と計算は103ページ、量と測定は26ページ、図形は24ページ、数量関係は28ページであり、総ページ数は229ページで、前回とほぼ同様となっている。</p> <p>第4学年～ 数と計算は99ページ、量と測定は27ページ、図形は40ページ、数量関係は29ページであり、総ページ数は253ページで、前回より約5パーセント減となっている。</p> <p>第5学年～ 数と計算は76ページ、量と測定は46ページ、図形は40ページ、数量関係は29ページであり、総ページ数は247ページで、前回とほぼ同様となっている。</p> <p>第6学年～ 数と計算は26ページ、量と測定は34ページ、図形は29ページ、数量関係は53ページであり、総ページ数は239ページで、前回より約2パーセント減となっている。</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 「算数たまたまばこ」のページで興味・関心を高める教材や話題を取り上げたり（全学年）、「わくわく算数ミュージアム」のページで数学史を取り上げたり（第6学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 「算数の学び方」のページでノート書き方の例を示したり（第2～6学年）、単元末に、次の単元につながる内容を示した「復習」のページを位置付けたり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</p> <p>○ 単元末に学習内容を振り返る「まとめの練習」を位置付けるとともに（全学年）、巻末に「教科書にでてきた大切なことがら」のページで算数科の用語や重要事項を示したり（全学年）、単語の途中での改行を避けた文節改行を採用したりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>その他</p>	

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
<p>取 扱 内 容</p> <p>各 学 年 の 目 標 、 内 容 等</p>	11・学図	第1学年 第2学年 第3学年 第4学年 第5学年 第6学年	算数 134 算数 234、算数 235 算数 334、算数 335 算数 434、算数 435 算数 534 算数 634、 算数 635	みんなとまなぶ しょうがっこうさんすう 1ねん みんなと学ぶ 小学校 算数 2年上、みんなと学ぶ 小学校 算数 2年下 みんなと学ぶ 小学校 算数 3年上、みんなと学ぶ 小学校 算数 3年下 みんなと学ぶ 小学校 算数 4年上、みんなと学ぶ 小学校 算数 4年下 みんなと学ぶ 小学校 算数 5年 みんなと学ぶ 小学校 算数 6年 みんなと学ぶ 小学校 算数 6年 中学校へのかけ橋
		<p>○ 数と計算については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 花瓶に入れる花の数を数えたり、かごに残ったリンゴの数を考えたりする活動を通して、整数の加法・減法の意味や計算の仕方を理解する。</p> <p>第2学年～ 乗り物に乗っている人数を求めたり、一円玉を積み重ねて九九の表を作ったりする活動を通して、整数の乗法の意味や計算の仕方を理解する。</p> <p>第3学年～ 一人分のあめの個数を求めたり、お菓子を同じ数ずつ分けたりする活動を通して、整数の除法の意味や計算の仕方を理解する。</p> <p>第4学年～ 水槽に入れた水の量を求めたり、飲み物の量を面積図で比べたりする活動を通して、小数や分数の加法・減法の意味や計算の仕方を理解する。</p> <p>第5学年～ リボンの代金を求めたり、ジュースの値段と量を線分図に表したりする活動を通して、小数の乗法・除法の意味や計算の仕方について理解する。</p> <p>第6学年～ 壁に塗るペンキの量を求めたり、牛乳を等しい量で分けた回数を求めたりする活動を通して、分数の乗法・除法の意味や計算の仕方を理解する。</p> <p>○ 量と測定については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 2本の鉛筆の長さを比べたり、ハンカチの大きさやジュースの量を比べたりする活動を通して、長さや面積、体積の比べ方を理解する。</p> <p>第2学年～ 工作用紙で長さを測る道具を作ったり、ものさしで線を引いたりする活動を通して、長さの単位と測定の意味を理解する。</p> <p>第3学年～ 文房具を重い順番に並べたり、同じかさの食塩、重曹、米の重さを比べたりする活動を通して、重さの単位と測定の意味を理解する。</p> <p>第4学年～ 周りの長さが等しい花壇の広さを比べたり、正方形を敷き詰めて面積を求めたりする活動を通して、面積の単位と測定の意味を理解する。</p> <p>第5学年～ 図形を分割して既習の図形に表したり、考え方の相違点を見付けたりする活動を通して、三角形や平行四辺形などの面積の求め方を理解する。</p> <p>第6学年～ 高さ1cmの四角柱の体積と底面積を比べたり、紙の円を積み重ねた体積を調べたりする活動を通して、角柱や円柱の体積の求め方を理解する。</p> <p>○ 図形については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ いろいろな形の物をころがしたり、ロボットや車を作ったりする活動を通して、ものの形を認めたり、形の特徴をとらえたりする。</p> <p>第2学年～ 動物を直線で囲んだり、折り紙を折って辺の長さを比べたりする活動を通して、正方形や長方形、直角三角形について理解する。</p> <p>第3学年～ いろいろな長さのストローで三角形を作ったり、三角形を仲間分けしたりする活動を通して、二等辺三角形や正三角形について理解する。</p> <p>第4学年～ 地図記号から平行な直線を見付けたり、身の回りから台形を探したりする活動を通して、平行四辺形やひし形、台形の性質について理解する。</p> <p>第5学年～ ぴったりと重なる三角形や四角形を見付けたり、対応する辺や角を調べたりする活動を通して、図形の合同について理解する。</p> <p>第6学年～ 拡大図の辺の長さを測ったり、バランスのとれた形を見付けたりする活動を通して、縮図や拡大図、対称な図形について理解する。</p> <p>○ 数量関係については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 咲いた花の数を数えたり、「5 + 3」になる問題を作ったりする活動を通して、絵や図を用いたものの個数の表し方を理解する。</p> <p>第2学年～ 育てたい野菜の数を表に表したり、3月の天気をグラフに表したりする活動を通して、簡単な表やグラフの読み方やかき方について理解する。</p> <p>第3学年～ 通った車の種類を表にまとめたり、保健室に来た人数と曜日グラフに表したりする活動を通して、棒グラフの読み方やかき方を理解する。</p> <p>第4学年～ 月別気温を表にまとめたり、一日の気温の変化を折れ線グラフに表したりする活動を通して、折れ線グラフの読み方やかき方を理解する。</p> <p>第5学年～ 米の収穫量をグラフに表したり、交通事故の原因別人数を調べたりする活動を通して、円グラフや帯グラフの読み方やかき方を理解する。</p> <p>第6学年～ ソフトボール投げの記録の散らばりの様子を比べたり、表やグラフにまとめたりする活動を通して、資料の平均や柱状グラフについて理解する。</p>		

	<p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～ 「おさらい」のページにおいて、身の回りにある箱や道具について、同じ特徴をもつ立体を扱うなどの補充的な学習</p> <p>第2学年～ 「れんしゅう」のページにおいて、2桁のひき算の筆算について、位ごとに手順を扱うなどの補充的な学習</p> <p>第3学年～ 「ふくしゅう1」のページにおいて、グラウンドを走った周回数について、棒グラフの表し方を扱うなどの補充的な学習</p> <p>第4学年～ 「いろいろな国のわり算」のページにおいて、除法の筆算について、外国の除法の仕方を扱うなどの発展的な学習</p> <p>第5学年～ 「5ねんのまとめ」のページにおいて、生活排水について、割合を活用した数量の関係などの求め方を扱うなどの発展的な学習</p> <p>第6学年～ 「いろいろな形の体積比べ」のページにおいて、底面積と高さが等しい角柱と錐体について、体積の比較を扱うなどの発展的な学習</p>
<p>内容の構成・排列・分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～ 10までの数の学習の後に、「いくつといくつ」で数の合成や分解する学習を取り扱い、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第2学年～ 100より大きい数の学習の後に、十進位取り記数法を理解する学習を取り扱い、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第3学年～ 加法や減法、乗法、除法の学習の後に、長さや重さを求めるなどの学習を取り扱い、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第4学年～ 1位数でわる除法の学習の後に、2位数でわる除法の学習を取り扱い、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第5学年～ 小数の乗法や除法の学習の後に、分数の加法や減法、乗法や除法の学習を取り扱い、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第6学年～ 分数の乗法の学習の後に、倍と割合の学習を取り扱い、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第1学年～ 数と計算は96ページ、量と測定は15ページ、図形は9ページ、数量関係は15ページであり、総ページ数は152ページで、前回より約4パーセント減となっている。</p> <p>第2学年～ 数と計算は120ページ、量と測定は39ページ、図形は23ページ、数量関係は12ページであり、総ページ数は237ページで、前回より約3パーセント減となっている。</p> <p>第3学年～ 数と計算は122ページ、量と測定は38ページ、図形は36ページ、数量関係は27ページであり、総ページ数は268ページで、前回より約6パーセント増となっている。</p> <p>第4学年～ 数と計算は125ページ、量と測定は30ページ、図形は41ページ、数量関係は33ページであり、総ページ数は274ページで、前回より約2パーセント増となっている。</p> <p>第5学年～ 数と計算は105ページ、量と測定は65ページ、図形は52ページ、数量関係は29ページであり、総ページ数は290ページで、前回より約5パーセント増となっている。</p> <p>第6学年～ 数と計算は50ページ、量と測定は56ページ、図形は43ページ、数量関係は82ページであり、総ページ数は262ページで、前回より約3パーセント減となっている。</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 「算数探検隊」のページで、身近な事象や教材を写真で紹介したり（第2～6学年）、「算数でよく使う考え方」のページで、帰納・演繹などの考え方の具体例を示したり（第2～6学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 巻頭に、教科書を効果的に使うための説明ページを設けたり（第2～6学年）、「ノート名人になろう」のページで、ノートのまとめ方を示したり（第2～6学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</p> <p>○ 「力だめし」のページで、問題の趣旨を確認して振り返る自己評価欄を設けるとともに（第2～6学年）、巻末の「力をつける問題」のページに、学習内容を補完する複数の種類の問題を掲載したり（全学年）、「サポート」のページで徐々に理解を深めるスモールステップ問題を設けたりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>その他</p>	

番号  観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	17・教出	第1学年 第2学年 第3学年 第4学年 第5学年 第6学年	算数136 算数236、算数237 算数336、算数337 算数436、算数437 算数536、 算数636	しょうがくさんすう 1 小学算数 2上、小学算数 2下 小学算数 3上、小学算数 3下 小学算数 4上、小学算数 4下 小学算数 5 小学算数 6
<p>取扱内容</p> <p>各学年の目標、内容等</p>	<p>○ 数と計算については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 食べ物の個数を加える場面を考えたり、動物の数が減る場面を考えたりする活動を通して、整数の加法・減法の意味や計算の仕方を理解する。</p> <p>第2学年～ 乗り物に乗っている人数を求めたり、おはじきを使ってかけ算を表したりする活動を通して、整数の乗法の意味や計算の仕方を理解する。</p> <p>第3学年～ クッキーを同じ数ずつ分けたり、一人分のイチゴの個数を考えたりする活動を通して、整数の除法の意味や計算の仕方を理解する。</p> <p>第4学年～ 容器の中の水の量を考えたり、食べ物の残りの量を求めたりする活動を通して、小数や分数の加法・減法の意味や計算の仕方を理解する。</p> <p>第5学年～ リボンの代金を求めたり、棒の1mの重さを求めたりする活動を通して、小数の乗法・除法の意味や計算の仕方を理解する。</p> <p>第6学年～ 板に塗るペンキの量を求めたり、棒の1m当たりの重さを求めたりする活動を通して、分数の乗法・除法の意味や計算の仕方を理解する。</p> <p>○ 量と測定については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 2本の色鉛筆の長さを比べたり、段ボール箱の大きさを比べたりする活動を通して、長さや面積、体積の比べ方を理解する。</p> <p>第2学年～ しおりの長さを比べたり、めもりテープではがきの縦と横の長さを調べたりする活動を通して、長さの単位と測定の意味を理解する。</p> <p>第3学年～ 文房具の重さを比べたり、はかりを使って筆箱やランドセルの重さを測ったりする活動を通して、重さの単位と測定の意味を理解する。</p> <p>第4学年～ 2つの花壇の広さを比較したり、方眼紙を使って面積を求めたりする活動を通して、面積の単位と測定の意味を理解する。</p> <p>第5学年～ 図形を移動して既習の図形にしたり、2つの図形を合わせて面積を考えたりする活動を通して、三角形や平行四辺形などの面積の求め方を理解する。</p> <p>第6学年～ 厚みのあるいくつかのメモ帳を比較したり、四角柱の体積の求め方を考えたりする活動を通して、角柱や円柱の体積の求め方を理解する。</p> <p>○ 図形については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 箱や缶を組み合わせたたり、折り紙を切って三角形を作ったりする活動を通して、ものの形を認めたり、形の特徴をとらえたりする。</p> <p>第2学年～ 動物を直線で囲んだり、紙を切って三角形や四角形を作ったりする活動を通して、正方形や長方形、直角三角形について理解する。</p> <p>第3学年～ ストローで作った三角形を分類したり、コンパスを使って三角形をかいたりする活動を通して、二等辺三角形や正三角形について理解する。</p> <p>第4学年～ 平行四辺形の特徴を調べたり、コンパスを使ってひし形をかいたりする活動を通して、平行四辺形やひし形、台形の性質について理解する。</p> <p>第5学年～ 合同な四角形を探したり、合同な三角形をかいたりする活動を通して、図形の合同について理解する。</p> <p>第6学年～ 学級の旗の大きさを考えたり、合同な色板2枚で図形を作ったりする活動を通して、縮図や拡大図、対称な図形について理解する。</p> <p>○ 数量関係については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 縦に並んでいる人を○で表したり、木の実の個数を○で表したりする活動を通して、絵や図を用いたものの個数の表し方を理解する。</p> <p>第2学年～ 遊具で遊んでいる子どもの人数を表に表したり、グラフに表したりする活動を通して、簡単な表やグラフの読み方やかき方について理解する。</p> <p>第3学年～ 通った車の種類をグラフに表したり、けがの種類と人数を表にまとめたりする活動を通して、棒グラフの読み方やかき方について理解する。</p> <p>第4学年～ 1日の気温の変化をグラフに表したり、2都市の1年間の気温の変化を比べたりする活動を通して、折れ線グラフの読み方やかき方を理解する。</p> <p>第5学年～ リンゴの出荷量をグラフに表したり、学校の数の割合を調べたりする活動を通して、円グラフや帯グラフの読み方やかき方を理解する。</p> <p>第6学年～ ソフトボール投げの記録を比べたり、握力測定の記録を柱状グラフに表したりする活動を通して、資料の平均や柱状グラフについて理解する。</p>			

	<p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～ 「たしかめもんだい①」のページにおいて、リンゴや車、紙飛行機や折り鶴について、個数の数え方を扱うなどの補充的な学習</p> <p>第2学年～ 「学習をふりかえろう2」のページにおいて、花壇のチューリップの数について、簡単な表やグラフを扱うなどの補充的な学習</p> <p>第3学年～ 「学習をふり返ろう①」のページにおいて、たし算の筆算について、間違いを説明し正しく計算することを扱うなどの補充的な学習</p> <p>第4学年～ 「算数メモ」のページにおいて、時計の長針について、針が2回転したときの角度を扱うなどの発展的な学習</p> <p>第5学年～ 「算数ワールド」のページにおいて、正方形、長方形、ひし形、平行四辺形、台形について、関係を表すベン図を扱うなどの発展的な学習</p> <p>第6学年～ 「反比例のグラフ」のページにおいて、反比例について、なめらかな曲線になるなどのグラフの特徴を扱うなどの発展的な学習</p>
<p>内容の構成・排列、分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～ 数の合成や分解の学習の後に、「ぜんぶでいくつ」で加法につながる学習を取り扱い、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第2学年～ 2位数の加法や減法の学習の後に、乗法九九の意味や計算の仕方を理解する学習を取り扱い、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第3学年～ 1位数の除法の学習の後に、2位数の乗法の意味や計算の仕方を理解する学習を取り扱い、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第4学年～ 2位数の除法の学習の後に、小数の加法や減法の意味や計算の仕方を理解する学習を取り扱い、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第5学年～ 小数の乗法や除法の学習の後に、分数の加法や減法の意味や計算の仕方を理解する学習を取り扱い、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第6学年～ 分数の乗法や除法の学習の後に、小数や分数の計算の定着を図る学習を取り扱い、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第1学年～ 数と計算は102ページ、量と測定は13ページ、図形は11ページ、数量関係は7ページであり、総ページ数は168ページで、前回より約11パーセント増となっている。</p> <p>第2学年～ 数と計算は112ページ、量と測定は33ページ、図形は22ページ、数量関係は17ページであり、総ページ数は241ページで、前回より約18パーセント増となっている。</p> <p>第3学年～ 数と計算は121ページ、量と測定は26ページ、図形は28ページ、数量関係は27ページであり、総ページ数は257ページで、前回より約24パーセント増となっている。</p> <p>第4学年～ 数と計算は116ページ、量と測定は26ページ、図形は40ページ、数量関係は43ページであり、総ページ数は287ページで、前回より約3パーセント減となっている。</p> <p>第5学年～ 数と計算は76ページ、量と測定は53ページ、図形は46ページ、数量関係は31ページであり、総ページ数は274ページで、前回より約1パーセント増となっている。</p> <p>第6学年～ 数と計算は30ページ、量と測定は41ページ、図形は29ページ、数量関係は59ページであり、総ページ数は239ページで、前回より約1パーセント減となっている。</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ キャラクターにより既習事項を生かした考えや発展的な見方を示したり（全学年）、「広がる算数」のページで、発展的・統合的な見方を育てるコラムを掲載したり（第5、6学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 「ステップアップ算数」のページで、2種類のレベルの問題を設定したり（第2～6学年）、「学びのマップ」のページで、前学年までのまとめを示したり（第5、6学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</p> <p>○ 表紙の裏に当該学年の学習内容に関連のある建造物や風景などを掲載するとともに（第2～6学年）、目次に既習の学習内容との関連を示したり（第2～6学年）、単語の途中での改行を避けた文節改行を採用したりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>その他</p>	

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	61・啓林館	第1学年 第2学年 第3学年 第4学年 第5学年 第6学年	算数 138 算数 238、算数 239 算数 338、算数 339 算数 438、算数 439 算数 538 算数 638	わくわくさんすう1 わくわく算数2上、わくわく算数2下 わくわく算数3上、わくわく算数3下 わくわく算数4上、わくわく算数4下 わくわく算数5 わくわく算数6
<p>取扱内容</p> <p>各学年の目標、内容等</p>	<p>○ 数と計算については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 絵を見てたし算になる話を作ったり、色の違う花の本数の差を考えたりする活動を通して、整数の加法・減法の意味や計算の仕方を理解する。</p> <p>第2学年～ 座っている子ども的人数を求めたり、かけ算になる問題カードを作成したりする活動を通して、整数の乗法の意味や計算の仕方を理解する。</p> <p>第3学年～ あめを等分する方法を考えたり、わり算になる問題カードを作成したりする活動を通して、整数の除法の意味や計算の仕方を理解する。</p> <p>第4学年～ サイクリングの道のりを求めたり、テープの長さを求めたりする活動を通して、小数や分数の加法・減法の意味や計算の仕方を理解する。</p> <p>第5学年～ 鉄の棒の重さを求めたり、ひもの1mの重さを求める方法を考えたりする活動を通して、小数の乗法・除法の意味や計算の仕方を理解する。</p> <p>第6学年～ ペンキで塗る壁の面積を求めたり、等分してできたひもの本数を求めたりする活動を通して、分数の乗法・除法の意味や計算の仕方を理解する。</p> <p>○ 量と測定については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 2本の色鉛筆の長さを比べたり、場所とりゲームをしたりする活動を通して、長さや面積、体積の比べ方を理解する。</p> <p>第2学年～ クリップを使ってものの長さを測ったり、はがきの横の長さを測ったりする活動を通して、長さの単位と測定の意味を理解する。</p> <p>第3学年～ 定規と鉛筆の重さを比べたり、はかりを使いランドセルや植木鉢の重さを測ったりする活動を通して、重さの単位と測定の意味を理解する。</p> <p>第4学年～ 花壇の広さを写し取った紙の広さで比べたり、1㎡の広さのものを探したりする活動を通して、面積の単位と測定の意味を理解する。</p> <p>第5学年～ 図形を写し取って比べたり、図形を分割して面積の求め方を考えたりする活動を通して、三角形や平行四辺形などの面積の求め方を理解する。</p> <p>第6学年～ 直方体の体積を利用して角柱の体積を求めたり、体積の求め方の公式を考えたりする活動を通して、角柱や円柱の体積の求め方を理解する。</p> <p>○ 図形については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 形を写し取ったり、多くの色板を使ってある形を作ったりする活動を通して、ものの形を認めたり、形の特徴をとらえたりする。</p> <p>第2学年～ 紙を切って正方形を作ったり、直角三角形を敷き詰めて模様を作ったりする活動を通して、正方形や長方形、直角三角形について理解する。</p> <p>第3学年～ いくつかの三角形を仲間分けしたり、コンパスを使って三角形かいたりする活動を通して、二等辺三角形や正三角形について理解する。</p> <p>第4学年～ 点をつないで四角形を作ったり、コンパスを使って四角形かいたりする活動を通して、平行四辺形やひし形、台形の性質について理解する。</p> <p>第5学年～ 図形を切り取って重ね合わせたり、合同な三角形をかいたりする活動を通して、図形の合同について理解する。</p> <p>第6学年～ 方眼を使って拡大図や縮図をかいたり、対称な図形をかいたりする活動を通して、縮図や拡大図、対称な図形について理解する。</p> <p>○ 数量関係については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 果物の絵を種類ごとに縦に並べたり、動物の絵を数えたりする活動を通して、絵や図を用いたものの個数の表し方を理解する。</p> <p>第2学年～ 友達の好きな給食を表やグラフに表したり、読み取ったりする活動を通して、簡単な表やグラフの読み方やかき方について理解する。</p> <p>第3学年～ 友達の好きなスポーツをグラフに表したり、グラフの特徴を読み取ったりする活動を通して、棒グラフの読み方やかき方について理解する。</p> <p>第4学年～ 1日の気温の変化をグラフに表したり、グラフの変わり方を読み取ったりする活動を通して、折れ線グラフの読み方やかき方を理解する。</p> <p>第5学年～ 農産物の収穫量をグラフに表したり、空き缶の個数の割合を調べたりする活動を通して、円グラフや帯グラフの読み方やかき方を理解する。</p> <p>第6学年～ ソフトボール投げの記録をグラフに表したり、男女別人口の割合を読み取ったりする活動を通して、資料の平均や柱状グラフについて理解する。</p>			

	<p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～ 「ふくしゅう」のページにおいて、一列に並んでいる児童について、前や後ろからの順番を扱うなどの補足的な学習</p> <p>第2学年～ 「ふくしゅう」のページにおいて、何枚かの皿の上のにせられたミカンの数について、乗法の立式を扱うなどの補足的な学習</p> <p>第3学年～ 「準備運動」のページにおいて、クリをいくつかの皿に分ける場合について、除法を使う場面を扱うなどの補足的な学習</p> <p>第4学年～ 「学びをいかそう」のページにおいて、時計の長針について、回転する角度の求め方を扱うなどの発展的な学習</p> <p>第5学年～ 「素数」のページにおいて、3位数について、約数があるかを判断する場面を扱うなどの発展的な学習</p> <p>第6学年～ 「学びをいかそう」のページにおいて、長崎の出島の形について、縮図を基にしたおよその面積の求め方を扱うなどの発展的な学習</p>
<p>内容の構成・排列・分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～ 数の合成や分解の学習の後に、「ふえたりへったり」で加法や減法につながる学習を取り扱い、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第2学年～ 2位数の加法や減法の学習の後に、加法や減法の筆算や3位数の筆算の学習を取り扱い、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第3学年～ 1位数の簡単な除法の学習の後に、余りのある除法の学習を取り扱い、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第4学年～ 1位数で割る除法の学習の後に、2位数で割る除法の学習を取り扱い、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第5学年～ 小数の乗法や除法の学習の後に、異分母分数の加法や減法、整数と分数の乗法や除法の学習を取り扱い、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第6学年～ 分数同士の乗法や除法の学習の後に、小数や分数の四則計算の定着、活用を図る学習を取り扱い、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第1学年～ 数と計算は103ページ、量と測定は16ページ、図形は17ページ、数量関係は11ページであり、総ページ数は172ページで、前回より約8パーセント増となっている。</p> <p>第2学年～ 数と計算は122ページ、量と測定は32ページ、図形は21ページ、数量関係13ページであり、総ページ数は278ページで、前回より約5パーセント増となっている。</p> <p>第3学年～ 数と計算は115ページ、量と測定は26ページ、図形は24ページ、数量関係は25ページであり、総ページ数は288ページで、前回より約8パーセント増となっている。</p> <p>第4学年～ 数と計算は101ページ、量と測定は31ページ、図形は32ページ、数量関係は43ページであり、総ページ数は287ページで、前回より約6パーセント増となっている。</p> <p>第5学年～ 数と計算は81ページ、量と測定は43ページ、図形は36ページ、数量関係は27ページであり、総ページ数は277ページで、前回より約4パーセント増となっている。</p> <p>第6学年～ 数と計算は26ページ、量と測定は36ページ、図形は37ページ、数量関係は61ページであり、総ページ数は289ページで、前回より約2パーセント増となっている。</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 各単元末の「たしかめましょう」のページで、学習内容を確認したり（全学年）、「発見算数島」のページで、児童が興味・関心に応じて問題に取り組めるようにしたり（第2～6学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 新しい単元の学習に取り組みやすいよう単元の前に「準備」のページを掲載したり（全学年）、キャラクターによる複数の考え方を取り上げたり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</p> <p>○ 巻頭の「算数のとびら」のページで、教科書の使い方や学習の進め方を掲載するとともに（第2～6学年）、巻末の「〇年上のまとめ」のページで、学習内容のポイントをまとめたり（第2～6学年）、単語の途中での改行を避けた文節改行を採用したりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>その他</p>	



番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
観 点	116・日文	第1学年	算数 140	しょうがくさんすう 1ねん
		第2学年	算数 240、算数 241	小学算数 2上、小学算数 2下
第3学年		第3学年	算数 340、算数 341	小学算数 3上、小学算数 3下
第4学年		第4学年	算数 440、算数 441	小学算数 4上、小学算数 4下
第5学年		第5学年	算数 540、算数 541	小学算数 5上、小学算数 5下
第6学年		第6学年	算数 640、算数 641	小学算数 6上、小学算数 6下
取 扱 内 容	学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等	<p>○ 数と計算については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 水槽に入れる金魚の数を求めたり、残った果物の数を数えたりする活動を通して、整数の加法・減法の意味や計算の仕方を理解する。</p> <p>第2学年～ 乗り物に乗っている人数を調べたり、鉛筆を同じ本数ずつ配る場面を考えたりする活動を通して、整数の乗法の意味や計算の仕方を理解する。</p> <p>第3学年～ お菓子をみんなに分ける場面を考えたり、除法の式になる問題を図で表したりする活動を通して、整数の除法の意味や計算の仕方を理解する。</p> <p>第4学年～ ジュースのかさをLで表したり、立ち幅跳びの長さをmで表したりする活動を通して、小数や分数の加法・減法の意味や計算の仕方を理解する。</p> <p>第5学年～ リボンの1mの代金を求めたり、パイプの1mの重さを求めたりする活動を通して、小数の乗法・除法の意味や計算の仕方を理解する。</p> <p>第6学年～ ペンキで塗る屋根の面積を求めたり、図を使い除法の計算の仕方を考えたりする活動を通して、分数の乗法・除法の意味や計算の仕方を理解する。</p> <p>○ 量と測定については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 鉛筆や指を使ってももの長さを比べたり、水のかさを比べたりする活動を通して、長さや面積、体積の比べ方を理解する。</p> <p>第2学年～ はがきの縦と横の長さを測定したり、ものさしを使って直線を引いたりする活動を通して、長さの単位と測定の意味を理解する。</p> <p>第3学年～ 文房具の重さを比べたり、はかりを使って教科書やランドセルの重さを測ったりする活動を通して、重さの単位と測定の意味を理解する。</p> <p>第4学年～ 花壇の広さを比べたり、方眼紙を使って面積を求めたりする活動を通して、面積の単位と測定の意味を理解する。</p> <p>第5学年～ 平行四辺形を切り貼ったり、三角形を等積変形するようにかいたりする活動を通して、三角形や平行四辺形などの面積の求め方を理解する。</p> <p>第6学年～ 体積が一番大きい立体を見付けたり、身の回りにあるもののおよその体積を考えたりする活動を通して、角柱や円柱の体積の求め方を理解する。</p> <p>○ 図形については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 同じ形のものを集めたり、いろいろな形を作ったりする活動を通して、ものの形を認めたり、形の特徴をとらえたりする。</p> <p>第2学年～ 紙を折って長方形を作ったり、紙を切って直角三角形を作ったりする活動を通して、正方形や長方形、直角三角形について理解する。</p> <p>第3学年～ いろいろな長さのストローを用いて三角形を作ったり、三角形を仲間分けしたりする活動を通して、二等辺三角形や正三角形について理解する。</p> <p>第4学年～ いろいろな形の四角形を作ったり、身の回りの四角形を探したりする活動を通して、平行四辺形やひし形、台形の性質について理解する。</p> <p>第5学年～ 身の回りにある合同な図形を探したり、合同な図形をかいたりする活動を通して、図形の合同について理解する。</p> <p>第6学年～ 形が同じで大きさが異なる図形の辺や角を調べたり、拡大図をかいたりする活動を通して、縮図や拡大図、対称な図形について理解する。</p> <p>○ 数量関係については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 動物の数を数えたり、並んでいる時の順番を数えたりする活動を通して、絵や図を用いたものの個数の表し方を理解する。</p> <p>第2学年～ 好きな給食のメニューを調べたり、表に表したりする活動を通して、簡単な表やグラフの読み方やかき方について理解する。</p> <p>第3学年～ 動物の種類を表に表したり、曜日ごとの読書時間をグラフに表したりする活動を通して、棒グラフの読み方やかき方について理解する。</p> <p>第4学年～ 気温の変わり方を表で表したり、2都市の1年間の気温を折れ線グラフに表したりする活動を通して、折れ線グラフの読み方やかき方を理解する。</p> <p>第5学年～ 都道府県別の果物の生産量の割合を調べたり、日本の地方別面積を調べたりする活動を通して、円グラフや帯グラフの読み方やかき方を理解する。</p> <p>第6学年～ ソフトボール投げの記録を比べたり、50m走の記録をグラフに表したりする活動を通して、資料の平均や柱状グラフについて理解する。</p>		

	<p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～ 単元末の「いち・に・さんかつ」のページにおいて、たし算で学習した内容について、たし算カードを扱うなどの補充的な学習</p> <p>第2学年～ 単元末の「ふくしゅう」のページにおいて、かけ算の学習した内容について、おはじきの数を求める問題を扱うなどの補充的な学習</p> <p>第3学年～ 単元末の「次の学習のために」のページにおいて、棒グラフについて、2年生で行った表の整理の問題を扱うなどの補充的な学習</p> <p>第4学年～ 単元末の「なるほど算数」のページにおいて、大きい数で学習した内容について、兆より大きい数を扱うなどの発展的な学習</p> <p>第5学年～ 巻末の「選んで学ぼうぐっとチャレンジ」のページにおいて、整数の性質について、カレンダーを使った問題を扱うなどの発展的な学習</p> <p>第6学年～ 単元末の「いち・に・算活」のページにおいて、対称な形について、都道府県などのマークを扱うなどの発展的な学習</p>
<p>内容の構成・排列・分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～ 順序を表す数の学習の後に、1位数の加法や減法の意味、計算の仕方を理解する学習を取り扱い、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第2学年～ 2位数の加法や減法の学習の後に、乗法九九の意味や計算の仕方を理解する学習を取り扱い、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第3学年～ 2位数の乗法の学習の後に、1位数の除法の意味や計算の仕方を理解する学習を取り扱い、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第4学年～ 2位数の除法の学習の後に、小数の加法や減法の意味や計算の仕方を理解する学習を取り扱い、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第5学年～ 小数の乗法や除法の学習の後に、分数の加法や減法の意味や計算の仕方を理解する学習を取り扱い、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第6学年～ 分数の乗法の学習の後に、分数の除法の意味や計算の仕方を理解する学習を取り扱い、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第1学年～ 数と計算は103ページ、量と測定は15ページ、図形は12ページ、数量関係は19ページであり、総ページ数は165ページで、前回より約2パーセント増となっている。</p> <p>第2学年～ 数と計算は102ページ、量と測定は35ページ、図形は22ページ、数量関係は21ページであり、総ページ数は277ページで、前回より約28パーセント増となっている。</p> <p>第3学年～ 数と計算は116ページ、量と測定は28ページ、図形は26ページ、数量関係は22ページであり、総ページ数は302ページで、前回より約15パーセント増となっている。</p> <p>第4学年～ 数と計算は107ページ、量と測定は28ページ、図形は36ページ、数量関係は40ページであり、総ページ数は312ページで、前回より約11パーセント増となっている。</p> <p>第5学年～ 数と計算は80ページ、量と測定は52ページ、図形は39ページ、数量関係は30ページであり、総ページ数は304ページで、前回より約7パーセント増となっている。</p> <p>第6学年～ 数と計算は31ページ、量と測定は35ページ、図形は26ページ、数量関係は51ページであり、総ページ数は264ページで、前回より約8パーセント増となっている。</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 次の単元の学習に取り組みやすくするため「次の学習のために」のページで、既習の内容を復習したり（全学年）、「いち・に・算活」のページで、活動の手順を示したり（全学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 学習に関係のある話題を示すコラムを設けたり（全学年）、ゲーム的要素のあるの練習問題を取り上げたり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</p> <p>○ 上巻末の「学び方ガイド」で、算数の学習の流れを示すとともに（第2～6学年）、「算数で使いたいことば・考え方」で、発表の手順や方法の例を示したり（第2～6学年）、単語の途中での改行を避けた文節改行を採用したりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>その他</p>	



<p>調 査 研 究  ・ 審 議 の 経 過</p>	<p>1 審議経過の概要</p> <p>(1) 審議の対象となった発行者名及び数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、啓林館の 5 者</li> </ul> <p>(2) 調査研究の手順</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第 1 回調査委員会（6 月 2 6 日）で 5 者の教科書を配布し、調査の観点や手順を協議した。</li> <li>・第 2 回調査委員会（7 月 1 5 日、1 6 日）に、各自の調査研究を基に内容別に協議し、様式 1 について整理するとともに、全体を通して各者の特徴をまとめ、様式 2、様式 3 を作成した。</li> </ul> <p>(3) 調査研究のための観点、項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取扱内容については、学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等に基づいて取り上げられているか、習得、活用、探究の学習活動に対応しているかという視点で調査し整理した。</li> <li>・内容の程度・排列・分量等については、日常的な生活経験と関連づけた単元構成か、系統的、発展的に学習できるかという視点で調査し整理した。</li> <li>・使用上の配慮等については、学習意欲を高める工夫、主体的な学習の取り組み、使用上の便宜という視点で調査し整理した。</li> </ul>
<p>全 体 を 通 じ て の 特 徴</p>	<p>2 審議経過の概要</p> <p>(1) 東京書籍については、問題解決の過程を色で示すとともに、児童が自ら学習の流れがわかるよう各過程のタイトルを大きな文字で示していることに特色があり、優れている。</p> <p>大日本図書については、資料「りかのたまてばこ」で学習した内容が実社会、実生活で使われていることを実感できるようにしていることに特色があり、優れている。</p> <p>学校図書については、紙面両側に「学びのナビゲーションバー」を掲載し、児童が自ら問題解決学習の流れがわかるように示していることに特色があり、優れている。</p> <p>教育出版については、児童が主体的に問題解決していくために学習の流れを「学習の順序」とで「学び方」で示していることに特色があり、優れている。</p> <p>啓林館については、学習のはじめに「わくわく理科プラス」で、自分の考えを書き、主体的に観察・実験に取り組めるように構成していることに特色があり、優れている。</p> <p>(2) このほか、教育出版と啓林館は、北海道にかかわりのある写真等の掲載箇所数が多いなどの話題も出されていた。</p>

理科の目標等について	
<p><b>【教科の目標】</b> 自然に親しみ、見通しをもって観察、実験などを行い、問題解決の能力と自然を愛する心情を育てるとともに、自然の事物・現象についての実感を伴った理解を図り、科学的な見方や考え方を養う。</p>	
<p><b>【学年・領域等の目標など】</b></p> <p>[第3学年]</p> <p>(1) 物の重さ、風やゴムの力並びに光、磁石及び電気を働かせたときの現象を比較しながら調べ、見いだした問題を興味・関心をもって追究したりものづくりをしたりする活動を通してそれらの性質や働きについての見方や考え方を養う。</p> <p>(2) 身近に見られる動物や植物、日なたと日陰の地面を比較しながら調べ、見いだした問題を興味・関心をもって追究する活動を通して、生物を愛護する態度を育てるとともに、生物の成長のきまりや体のづくり、生物と環境とのかかわり、太陽と地面の様子との関係についての見方や考え方を養う。</p> <p>[第4学年]</p> <p>(1) 空気や水、物の状態の変化、電気による現象を力、熱、電気の働きと関係付けながら調べ、見いだした問題を興味・関心をもって追究したりものづくりをしたりする活動を通して、それらの性質や働きについての見方や考え方を養う。</p> <p>(2) 人の体のづくり、動物の活動や植物の成長、天気の様子、月や星の位置の変化を運動、季節、気温、時間などと関係付けながら調べ、見いだした問題を興味・関心をもって追究する活動を通して、生物を愛護する態度を育てるとともに、人の体のづくりと運動、動物の活動や植物の成長と環境とのかかわり、気象現象、月や星の動きについての見方や考え方を養う。</p> <p>[第5学年]</p> <p>(1) 物の溶け方、振り子の運動、電磁石の変化や働きをそれらにかかわる条件に目を向けながら調べ、見いだした問題を計画的に追究したりものづくりをしたりする活動を通して、物の変化の規則性についての見方や考え方を養う。</p> <p>(2) 植物の発芽から結実までの過程、動物の発生や成長、流水の様子、天気の変化を条件、時間、水量、自然災害などに目を向けながら調べ、見いだした問題を計画的に追究する活動を通して、生命を尊重する態度を育てるとともに、生命の連続性、流水の働き、気象現象の規則性についての見方や考え方を養う。</p> <p>[第6学年]</p> <p>(1) 燃焼、水溶液、てこ及び電気による現象についての要因や規則性を推論しながら調べ、見いだした問題を計画的に追究したりものづくりをしたりする活動を通して、物の性質や規則性についての見方や考え方を養う。</p> <p>(2) 生物の体のづくりと働き、生物と環境、土地のづくりと変化の様子、月と太陽の関係を推論しながら調べ、見いだした問題を計画的に追究する活動を通して、生命を尊重する態度を育てるとともに、生物の体の働き、生物と環境とのかかわり、土地のづくりと変化のきまり、月の位置や特徴についての見方や考え方を養う。</p>	

**【参考】**

- 理科については、その課題を踏まえ、小・中・高等学校を通じ、発達の段階に応じて、子どもたちが知的好奇心や探究心をもって、自然に親しみ、目的意識をもった観察・実験を行うことにより、科学的に調べる能力や態度を育てるとともに、科学的な認識の定着を図り、科学的な見方や考え方を養うことができるよう改善を図る。
- 理科の学習において基礎的・基本的な知識・技能は、実生活における活用や論理的な思考力の基盤として重要な意味をもっている。また、科学技術の進展などの中で、理数教育の国際的な通用性が一層問われている。このため、科学的な概念の理解など基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図る観点から、「エネルギー」、「粒子」、「生命」、「地球」などの科学の基本的な見方や概念を柱として、子どもたちの発達の段階を踏まえ、小・中・高等学校を通じた理科の内容の構造化を図る方向で改善する。
- 科学的な思考力・表現力の育成を図る観点から、学年や発達の段階、指導内容に応じて、例えば、観察・実験の結果を整理し考察する学習活動、科学的な概念を使用して考えたり説明したりする学習活動、探究的な学習活動を充実する方向で改善する。
- 科学的な知識や概念の定着を図り、科学的な見方や考え方を育成するため、観察・実験や自然体験、科学的な体験を一層充実する方向で改善する。
- 理科を学ぶことの意義や有用性を実感する機会をもたせ、科学への関心を高める観点から、実社会・実生活との関連を重視する内容を充実する方向で改善を図る。また、持続可能な社会の構築が求められている状況に鑑み、理科についても、環境教育の充実を図る方向で改善する。
- 標準授業時数  

第3学年－ 90 単位時間	第4学年－ 105 単位時間
第5学年－ 105 単位時間	第6学年－ 105 単位時間

様式3

番号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
観点	2・東書	第3学年 第4学年 第5学年 第6学年	理科331 理科431 理科531 理科631	新編新しい理科 3 新編新しい理科 4 新編新しい理科 5 新編新しい理科 6
取扱内容 各学年の目標、内容等	<p>○ 物質・エネルギーについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにしている。</p> <p>第3学年～ 粘土の置き方や形を変えて重さを調べる実験、ゴムで動く車を作るものづくりなどの活動を通して、物の性質、ゴムの働きなどについてとらえる。</p> <p>第4学年～ 水を熱したときの様子を調べる実験、電気の働きで走る自動車を作るものづくりなどの活動を通して、水の性質、電気の働きなどについてとらえる。</p> <p>第5学年～ 水の量や温度を変えて水に溶ける食塩の量を調べる実験、電磁石を利用した道具やおもちゃを作るものづくりなどの活動を通して、物の変化の規則性などについてとらえる。</p> <p>第6学年～ 物を燃やす働きのある気体を調べる実験、てこやてんびんを利用したはかりを作るものづくりなどの活動を通して、物の性質や規則性などについてとらえる。</p> <p>○ 生命・地球については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにしている。</p> <p>第3学年～ ホウセンカの栽培、日なたと日陰の地面の温度を調べる観察などの活動を通して、生物を愛護するとともに、生物の成長のきまりや体のつくり、太陽と地面の様子との関係などについてとらえる。</p> <p>第4学年～ 人の腕や脚のつくりと動き方を調べる観察、時刻を変えて月の位置を調べる観察などの活動を通して、生物を愛護するとともに、人の体のつくりと運動、月と星の動きなどについてとらえる。</p> <p>第5学年～ ヘチマやアサガオの花のつくりの観察、メダカの飼育、土地の傾きや水の量を変えて流れる水の働きを調べる実験などの活動を通して、生命を尊重するとともに、生命の連続性、流水の働きなどについてとらえる。</p> <p>第6学年～ 吐き出した空気と吸う空気との違いを調べる実験、日没直後の月の形と位置を調べる観察などの活動を通して、生命を大切にするとともに、生物の体の働き、月の位置や特徴などについて考える。</p> <p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第3学年～ 「方位磁針」や「温度計」などの観察・実験器具の使い方を習得する活動及び磁石の性質を利用した道具としての方位磁針の特徴を理解するなどの発展的な学習</p> <p>第4学年～ 「星座早見」や「実験用ガスこんろ」などの観察・実験器具の使い方を習得する活動及び直列回路と比較して並列回路の特徴を理解するなどの発展的な学習</p> <p>第5学年～ 「解剖顕微鏡」や「双眼実体顕微鏡」などの観察・実験器具の使い方を習得する活動及び季節ごとの天気の特徴を理解するなどの発展的な学習</p> <p>第6学年～ 「リトマス紙」や「気体検知管」などの観察・実験器具の使い方を習得する活動及び太陽・月・地球の大きさの違いと、地球からの距離を理解するなどの発展的な学習</p>			

<p>内容の構成・排列、分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第3学年～ 「物の重さをくらべよう」では、同体積で重さを比べる教材を塩と砂糖とし、児童の疑問を基にした問題を解決する学習が進められるよう単元を構成するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第4学年～ 「自然のなかの水のすがた」では、「水のすがたと温度」の単元の次に位置付けることで、相互の学習内容の関連が図られるよう単元を構成するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第5学年～ 「流れる水のはたらき」では、資料を基に水の働きについて学習した後、その知識を活用して、条件を制御しながら流水の実験が行われるよう単元を構成するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第6学年～ 「太陽と月の形」では、月の満ち欠けについてのモデル実験の前に、月の観察と天体の特徴がとらえられるよう単元を構成するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第3学年～ 物質・エネルギーは58ページ、生命・地球は80ページ、資料等は18ページであり、総ページ数は156ページで、前回より約13パーセント増となっている。</p> <p>第4学年～ 物質・エネルギーは70ページ、生命・地球は95ページ、資料等は19ページであり、総ページ数は184ページで、前回より約14パーセント増となっている。</p> <p>第5学年～ 物質・エネルギーは51ページ、生命・地球は98ページ、資料等は19ページであり、総ページ数は168ページで、前回より約14パーセント増となっている。</p> <p>第6学年～ 物質・エネルギーは71ページ、生命・地球は120ページ、資料等は17ページであり、総ページ数は208ページで、前回より約18パーセント増となっている。</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ コラム「理科のひろば」では、学習内容が社会に生かされていることを紹介し、理科を学ぶ意義をとらえられるようにしたり（全学年）、石狩郡の同じ場所の雪解けの季節の風景写真を掲載したり（第4学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 特集ページの「わたしの研究」では、研究のテーマの決め方、調べ方、まとめ方などを示したり（全学年）、「学びをつなごう」では、小学校で学習する内容を振り返りながら学習できるようにしたり（第6学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 資料に観察・実験器具の使い方などに関する内容をまとめ、必要なときに確認できるようにする（全学年）とともに、安全に対して配慮が必要な箇所に「きけん」マークを示したり（全学年）、文章を単語や文節で改行したりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>その他</p>	

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	11. 学図	第3学年 第4学年 第5学年 第6学年	理科333 理科433 理科533 理科633	みんなと学ぶ 小学校理科3年 みんなと学ぶ 小学校理科4年 みんなと学ぶ 小学校理科5年 みんなと学ぶ 小学校理科6年
取扱内容  各学年の目標、内容等 学習指導要領の総則及び各教科、	<p>○ 物質・エネルギーについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにになっている。</p> <p>第3学年～ 粘土や空き缶の形を変えて重さを調べる実験、ペットボトルで風車を作るものづくりなどの活動を通して、物の性質、風の働きなどについてとらえる。</p> <p>第4学年～ 水を熱したときの変化を調べる実験、乾電池で動く自動車を作るものづくりなどの活動を通して、水の性質、電気の働きなどについてとらえる。</p> <p>第5学年～ 食塩やミョウバンが水に溶ける量を調べる実験、電磁石を利用したコイルモーターを作るものづくりなどの活動を通して、物の変化の規則性などについてとらえる。</p> <p>第6学年～ 物を燃やした後の空気や物の変化を調べる実験、粘土をおもりにしたてんびんを作るものづくりなどの活動を通して、物の性質や規則性などについてとらえる。</p> <p>○ 生命・地球については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにになっている。</p> <p>第3学年～ ヒマワリの栽培、日なたと日陰で地面の温度を比べる観察などの活動を通して、生物を愛護するとともに、生物の成長のきまりや体のつくり、太陽と地面の様子との関係などについてとらえる。</p> <p>第4学年～ 人の腕や手のつくりを調べる観察、月の動きを調べる観察などの活動を通して、生物を愛護するとともに、人の体のつくりと運動、月と星の動きなどについてとらえる。</p> <p>第5学年～ ヘチマやアサガオの花のつくりの観察、メダカの飼育、土の山に水を流し地面を流れる水の働きを調べる実験などの活動を通して、生命を尊重するとともに、生命の連続性、流水の働きなどについてとらえる。</p> <p>第6学年～ 吐き出した空気を調べる実験、月や太陽の表面の様子を調べる観察などの活動を通して、生命を大切にするとともに、生物の体の働き、月の位置や特徴などについて考える。</p> <p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第3学年～ 「虫眼眼」や「デジタルはかり」などの観察・実験器具の使い方を習得する活動及び金属の性質の共通性や違いを理解するなどの発展的な学習</p> <p>第4学年～ 「星座早見」や「ガスバーナー」などの観察・実験器具の使い方を習得する活動及び直列回路と並列回路の電流の流れ方の違いを理解するなどの発展的な学習</p> <p>第5学年～ 「解剖顕微鏡」や「メスシリンダー」などの観察・実験器具の使い方を習得する活動及び日本各地の冬の天気の違いを理解するなどの発展的な学習</p> <p>第6学年～ 「リトマス紙」や「気体検知管」などの観察・実験器具の使い方を習得する活動及び生物は食べる・食べられるの関係でつながっていることを理解するなどの発展的な学習</p>			

<p>内容の構成・排列、分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第3学年～ 「かげと太陽」では、影踏み遊びから太陽と自分と影の位置関係について考えられるよう単元を構成するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第4学年～ 「水の3つのすがた」では、「自然の中の水」の単元の次に位置付けることで、相互の学習内容の関連が図られるよう単元を構成するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第5学年～ 「種子の発芽と成長」では、「ふりこの運動」の単元の次に位置付け、ふりこの学習で習得した「条件制御の方法」が生かされるよう単元を構成するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第6学年～ 「電気と私たちの生活」では、児童の先行経験・生活体験と関連付けながら学習が進められるよう単元を構成するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第3学年～ 物質・エネルギーは58ページ、生命・地球は62ページ、資料等は20ページであり、総ページ数は140ページで、前回より約4パーセント増となっている。</p> <p>第4学年～ 物質・エネルギーは65ページ、生命・地球は88ページ、資料等は23ページであり、総ページ数は176ページで、前回より約6パーセント増となっている。</p> <p>第5学年～ 物質・エネルギーは45ページ、生命・地球は100ページ、資料等は27ページであり、総ページ数は172ページで前回より約15パーセント増となっている。</p> <p>第6学年～ 物質・エネルギーは79ページ、生命・地球は109ページ、資料等は28ページであり、総ページ数は216ページで前回より約19パーセント増となっている。</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ コラム「読み物」では、学習内容が日常生活に生かされていることを紹介し、理科を学ぶ意義をとらえられるようにしたり（全学年）、火山灰を含む煙を噴き上げる有珠山の写真を掲載したり（第6学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 特集ページの「考えよう・調べよう」では、話し方、記録の仕方、調べ方、まとめ方などを示したり（全学年）、単元内の「やってみよう」では、学習内容に関連した様々な観察、実験を取り上げたり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 巻頭に各学年の学習内容を示し、学習全体を振り返られるようにする（全学年）とともに、安全に対して配慮が必要な箇所に「注意」マークを付けたり（全学年）、実験器具の使い方などを写真と対応させて示したりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>その他</p>	



様式 3

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	17. 教出	第3学年 第4学年 第5学年 第6学年	理科334 理科434 理科534 理科634	みらいをひらく 小学理科 3 未来をひらく 小学理科 4 未来をひらく 小学理科 5 未来をひらく 小学理科 6
取扱内容  各学年の目標、内容等	<p>○ 物質・エネルギーについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにになっている。</p> <p>第3学年～ 粘土の形を変える前と変えた後の重さを調べる実験、風やゴムの力で動く車を作るものづくりなどの活動を通して、物の性質や風やゴムの働きなどについてとらえる。</p> <p>第4学年～ 熱せられた水の動き方を調べる実験、電気の働きで動く車づくりなどの活動を通して、水の性質、電気の働きなどについてとらえる。</p> <p>第5学年～ 食塩やミョウバンが水に溶ける量を調べる実験、電磁石を利用した電気チェッカー等の道具を作るものづくりなどの活動を通して、物の変化の規則性などについてとらえる。</p> <p>第6学年～ ろうそくの燃焼前後の空気の違いを調べる実験、乾電池等をおもりにしたさおばかりを作るものづくりなどの活動を通して、物の性質やてこの規則性などについてとらえる。</p> <p>○ 生命・地球については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにになっている。</p> <p>第3学年～ ホウセンカの栽培、日なたの地面と日陰の地面の温度の違いを調べる観察などの活動を通して、生物を愛護するとともに、生物の成長のきまりや体のつくり、太陽と地面の様子との関係などについてとらえる。</p> <p>第4学年～ 腕を動かすときの筋肉の様子を調べる観察、午後に見える半月の動きの観察などの活動を通して、生物を愛護するとともに、人の体のつくりと運動、月と星の動きなどについてとらえる。</p> <p>第5学年～ ヘチマの花のつくりの観察、メダカの飼育、流れる水の量と地面の変化との関係を調べる実験などの活動を通して、生命を尊重するとともに、生命の連続性、流水の働きなどについてとらえる。</p> <p>第6学年～ 吸い込む空気と吐き出す息の違いを調べる実験、月や太陽の位置や月の形を調べる観察などの活動を通して、生命を大切にするとともに、生物の体の働き、月の位置や特徴などについて考える。</p> <p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第3学年～ 「遮光板」や「携帯型双眼実体顕微鏡」などの観察・実験器具の使い方を習得する活動及び風の力を利用して電気をつくる風力発電を理解するなどの発展的な学習</p> <p>第4学年～ 「星座早見」や「実験用ガスコンロ」などの観察・実験器具の使い方を習得する活動及びフライパンのところが熱くならない工夫を理解するなどの発展的な学習</p> <p>第5学年～ 「解剖顕微鏡」や「メスシリンダー」などの観察・実験器具の使い方を習得する活動及び水害を防ぐために行う河川工事の工夫を理解するなどの発展的な学習</p> <p>第6学年～ 「気体検知管」や「電源装置」などの観察・実験器具の使い方を習得する活動及び肺や肝臓、腎臓等のつくりや働きを理解するなどの発展的な学習</p>			

<p>内容の構成・排列、分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第3学年～ 「チョウを育てよう」では、チョウを飼育し、卵から幼虫、蛹、成虫までの育ち方の過程をとらえられるよう単元を構成するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第4学年～ 「季節と生き物」では、第3学年で学んだ観察の方法を用いてサクラを観察し、季節と生き物についての学習を進められるよう単元を構成するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第5学年～ 「もののとけ方」では、児童が見いだした問題を計画的に調べ、物が水に溶ける現象への理解が深まるよう単元を構成するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第6学年～ 「月と太陽」では、月の満ち欠けの原因について、観察から得られた月と太陽との位置関係を基に、推論しながら調べられるよう単元を構成するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第3学年～ 物質・エネルギーは68ページ、生命・地球は92ページ、資料等は20ページであり、総ページ数は180ページで、前回より約19パーセント増となっている。</p> <p>第4学年～ 物質・エネルギーは72ページ、生命・地球は112ページ、資料等は24ページであり、総ページ数は208ページで、前回より約10パーセント増となっている。</p> <p>第5学年～ 物質・エネルギーは58ページ、生命・地球は118ページ、資料等は20ページであり、総ページ数は196ページで、前回より約15パーセント増となっている。</p> <p>第6学年～ 物質・エネルギーは74ページ、生命・地球は112ページ、資料等は22ページであり、総ページ数は208ページで、前回より約11パーセント増となっている。</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ コラムの「科学のまど」では、学んだことと関連した身の回りの話題を紹介し、理科を学習する意義を実感できるようにしたり（全学年）、地層の広がりを紹介す乙部町の地層や津波などの被害を防ぐ奥尻町の堤防の写真を掲載したり（第6学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 特集ページの「わたしの研究」では、研究の進め方などを示したり（全学年）、「学習の順序」では、児童自らが問題を解決していくことができるよう思考や学び方の流れを示したり（全学年）するなど、児童が主体的に学習取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 一年間で学んだことを振り返りながら確認できる「この1年間で学んだこと」を設ける（全学年）とともに、安全に対して配慮が必要な箇所に「注意」マークを付したり（全学年）、色の違いが分かりにくい箇所に色名を示したりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>その他</p>	

様式 3

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	61・啓林館	第3学年 第4学年 第5学年 第6学年	理科336, 337 理科436, 437 理科536, 537 理科636, 637	わくわく理科 3、わくわく理科プラス 3 わくわく理科 4、わくわく理科プラス 4 わくわく理科 5、わくわく理科プラス 5 わくわく理科 6、わくわく理科プラス 6
取 扱 内 容  〔学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等〕	<p>○ 物質・エネルギーについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにになっている。</p> <p>第3学年～ 形を変えた粘土や同じ体積の物の重さを調べる実験、風やゴムで動く車を作るものづくりなどの活動を通して、物の性質、風やゴムの働きなどについてとらえる。</p> <p>第4学年～ 熱せられた水の動き方を調べる実験、モーターで動くおもちゃを作るものづくりなどの活動を通して、水の性質、電気の働きなどについてとらえる。</p> <p>第5学年～ 食塩やミョウバンが溶ける量を調べる実験、電磁石を利用したおもちゃを作るものづくりなどの活動を通して、物の溶け方の規則性や電流のはたらきなどについてとらえる。</p> <p>第6学年～ 物を燃やしたときの空気の変化を調べる実験、てこの働きを利用したさおばかりを作るものづくりなどの活動を通して、燃焼の仕組みやてこの規則性などについてとらえる。</p> <p>○ 生命・地球については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようにになっている。</p> <p>第3学年～ ホウセンカの栽培、日なたと日陰の地面の温度を調べる観察などの活動を通して、生物を愛護するとともに、生物の成長のきまりや体のつくり、太陽と地面の様子との関係などについてとらえる。</p> <p>第4学年～ 腕を曲げたり伸ばしたりするときの筋肉の働きを調べる観察、昼間に見える半月の動きの観察などの活動を通して、生物を愛護するとともに、人の体のつくりと運動、月と星の動きなどについてとらえる。</p> <p>第5学年～ ヘチマの花のつくりの観察、メダカの飼育、流れる水の速さと地面が削られる様子を調べる実験などの活動を通して、生命を尊重するとともに、生命の連続性、流水の働きなどについてとらえる。</p> <p>第6学年～ 吸う息と吐いた息の違いを調べる実験、月の形の見え方や月と太陽の表面の観察などの活動を通して、生命を大切にするとともに、生物の体の働き、月の位置や特徴などについて考える。</p> <p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第3学年～ 「虫眼鏡」や「方位磁針」などの観察・実験器具の使い方を習得する活動及びオリンピックの聖火の火が日光でおこされていることを理解するなどの発展的な学習</p> <p>第4学年～ 「検流計」や「スタンド」などの観察・実験器具の使い方を習得する活動及び日常生活の中に関節と似た動きをするものがあることを理解するなどの発展的な学習</p> <p>第5学年～ 「双眼実体顕微鏡」や「電源装置」などの観察・実験器具の使い方を習得する活動及び日本海側に降雪が多い理由を季節風や地形と関係付けて理解するなどの発展的な学習</p> <p>第6学年～ 「ピペット」や「コンデンサー」などの観察・実験器具の使い方を習得する活動及び人の体の詳しいつくりや小腸、肺等の働きを理解するなどの発展的な学習</p>			

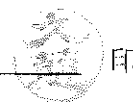
<p>内容の構成・排列・分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第3学年～ 「かげのでき方と太陽の光」では、影踏み遊びから影と太陽との関係について考えられるよう単元を構成するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第4学年～ 「水のゆくえ」では「水のすがた」の単元の次に位置付け、互いの学習内容の関連が図られるよう単元を構成するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第5学年～ 「流れる水のはたらき」では、モデル実験と実際の川とを結び付けて考えられるよう単元を構成するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第6学年～ 「月と太陽」では、第4学年における月の学習を踏まえたモデル実験や観察などの学習から導入し、資料を活用した学習へと進められるよう単元を構成するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第3学年～ 物質・エネルギーは92ページ、生命・地球は94ページ、資料等は20ページであり、総ページ数は206ページで、前回より約43パーセント増となっている。</p> <p>第4学年～ 物質・エネルギーは94ページ、生命・地球は111ページ、資料等は29ページであり、総ページ数は234ページで、前回より約48パーセント増となっている。</p> <p>第5学年～ 物質・エネルギーは66ページ、生命・地球は134ページ、資料等は42ページであり、総ページ数は242ページで、前回より約57パーセント増となっている。</p> <p>第6学年～ 物質・エネルギーは84ページ、生命・地球は127ページ、資料等は47ページであり、総ページ数は258ページで、前回より約50パーセント増となっている。</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ コラム「理科の広場」では、身近な生活と関連した話題を紹介し、理科を学習する意義を実感できるようにしたり（全学年）、三笠市立博物館に展示されているアンモナイトの化石の写真を掲載したり（第6学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 特集ページの「自由研究」では、研究のテーマの決め方、調べ方、まとめ方などを示したり（全学年）、各単元の始めには、見通しをもって学習に取り組むことができるよう「学習のめあて」を設定したり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 生き物や天体、日本の各地域の自然環境を取り上げた資料のページを設ける（全学年）とともに、安全に対して配慮が必要な箇所「！」マークを示したり（全学年）、問題文などの文章を単語や文節で改行したりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>その他</p>	

様式 1

教科用図書第 3 採択地区調査委員会

( 生活 ) 小委員会委員長

久 慈 学



印

調査研究 審議の経過	<p>1 審議経過の概要</p> <p>(1) 審議の対象となった発行者名及び数</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、光村図書、啓林館、日本文教出版の 7 者。</li></ul> <p>(2) 調査研究の手順</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・第 1 回調査委員会（6 月 2 6 日）で 7 者の教科書を配布し、調査の観点や手順を協議した。</li><li>・第 2 回調査委員会（7 月 1 5 日、1 6 日）に各自の調査研究を基に内容別に協議し、様式 1 について整理するとともに、全体を通して各者の特徴をまとめ、様式 2、様式 3 を作成した。</li></ul> <p>(3) 調査研究のための観点、項目</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・取扱内容については、学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等に基づいて取り上げられているかという視点で調査し整理した。</li><li>・内容の構成・排列、分量等については、児童の興味・関心や地域の実態に応じているかという視点で調査し整理した。</li><li>・使用上の配慮等については、児童の学習意欲を高める工夫や、児童が主体的に学習に取り組める工夫、使用上の便宜は図られているかという視点で調査し整理した。</li></ul>
全体を通じての特徴	<p>2 審議経過の概要</p> <p>(1) 東京書籍については、児童が見通しをもって取り組めるように、学習の流れやねらいが示されるとともに、学習活動例や体験活動の資料が示しているという特色があり、優れている。</p> <p>大日本図書については、児童が自分の成長を振り返ることができるように、学習課題や学習方法、児童のノートなどの記述が段階的に表現されているという特色があり、優れている。</p> <p>学校図書については、児童が学習方法を理解することができるように、上下巻末に「まなびかたずかん」を設け、生活科の学習で役立つ内容を示しているという特色があり、優れている。</p> <p>教育出版については、児童がねらいや活動の流れを理解しやすいように、活動で何をどう学ぶのか、ねらい、学習内容、ヒントなどをまとめているという特色があり、優れている。</p> <p>光村図書については、児童が主体的に学習に取り組むことができるように、学習の流れを 3 段階で示しているという特色があり、優れている。</p> <p>啓林館については、児童が単元を通して活動が深められるように、4 段階で示しているという特色があり、優れている。</p> <p>日本文教出版については、児童が主体的に学習に取り組むことができるように、活動のきっかけ、観点を示唆するカードを示しているという特色があり、優れている。</p> <p>(2) このほか、教育出版と啓林館については、学習意欲が高まるような豊富な資料や別冊資料の利便性などが話題となった。</p>

生活の目標等について
<p><b>【教科の目標】</b></p> <p>具体的な活動や体験を通して、自分と身近な人々、社会及び自然とのかかわりに関心を持ち、自分自身や自分の生活について考えさせるとともに、その過程において生活上必要な習慣や技能を身に付けさせ、自立への基礎を養う。</p>
<p><b>【学年・領域等の目標など】</b></p> <p>[第1学年及び第2学年]</p> <p>(1) 自分と身近な人々及び地域の様々な場所、公共物などのかかわりに関心を持ち、地域のよさに気付き、愛着をもつことができるようにするとともに、集団や社会の一員として自分の役割や行動の仕方について考え、安全で適切な行動ができるようにする。</p> <p>(2) 自分と身近な動物や植物などの自然とのかかわりに関心を持ち、自然のすばらしさに気付き、自然を大切にしたり、自分たちの遊びや生活を工夫したりすることができるようにする。</p> <p>(3) 身近な人々、社会及び自然とのかかわりを深めることを通して、自分のよさや可能性に気付き、意欲と自信をもって生活することができるようにする。</p> <p>(4) 身近な人々、社会及び自然に関する活動の楽しさを味わうとともに、それらを通して気付いたことや楽しかったことなどについて、言葉、絵、動作、劇化などの方法により表現し、考えることができるようにする。</p>

**【参考】**

- 具体的な活動や体験を通して、人や社会、自然とのかかわりに関心を持ち、自分自身について考えさせるとともに、その過程において生活上必要な習慣や技能を身に付けさせるといったその趣旨の一層の実現を図るため、人や社会、自然とかかわる活動を充実し、自分自身についての理解などを深めるよう改善を図る。
- 気付きの質を高め、活動や体験を一層充実するための学習活動を重視する。また、科学的な見方・考え方の基礎を養う観点から、自然の不思議さや面白さを実感する学習活動を取り入れる。
- 児童を取り巻く環境の変化を考慮し、安全教育を充実することや自然の素晴らしさ、生命の尊さを実感する学習活動を充実する。また、小学校における教科学習への円滑な接続のための指導を一層充実するとともに、幼児教育との連携を図り、異年齢での教育活動を一層推進する。

○ 標準授業時数

第1学年－102単位時間

第2学年－105単位時間

様式 3

番号 観 点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教 科 書 名
取 扱 内 容  各 学 年 の 目 標 、 内 容 等	2・東書	第1・2学年	生活131 生活132	どきどきわくわく 新編 あたらしい せいかつ 上 あしたへジャンプ 新編 新しい 生活 下
内 容 の 構 成 、 分 量 等	<p>○ 各学年の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「自分と人とのかかわり」については、学校探検で見つけたことを友達に話したり、新1年生に学校のことを紹介したりする活動を通して、身近な人々との関わりに関心を持ち、適切に行動する。</li> <li>・「自分と社会とのかかわり」については、1年を通じて公園の周りの施設や商店を調べたり、年中行事について調べたりする活動を通して、集団や社会の一員として自分の役割や行動の仕方について考える。</li> <li>・「自分と自然とのかかわり」については、同じ公園を季節ごとに繰り返し訪れ、虫探しをしたり、木の実を使ったおもちゃづくりをしたりする活動を通して、自然のすばらしさに気付き、自然を大切にし、自分たちの遊びや生活を工夫する。</li> <li>・「自分自身に関すること」については、どんなことができるようになったかを振り返ったり、大きくなった自分を想像して友達に伝え合ったりする活動を通して、自分のよさや可能性に気付き、意欲と自信をもって生活する。</li> <li>・「学び方に関すること」については、町探検や動植物の観察で気付いたことを絵や文でかき表したり、将来の自分について新聞や巻物等でまとめたりする活動を通して、気付いたことや楽しかったことを表現し考える。</li> </ul> <p>○ 知識・技能の習得、活用、探求への対応については、観察する時に携帯できる「ポケットずかん」を掲載したり、調べ活動を行うために必要な知識や道具の使用方法が分かる「べんりてちょう」を掲載したりするなどの工夫をしている。</p>			
使 用 上 の 配 慮 等	<p>○ 冬の行事として「さっぽろ雪まつり」を取り上げ、季節ごとの行事に気付かせたり（第2学年）、キャラクターが思考を促すヒントの投げかけをしたり（全学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 植物の生長や昆虫の成長を時間ごとに掲載したり（全学年）、児童の気付きや考えを膨らませる吹き出しを掲載したり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 関連する項目が記載されているページ番号や安全面で注意しなければならない「ちゅうい」マークを付したり（全学年）、紙面の配色や文章の見やすさに配慮したり（全学年）するなど、使用上の便宜が図られている。</p>			
そ の 他				

様式 3

番号 観 点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教 科 書 名
取 扱 内 容  各 学 年 の 目 標 、 内 容 等	4・大日本	第1・2学年	生活133 生活134	新版 たのしい せいかつ 上 なかよし 新版 たのしい せいかつ 下 はっけん
内 容 の 構 成 、 分 量 等	<p>○ 各学年の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「自分と人とのかかわり」については、学校探検で見つけたことを教え合ったり、友達やお世話になった人に感謝の気持ちをこめたカードを届けたりする活動を通して、身近な人々との関わりに関心を持ち、適切に行動する。</li> <li>・「自分と社会とのかかわり」については、1年を通じて商店街や家の暮らしについて調べたり、町の施設について調べたりする活動を通して、集団や社会の一員として自分の役割や行動の仕方について考える。</li> <li>・「自分と自然とのかかわり」については、1年を通じて野外で自然に触れる活動を設定し、虫眼鏡を使って虫を観察したり、草花遊びをしたりする活動を通して、自然のすばらしさに気付き、自然を大切に、自分たちの遊びや生活を工夫する。</li> <li>・「自分自身に関すること」については、自分のよいところを発見したり、自分が幼かったころの様子を調べて発表したりする活動を通して、自分のよさや可能性に気付き、意欲と自信をもって生活する。</li> <li>・「学び方に関すること」については、年間を通してかいた絵や文を比較したり、町探検で調べたことを大きな地図にまとめたりする活動を通して、気付いたことや楽しかったことを表現し考える。</li> </ul> <p>○ 知識・技能の習得、活用、探求への対応については、観察したことを書き表すのに必要な言葉が学習できる「せいかつことば」を掲載したり、観察や工作等に便利な「くしゅうどうぐばこ」を掲載したりするなどの工夫をしている。</p>			
使 用 上 の 配 慮 等	<p>○ 半透明のシートを使って風景や時間の違いを比較したり(全学年)、「ビンゴカード」で動植物の様子や匂い、手触りを自分で発見したり(第2学年)するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 観察や発見を記録するカードの例を紹介したり(全学年)、植物の植え方や動物の飼育方法を並列して記載したり(全学年)するなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 事故や怪我を防止するための注意や道具を上手に使用方法を記載したり(全学年)、紙面の配色や写真、イラストのレイアウトを工夫したり(全学年)するなど、使用上の便宜が図られている。</p>			
そ の 他				



様式 3

番号 観 点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教 科 書 名
取 扱 内 容  各 学 年 の 目 標 、 内 容 等	1 1 ・ 学 図	第 1 ・ 2 学 年	生活 135 生活 136	みんなとまなぶ せいかつ 上 しよながっこう みんなとまなぶ せいかつ 下 しよながっこう
内 容 の 構 成 、 分 量 等	<p>○ 各学年の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「自分と人々とのかかわり」については、新1年生となる幼児に学校を紹介したり、地域の商店街の人々と交流したりする活動を通して、身近な人々とのかかわりに関心をもち、適切に行動する。</li> <li>・ 「自分と社会とのかかわり」については、地域の商店街や消防署などを繰り返し訪問したり、調べたりする活動を通して、集団や社会の一員として自分の役割や行動の仕方について考える。</li> <li>・ 「自分と自然とのかかわり」については、同じ公園を季節ごとに繰り返し訪れ、草花遊びをしたり、木の実を使ったおもちゃづくりをしたりする活動を通して、自然のすばらしさに気付き、自然を大切に、自分たちの遊びや生活を工夫する。</li> <li>・ 「自分自身に関すること」については、できるようになったことを考えたり、幼かったころの自分について調べたりする活動を通して、自分のよさや可能性に気付き、意欲と自信をもって生活する。</li> <li>・ 「学び方に関すること」については、虫について調べたこと伝える絵カードを作ったり、町探検の結果を壁新聞にしてまとめたりする活動を通して、気付いたことや楽しかったことを表現し考える。</li> </ul> <p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、単元末に学習スキルをまとめた資料「学びかたずかん」を掲載したり、各巻に単元の学習をさらに広げるよう促す資料「チャレンジずかん」を掲載したりするなどの工夫をしている。</p>			
使 用 上 の 配 慮 等	<p>○ 冬の行事として「さっぽろ雪まつり」を取り上げ、季節ごとの行事に気付かせたり（第2学年）、学習の様子を表すキャラクター4人を上下巻で共通にし、ストーリー性をもたせたり（全学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 各単元を「導入→企画→実行→振り返り」の4段階で構成したり（全学年）、巻末に活動を広げるための資料「ものしりノート」を掲載したり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 各単元の学習時期が分かるような目次（全学年）や、活動と関連の深い図鑑及び資料を示したり（全学年）、紙面の配色に配慮したりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>			
そ の 他				

様式 3

番号 観 点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教 科 書 名
取 扱 内 容  各 学 年 の 目 標 、 内 容 等	17・教出	第1・2学年	生活 137 生活 138	せい かつ 上 みん な 下 な かつ 下 な かつ 下 な よ し ひろがれ
内 容 の 構 成 、 分 量 等	<p>○ 各学年の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「自分と人々とのかかわり」については、新1年生となる幼児に学校を紹介したり、公共施設で働く人々と交流したりする活動を通して、身近な人々とのかかわりに関心をもち、適切に行動する。</li> <li>・「自分と社会とのかかわり」については、地域の商店街や図書館などを繰り返し調べたり、利用したりする活動を通して、集団や社会の一員として自分の役割や行動の仕方について考える。</li> <li>・「自分と自然とのかかわり」については、同じ公園を季節ごとに繰り返し訪れ、草花遊びをしたり、木の実を使ったおもちゃの発表会をしたりする活動を通して、自然のすばらしさに気付き、自然を大切に、自分たちの遊びや生活を工夫する。</li> <li>・「自分自身に関すること」については、できるようになったことを考えたり、自分や友達のよさを探したりする活動を通して、自分のよさや可能性に気付き、意欲と自信をもって生活する。</li> <li>・「学び方に関すること」については、町探検で調べた店を紹介するポスターを作ったり、複数の意見を付箋紙を使ってまとめたりする活動を通して、気付いたことや楽しかったことを表現し考える。</li> </ul> <p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、巻末に学習に必要なスキル等をまとめた資料「ぐんぐんポケット」を掲載したり、季節ごとの動植物の様子を伝える資料「のはらのカレンダー」を掲載したりするなどの工夫をしている。</p>			
使 用 上 の 配 慮 等	<p>○ まちの自慢の例として釧路市の幣舞橋から見た夕陽を取り上げ、地域のよさについて気付かせたり（第2学年）、学習をサポートするキャラクターが活動の視点や注意点を示したり（全学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 単元末に自己評価を行う「単元チェック」の欄を設けたり（全学年）、巻末に学習記録を書き込む「生活科ノート」を設けたり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 小単元ごとに学習のねらいなどを示す欄（全学年）や、活動の広がりを促す欄「はっ見ヒント」を設けたり（全学年）、紙面のレイアウトや配色に配慮したりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>			
そ の 他	（この欄は空欄です）			

様式 3

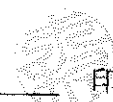
番号 観 点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教 科 書 名
取 扱 内 容  各 学 年 の 目 標 、 内 容 等	38・光村	第1・2学年	生活 141 生活 142	せいかつ上 みんな だいすき せいかつ下 みんな ともだち
内 容 の 構 成 、 分 量 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「自分と人々とのかかわり」については、新1年生となる幼児に学校を紹介したり、地域のパン屋を取材したりする活動を通して、身近な人々とのかかわりに関心を持ち、適切に行動する。</li> <li>・「自分と社会とのかかわり」については、地域の商店街や図書館などを調べたり、利用したりする活動を通して、集団や社会の一員として自分の役割や行動の仕方について考える。</li> <li>・「自分と自然とのかかわり」については、1年を通じて野外で自然に触れる活動を設定し、草花遊びをしたり、木の実を使った遊びをしたりする活動を通して、自然のすばらしさに気付き、自然を大切に、自分たちの遊びや生活を工夫する。</li> <li>・「自分自身に関すること」については、できるようになったことを考えたり、幼かったころの自分について調べたりする活動を通して、自分のよさや可能性に気付き、意欲と自信をもって生活する。</li> <li>・「学び方に関すること」については、町探検で調べたお店を紹介するポスターを作ったり、自分の成長を巻物にしてまとめたりする活動を通して、気付いたことや楽しかったことを表現し考える。</li> </ul> </li> <li>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、単元での学習の広がりをもつページ「もっとやってみたい」を設けたり、巻末に季節ごとに動植物や町の様子の変化を示す資料「きせつのおくりもの」を掲載したりするなどの工夫をしている。</li> </ul>			
使 用 上 の 配 慮 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 上下巻にオリジナルソングを掲載し、歌に合わせて友達や先生とやりとりしたり（全学年）、単元の導入ページに児童の生活や経験と単元の活動を結び付ける言葉を位置付けたり（全学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</li> <li>○ 各単元をホップ(導入)・ステップ(展開)・ジャンプ(振り返り・発展)の3段階で構成したり（全学年）、ステップの段階に活動を広げるヒントを掲載したり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</li> <li>○ 歌う活動があるページに♪マーク（全学年）や、安全上の注意が必要な場面に！マーク（全学年）を付したり、紙面の配色に配慮したりするなど、使用上の便宜が図られている。</li> </ul>			
そ の 他				

様式 3

番号 観 点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教 科 書 名
取 扱 内 容  各 学 年 の 目 標 、 内 容 等	6 1 ・ 啓林館	第 1 ・ 2 学 年	生活 143 生活 144 生活 145	わくわく せいかつ上 せいかつ たんけんブック いきいき せいかつ下
内 容 の 構 成 、 分 量 等	<p>○ 各学年の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「自分と人々とのかかわり」については、新1年生となる幼児に小学校を紹介したり、地域の菓子店を取材したりする活動を通して、身近な人々とのかかわりに関心をもち、適切に行動する。</li> <li>・ 「自分と社会とのかかわり」については、地域の商店街や図書館などを繰り返し調べたり、利用したりする活動を通して、集団や社会の一員として自分の役割や行動の仕方について考える。</li> <li>・ 「自分と自然とのかかわり」については、同じ公園を季節ごとに繰り返し訪れ、草花遊びをしたり、木の実を使ったおもちゃづくりをする活動を通して、自然のすばらしさに気付き、自然を大切にし、自分たちの遊びや生活を工夫する。</li> <li>・ 「自分自身に関すること」については、できるようになったことを考えたり、幼かったころの自分について調べたりする活動を通して、自分のよさや可能性に気付き、意欲と自信をもって生活する。</li> <li>・ 「学び方に関すること」については、虫について調べたこと壁新聞にまとめたり、複数の意見を付箋紙を使ってまとめたりする活動を通して、気付いたことや楽しかったことを表現し考える。</li> </ul> <p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、野外活動にかかわる内容を別冊「せいかつたんけんブック」にまとめて記載したり、巻末に学習に必要なスキル等をまとめた資料「わくわくずかん」を掲載したりするなどの工夫をしている。</p>			
使 用 上 の 配 慮 等	<p>○ 冬の行事として「さっぽろ雪まつり」を取り上げ、季節ごとの行事に気付かせたり（第2学年）、活動や気付きのヒントをキャラクターの吹き出しや文章で示したり（全学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 各単元を「わくわく」、「いきいき」、「つたえあおう」、「ちゃれんじ」の4段階で構成したり（全学年）、自分の考えや願いを直接書き込むページを設けたり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 巻末の資料や別冊との関連を示すマーク（全学年）や、活動の段階を示すマークを付したり（全学年）、紙面の配色に配慮したりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>			
そ の 他				

様式 3

番号 観 点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教 科 書 名
取 扱 内 容  各 学 年 の 目 標 、 内 容 等	1 1 6 ・ 日 文	第 1 ・ 2 学 年	生 活 146 生 活 147	わたしとせいかつ上 みんな なかよし わたしとせいかつ下 ふれあい だいすき
内 容 の 構 成 、 分 量 等	<p>○ 各学年の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「自分と人々とのかかわり」については、新1年生となる幼児に小学校の様子を伝えたり、地域で働いている人々と交流したりする活動を通して、身近な人々とのかかわりに関心をもち、適切に行動する。</li> <li>・ 「自分と社会とのかかわり」については、地域の商店街や図書館などを調べたり、利用したりする活動を通して、集団や社会の一員として自分の役割や行動の仕方について考える。</li> <li>・ 「自分と自然とのかかわり」については、同じ公園を季節ごとに繰り返し訪れ、草花遊びをしたり、木の実を使ったおもちゃづくりをしたりする活動を通して、自然のすばらしさに気付き、自然を大切に、自分たちの遊びや生活を工夫する。</li> <li>・ 「自分自身に関すること」については、できるようになったことを考えたり、自分や友達のよさを探したりする活動を通して、自分のよさや可能性に気付き、意欲と自信をもって生活する。</li> <li>・ 「学び方に関すること」については、飼育した動物へ手紙を書いたり、自分の成長を巻物にしてまとめたりする活動を通して、気付いたことや楽しかったことを表現し考える。</li> </ul> <p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、単元末に様々な草花遊びをまとめた資料「くさばなあそびずかん」を掲載したり、巻末に季節の行事や世界の料理などをまとめた資料「なんでもずかん」を掲載したりするなどの工夫をしている。</p>			
使 用 上 の 配 慮 等	<p>○ 冬の行事として「くしろふゆまつり」を取り上げ、季節ごとの行事に気付かせたり（第1学年）、同じページの写真・イラスト・絵カードをそれぞれ関連付け、ストーリー性をもたせたり（全学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 次の活動のヒントとなる言葉を吹き出しに示したり（全学年）、単元末に絵カードを整理し、学習を振り返ることができるページを設けたり（第1学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ ページ右下の挿絵で家庭との連携（全学年）や、巻末の資料との関連を示すマークを付したり（全学年）、紙面の配色に配慮したりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>			
そ の 他				



調査研究 ・ 審議の経過	<p>1 審議経過の概要</p> <p>(1) 審議の対象となった発行者名及び数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育出版、教育芸術社の 2 者</li> </ul> <p>(2) 調査研究の手順</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第 1 回調査委員会 (6 月 26 日) で 2 者の教科書を配布し、調査の観点や手順を協議した。</li> <li>・第 2 回調査委員会 (7 月 15 日、16 日) で、各自の調査研究を基に内容別に協議し、様式 1 について整理するとともに、全体を通して各者の特徴をまとめ、様式 2、様式 3 を作成した。</li> </ul> <p>(3) 調査研究のための観点、項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「取扱内容」については、学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等に基づいて取り上げられているか、または、知識・技能の習得、活用、探究に対応できるよう、「共通事項」を取り上げて基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得する活動がどのように取り扱われているか、という視点で調査し整理した。</li> <li>・「内容の構成・排列、分量等」については、内容の構成・排列が、地域の実態や学年の発達の段階等に応じて、系統的・発展的に組織されているか、または、内容の分量が、領域ごとに、全体としてどのようになっているか、という視点で調査し整理した。</li> <li>・「使用上の配慮等」については、児童の学習意欲を高める工夫がされているか、または、自ら課題解決に取り組み、主体的に学習に取り組めるよう工夫されているか、目次、索引、注、諸表など、使用上の便宜は図られているかという視点で調査し整理した。</li> </ul>
全体を通じての特徴	<p>2 審議経過の概要</p> <p>(1) 教出については、第 1 学年の鍵盤ハーモニカの写真が大きく、6 ページにわたっており、指使いが分かりやすく練習しやすい。また、原曲を取り入れたり、透明シートや両開きの折り込みページが大きく鮮明であるという特色がある。</p> <p>主要部分には、「共通事項」を見開きごとに題材名の下に明示するとともに、新出事項、「ふりかえる」、「テントウムシ」等を紙面脇に明示し、児童が主体的に学習できるようになっている。また、巻末に「音楽のもと」が取り入れられているという特色があり、優れている。</p> <p>教芸については、音楽づくりに関する活動が、楽しく取り組みやすい内容で学年の発達の段階に合わせ、無理なく取り組み、第 3 学年以上の教材数も多い。活動のポイントを示すため「ダン」を使用し、児童が主体的に学習したり、巻末に「音楽の歴史をつくった人」を掲載し、児童の学習意欲を高めたりできるようになっている。また、歌唱教材に、道徳と関連した学習ができるよう、我が国や郷土を愛する心を育成する教材が多く取り入れられているという特色があり、優れている。</p> <p>(2) このほか、教出と教芸については、A B 判・ユニバーサルデザイン・再生紙の使用や日本や世界の伝統的な音楽文化の充実、リコーダー運指がページ端に大きく表記されており、見やすく主体的に練習できるような工夫がされている。</p>

## 音楽の目標等について

## 【教科の目標】

表現及び鑑賞の活動を通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育てるとともに、音楽活動の基本的な能力を培い、豊かな情操を養う。

## 【学年・領域等の目標など】

## 〔第1学年及び第2学年〕

- (1) 楽しく音楽にかかわり、音楽に対する興味・関心をもち、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣を育てる。
- (2) 基礎的な表現の能力を育て、音楽表現の楽しさに気付くようにする。
- (3) 様々な音楽に親しむようにし、基礎的な鑑賞の能力を育て、音楽を味わって聴くようにする。

## 〔第3学年及び第4学年〕

- (1) 進んで音楽にかかわり、音楽活動への意欲を高め、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣を育てる。
- (2) 基礎的な表現の能力を伸ばし、音楽表現の楽しさを感じ取るようにする。
- (3) 様々な音楽に親しむようにし、基礎的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽を味わって聴くようにする。

## 〔第5学年及び第6学年〕

- (1) 創造的に音楽にかかわり、音楽活動への意欲を高め、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣を育てる。
- (2) 基礎的な表現の能力を高め、音楽表現の喜びを味わうようにする。
- (3) 様々な音楽に親しむようにし、基礎的な鑑賞の能力を高め、音楽を味わって聴くようにする。

## 【参考】

- 音楽科、芸術科（音楽）については、その課題を踏まえ、音楽のよさや楽しさを感じるとともに、思いや意図をもって表現したり味わって聴いたりする力を育成すること、音楽と生活とのかかわりに関心をもって、生涯にわたり音楽文化に親しむ態度をはぐくむことなどを重視する。
  - このため、子どもの発達の段階に応じて、各学校段階の内容の連続性に配慮し、歌唱、器楽、創作、鑑賞ごとに指導内容を示すとともに、小・中学校においては、音楽に関する用語や記号を音楽活動と関連付けながら理解することなど表現と鑑賞の活動の支えとなる指導内容を〔共通事項〕として示し、音や音楽を知覚し、そのよさや特質を感じ取り、思考・判断する力の育成を一層重視する。
  - 創作活動は、音楽をつくる楽しさを体験させる観点から、小学校では「音楽づくり」、中・高等学校では「創作」として示すようにする。また、鑑賞活動は、音楽の面白さやよさ、美しさを感じ取ることができるようにするとともに、根拠をもって自分なりに批評することのできるような力の育成を図るようにする。
  - 国際社会に生きる日本人としての自覚の育成が求められる中、我が国や郷土の伝統音楽に対する理解を基盤として、我が国の音楽文化に愛着をもつとともに他国の音楽文化を尊重する態度等を養う観点から、学校や学年の段階に応じ、我が国や郷土の伝統音楽の指導が一層充実して行われるようにする。
- 標準授業時数
- |               |               |
|---------------|---------------|
| 第1学年 — 68単位時間 | 第2学年 — 70単位時間 |
| 第3学年 — 60単位時間 | 第4学年 — 60単位時間 |
| 第5学年 — 50単位時間 | 第6学年 — 50単位時間 |

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
観 点	17・教出	第1学年 第2学年 第3学年 第4学年 第5学年 第6学年	音楽131 音楽231 音楽331 音楽431 音楽531 音楽631	小学音楽おんがくのおくりもの1 小学音楽音楽のおくりもの2 小学音楽音楽のおくりもの3 小学音楽音楽のおくりもの4 小学音楽音楽のおくりもの5 小学音楽音楽のおくりもの6
		取 扱 内 容	学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等	○ 歌唱については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 第1,2学年～ 遊びながら体を動かして歌ったり、歌詞の表す情景や気持ちを想像しながら楽曲の気分を感じ取ったりする活動を通して、基礎的な表現の能力を身に付け、音楽表現の楽しさに気付く。 第3,4学年～ 子どもが思いや意図をもって歌ったり、音色や旋律の特徴を生かした表現を工夫したりする活動を通して、基礎的な表現の能力を伸ばし、音楽表現の楽しさを感じ取る。 第5,6学年～ 旋律が重なり合った響きの美しさを感じ取ったり、歌詞の内容、曲想を生かした表現を工夫したりする活動を通して、基礎的な表現の能力を高め、音楽表現の喜びを味わう。
○ 音楽づくりについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 第1,2学年～ 声や、身の回りの音を使って音遊びをしたり、鍵盤ハーモニカを用いて簡単な音楽づくりを楽しんだりする活動を通して、基礎的な表現の能力を身に付け、音楽表現の楽しさに気付く。 第3,4学年～ 楽器や声のいろいろな音の響きやその組合せを楽しんだり、様々な発想をもって即興的に表現したりする活動を通して、基礎的な表現の能力を伸ばし、音楽表現の楽しさを感じ取る。 第5,6学年～ 音楽の仕組みを生かしながらかつくる音楽の形や方法を考えたり、まとまりのある音楽をつくらしたりする活動を通して、基礎的な表現の能力を高め、音楽表現の喜びを味わう。	○ 鑑賞については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 第1,2学年～ 楽曲の気分を感じ取ったり、音楽を形づくっている要素のかかわり合いを感じ取ったりしながら聴く活動を通して、様々な音楽に親しみ、基礎的な鑑賞の能力を身に付け、音楽を味わって聴く。 第3,4学年～ 曲想とその変化を感じ取ったり、楽曲の構造に気を付けて聴いたりしながら感受したことを書く活動を通して、様々な音楽に親しみ、基礎的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽を味わって聴く。 第5,6学年～ 曲想とその変化などの特徴を感じ取ったり、楽曲の構造を理解して聴いたりしながら書く活動を通して、様々な音楽に親しみ、基礎的な鑑賞の能力を高め、音楽を味わって聴く。			
		○ [共通事項]については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1,2学年～ 体を動かして拍の流れにのって歌ったり、様子を思い浮かべて楽曲を聴いたりする活動を通して、音楽を形づくっている要素が生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取る。 第3,4学年～ 旋律の特徴を生かして演奏したり、曲の流れを感じ取って聞いたりする活動を通して、音楽を形づくっている要素が生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取る。 第5,6学年～ 楽曲を理解して表現を工夫して演奏したり、楽器の音色を味わって聴いたりする活動を通して、音楽を形づくっている要素が生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取る。		



	<p>○ 知識・技能の習得、活用、探求への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～ 図形化した音符や休符を見ながらリズム打ちをしたり、歌に合う打楽器を選んで打ち方を工夫したりするなど、各ページに示された〔共通事項〕を取り上げて基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得する活動</p> <p>第3,4学年～ 図形化した旋律を見ながら鑑賞したり、感じ取った音楽を形づくっている要素を記入したりするなど、各ページに示された〔共通事項〕を取り上げて基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得する活動</p> <p>第5,6学年～ 楽器群ごとに色分けした楽譜を見ながら音色に着目して鑑賞したり、感じ取った音楽を形づくっている要素を記入したりするなど、〔共通事項〕を取り上げて基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得する活動</p>
<p>内容の構成・排列、分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1,2学年～ 歌唱や器楽、音遊びを通して様々な音を感じ取る学習の後に、音楽の面白さを見つけながら工夫して演奏したり、聴いたりする学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第3,4学年～ 歌唱や器楽、鑑賞を通して、〔共通事項〕に気付く学習の後に、様々な音楽のよさを感じ取って特徴を生かして表現する学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第5,6学年～ 歌唱や器楽、鑑賞を通して、〔共通事項〕を感じ取る力を身に付ける学習の後に、言葉と音楽とのかかわりなどを理解し、音楽表現を深める学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第1学年～ 歌唱の教材数は42、器楽の教材数は13、音楽づくりの教材数は8、鑑賞の教材数は13であり、総ページ数は72ページで、前回より約3パーセント増となっている。</p> <p>第2学年～ 歌唱の教材数は36、器楽の教材数は17、音楽づくりの教材数は7、鑑賞の教材数は19であり、総ページ数は72ページで、前回より約3パーセント増となっている。</p> <p>第3学年～ 歌唱の教材数は30、器楽の教材数は20、音楽づくりの教材数は3、鑑賞の教材数は18であり、総ページ数は74ページで、前回より約6パーセント増となっている。</p> <p>第4学年～ 歌唱の教材数は30、器楽の教材数は16、音楽づくりの教材数は4、鑑賞の教材数は40であり、総ページ数は78ページで、前回より約11パーセント増となっている。</p> <p>第5学年～ 歌唱の教材数は31、器楽の教材数は15、音楽づくりの教材数は3、鑑賞の教材数は72であり、総ページ数は78ページで、前回より約11パーセント増となっている。</p> <p>第6学年～ 歌唱の教材数は28、器楽の教材数は14、音楽づくりの教材数は3、鑑賞の教材数は9であり、総ページ数は78ページで、前回より約11パーセント増となっている。</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 巻頭に「音楽家からのメッセージ」（第4～6学年）や巻末に豊富な資料を掲載したり（全学年）、北海道民謡の「ソーラン節」を歌唱と器楽の教材として取り上げたり（第4学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 目次の主要教材ごとに「学習のねらい」や〔共通事項〕（葉のマーク）を示したり（全学年）、「テントウ虫のマーク」により活動のポイントを示したり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 「音楽のもと・まとめ」に各学年で学習した〔共通事項〕（全学年）や、巻末の折り込みページに「リコーダーの運指表」と音符・休符、記号などを掲載したり（第3～6学年）、イラストの配色や囲みの形状を工夫したりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>その他</p>	

番号  観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
観点	27・教芸	第1学年 第2学年 第3学年 第4学年 第5学年 第6学年	音楽132 音楽232 音楽332 音楽432 音楽532 音楽632	小学生のおんがく 1 小学生の音楽 2 小学生の音楽 3 小学生の音楽 4 小学生の音楽 5 小学生の音楽 6
		取扱内容	学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等	<p>○ 歌唱については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1,2学年～ 遊びながら拍を感じて体を動かして歌ったり、歌詞の表す情景や気持ちを想像しながら歌ったりする活動を通して、基礎的な表現の能力を身に付け、音楽表現の楽しさに気付く。</p> <p>第3,4学年～ 重なり合う響きを感じ取ったり、旋律の特徴を感じ取って曲の感じを生かした表現を工夫したりする活動を通して、基礎的な表現の能力を伸ばし、音楽表現の楽しさを感じ取る。</p> <p>第5,6学年～ 歌声が重なり合う響きを感じ取ったり、曲想を味わいながら旋律の特徴を生かした表現を工夫したりする活動を通して、基礎的な表現の能力を高め、音楽表現の喜びを味わう。</p>
取扱内容	学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等			<p>○ 音楽づくりについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1,2学年～ リズムに合う言葉を探して言葉遊びをしたり、打楽器を用いて様子を音楽で表す音遊びを楽しんだりする活動を通して、基礎的な表現の能力を身に付け、音楽表現の楽しさに気付く。</p> <p>第3,4学年～ 和太鼓やリコーダーを用いてお囃子の旋律をつくったり、打楽器の音を組み合わせる音楽づくりをしたりする活動を通して、基礎的な表現の能力を伸ばし、音楽表現の楽しさを感じ取る。</p> <p>第5,6学年～ 音楽の仕組みを生かしながらリズムを工夫したり、曲のまとまりに気を付けながら旋律をつくったりする活動を通して、基礎的な表現の能力を高め、音楽表現の喜びを味わう。</p>
		取扱内容	学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等	<p>○ [共通事項]については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～ リズムや音階を感じながら演奏したり、様子を思い浮かべて楽曲を聴いたりする活動を通して、音楽を形づくっている要素が生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取る。</p> <p>第3,4学年～ 拍の流れや旋律を感じて演奏したり、楽曲の特徴を感じ取って聴いたりする活動を通して、音楽を形づくっている要素が生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取る。</p> <p>第5,6学年～ 和音の移り変わりを感じて演奏したり、曲想の移り変わりを感じて聴いたりする活動を通して、音楽を形づくっている要素が生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取る。</p>

	<p>○ 知識・技能の習得、活用、探求への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1,2学年～ 図形化した音符や休符を見ながらリズム打ちをしたり、「こころのうた」のページに示された学習内容に気を付けて歌唱したりするなど、〔共通事項〕を取り上げて基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得する活動</p> <p>第3,4学年～ 歌唱教材で学習した音楽の仕組みを利用して音楽づくりをしたり、「こころのうた」に示された音楽の要素を理解したりするなど、〔共通事項〕を取り上げて基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得する活動</p> <p>第5,6学年～ 「音楽の歴史をつくった人」に示された楽曲の特徴を生かしたり、「こころのうた」に示された音楽の要素の理解を深めたりするなど、〔共通事項〕を取り上げて基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得する活動</p>
<p>内容の構成・排列、分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1,2学年～ 拍の流れや拍にのったリズムを感じ取る学習の後に、拍の流れや拍にのったリズムに着目して表現を工夫したり、聴いたりする学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第3,4学年～ 階名唱を通して音程感を身に付けながら〔共通事項〕に気付く学習の後に、合唱やアンサンブルを通して音の重なりを感じ取る学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第5,6学年～ 音楽の特徴や〔共通事項〕を感じ取る力を身に付ける学習の後に、多様な音楽の魅力を味わいながら自分たちの音楽表現を深める学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第1学年～ 歌唱の教材数は39、器楽の教材数は12、音楽づくりの教材数は5、鑑賞の教材数は8であり、総ページ数は75ページで、前回より約4パーセント増となっている。</p> <p>第2学年～ 歌唱の教材数は34、器楽の教材数は13、音楽づくりの教材数は5、鑑賞の教材数は10であり、総ページ数は75ページで、前回より約4パーセント増となっている。</p> <p>第3学年～ 歌唱の教材数は24、器楽の教材数は17、音楽づくりの教材数は4、鑑賞の教材数は32であり、総ページ数は75ページで、前回より約4パーセント増となっている。</p> <p>第4学年～ 歌唱の教材数は26、器楽の教材数は14、音楽づくりの教材数は4、鑑賞の教材数は53であり、総ページ数は75ページで、前回より約4パーセント増となっている。</p> <p>第5学年～ 歌唱の教材数は27、器楽の教材数は10、音楽づくりの教材数は2、鑑賞の教材数は11であり、総ページ数は75ページで、前回より約4パーセント増となっている。</p> <p>第6学年～ 歌唱の教材数は25、器楽の教材数は8、音楽づくりの教材数は2、鑑賞の教材数は12であり、総ページ数は75ページで、前回より約4パーセント増となっている。</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 巻頭に「音楽ブリズム」(第3から6学年)や巻末に「音楽の歴史を作った人」を位置付けたり(第3～6学年)、北海道民謡の「ソーラン節」を鑑賞教材とし取り上げたり(第4学年)するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 目次の主要教材ごとにねらいに迫るための具体的な学習目標を示したり(全学年)、キャラクターの吹き出しにより活動のヒントを示したり(全学年)するなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 「鍵盤楽器の指使い」(第1～3学年)や「リコーダーの運指表」(第3～6学年)をイラストや写真で示したり、その学年で押さえておきたい重要な学習内容を「ふりかえりのページ」として位置付けたり(全学年)するなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>その他</p>	



<p>調 査 研 究  審 議 の 経 過</p>	<p>1 審議経過の概要</p> <p>(1) 審議の対象となった発行者名及び数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開隆堂、日本文教出版の 2 者</li> </ul> <p>(2) 調査研究の手順</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第 1 回調査委員会（6 月 2 6 日）で 2 者の教科書を配布し、調査の観点や手順を協議した。</li> <li>・第 2 回調査委員会（7 月 1 5 日、1 6 日）に、各自の調査研究を基に内容別に協議し、様式 1 について整理するとともに、全体を通して各者の特徴をまとめ様式 2、様式 3 を作成した。</li> </ul> <p>(3) 調査研究のための観点、項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取り扱い内容については、学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容に基づいて取り上げられているかという視点で調査し整理した。また、技能の習得、活用に対応できるような表現、鑑賞の内容、他教科と関連する内容、実生活・実社会に関する内容がどのように取り扱われているかという視点で調査し整理した。</li> <li>・内容の程度・排列・分量等については、地域の実態や学年の発達段階等に応じて系統的、発展的に組織されているかという視点で調査し整理した。</li> <li>・使用上の配慮等については、児童の学習意欲を高めるような工夫がなされているか、自ら題材に取り組み、主体的に学習に取り組めるような工夫がなされているか、目次、索引、注、写真やイラストなど、使用上の便宜は図られているかという視点で調査し整理した。</li> </ul>
<p>全 体 を 通 じ て の 特 徴</p>	<p>2 審議経過の概要</p> <p>(1) 開隆堂については、巻頭の目次にその教科書に収められている全ての題材名、内容、使用する主な用具・材料を一覧表示するという特色があり、優れている。日本文教出版については、幼稚園・保育所や中学校との関連を考え、学習活動の内容に配慮した題材構成されているという特色があり、優れている。2 者とも、わが国の伝統文化に関する内容や鑑賞作品を取り上げるという特色があり、優れている。</p> <p>(2) このほか、開隆堂、日本文教出版については、題材数が豊富であることに加え、液体粘土などの新しい素材が扱われており、今後の評価方法にも留意が必要であるなどの話題も出されていた。</p>

図画工作の目標等について

【教科の目標】

表現及び鑑賞の活動を通して、感性を働かせながら、つくりだす喜びを味わうようにするとともに、造形的な創造活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養う。

【学年・領域等の目標など】

[第1学年及び第2学年]

- (1) 進んで表したり見たりする態度を育てるとともに、つくりだす喜びを味わうようにする。
- (2) 造形活動を楽しみ、豊かな発想をするなどして、体全体の感覚や技能などを働かせるようにする。
- (3) 身の回りの作品などから、面白さや楽しさを感じ取るようにする。

[第3学年及び第4学年]

- (1) 進んで表現したり鑑賞したりする態度を育てるとともに、つくりだす喜びを味わうようにする。
- (2) 材料などから豊かな発想をし、手や体全体を十分に働かせ、表し方を工夫し、造形的な能力を伸ばすようにする。
- (3) 身近にある作品などから、よさや面白さを感じ取るようにする。

[第5学年及び第6学年]

- (1) 創造的に表現したり鑑賞したりする態度を育てるとともに、つくりだす喜びを味わうようにする。
- (2) 材料などの特徴をとらえ、想像力を働かせて発想し、主題の表し方を構想するとともに、様々な表し方を工夫し、造形的な能力を高めるようにする。
- (3) 親しみのある作品などから、よさや美しさを感じ取るとともに、それらを大切にするようにする。

【参考】

- 図画工作科、美術科、芸術科（美術、工芸）については、その課題を踏まえ、創造することの楽しさを感じるとともに、思考・判断し、表現するなどの造形的な創造活動の基礎的な能力を育てること、生活の中の造形や美術の働き、美術文化に関心をもって、生涯にわたり主体的にかかわっていく態度をはぐくむことなどを重視する。
  - このため、子どもの発達の段階に応じて、各学校段階の内容の連続性に配慮し、育成する資質や能力と学習内容との関連を明確にするとともに、小学校図画工作科、中学校美術科において領域や項目などを通して共通に働く資質や能力を整理し、〔共通事項〕として示す。
  - 創造性をはぐくむ造形体験の充実を図りながら、形や色などによるコミュニケーションを通して、生活や社会と豊かにかかわる態度をはぐくみ、生活を美しく豊かにする造形や美術の働きを実感させるような指導を重視する。
  - よさや美しさを鑑賞する喜びを味わうようにするとともに、感じ取る力や思考する力を一層豊かに育てるために、自分の思いを語り合ったり、自分の価値意識をもって批評し合ったりするなど、鑑賞の指導を重視する。
  - 美術文化の継承と創造への関心を高めるために、作品などのよさや美しさを主体的に味わう活動や、我が国の美術や文化に関する指導を一層充実する。
- 標準授業時数
- |             |             |
|-------------|-------------|
| 第1学年－68単位時間 | 第2学年－70単位時間 |
| 第3学年－60単位時間 | 第4学年－60単位時間 |
| 第5学年－50単位時間 | 第6学年－50単位時間 |

様式 3

番号  観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
取扱内容  各学年の目標、内容等	9・開隆堂	第1, 2学年 第3, 4学年 第5, 6学年	図工131, 図工132 図工331, 図工332 図工531, 図工532	すがこうさく1・2上わくわくするね、すがこうさく1・2下みんなおいでよ 図画工作3・4上 できたらいいな、図画工作3・4下 思いをこめて 図画工作5・6上 心をつないで、図画工作5・6下 ゆめを広げて
<p>○ 材料を基に造形遊びをする活動については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1, 2学年～ 木の草をちぎり、石を並べるなど、自然物を操作したり、紙パックなどをちぎってつなげたりする活動を通して、進んで表す態度を身に付け、つくり出す喜びを味わう。</p> <p>第3, 4学年～ 身近な場所に新聞紙などをつないだり、自分たちの好きな場所をビニルシートやテープなどを使って囲んだりする活動を通して、進んで表現する態度を身に付け、つくり出す喜びを味わう。</p> <p>第5, 6学年～ 身近な自然環境で枝や葉を用いて景色を変えたり、光や影の特徴を生かし、色などの美しさを味わったりする活動を通して、創造的に表現する態度を身に付け、つくり出す喜びを味わう。</p> <p>○ 表したいことを絵や立体、工作に表す活動については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1, 2学年～ 空き箱を用いて、家や町をつくったり、インクをつけたローラーを転がしてできた形を基に絵を描いたりする活動を通して、進んで表す態度を身に付け、つくり出す喜びを味わう。</p> <p>第3, 4学年～ 箱の中に思い付いた物語の世界を表したり、色づくりや筆使いなどを工夫して、気に入った木を描いたりする活動を通して、進んで表現する態度を身に付け、つくり出す喜びを味わう。</p> <p>第5, 6学年～ 曲線切りした板を組み合わせてパズルをつくったり、墨の濃さを変えながら思いのままに描いたりする活動を通して、創造的に表現する態度を身に付け、つくり出す喜びを味わう。</p> <p>○ 作品などを鑑賞する活動については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1, 2学年～ 型押しやこすり出しなどでつくった互いの作品を見たり、カッターナイフで紙の切り方を工夫してつくったタワーの色や形のよさを見つけたりする活動を通して、面白さや楽しさを感じ取る。</p> <p>第3, 4学年～ 身近にある材料のさわり心地の違いを見つけ、友達と交流したり、造形カードを作成して、互いのイメージや感じ方の違いを味わったりする活動を通して、よさや面白さを感じ取る。</p> <p>第5, 6学年～ 擬態の動物をつかって身近な場所に飾り、その場所の特徴を話し合ったり、美術作品を見て、グループで見つけたことや想像したことを発表したりする活動を通して、よさや美しさを感じ取る。</p> <p>○ [共通事項] については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1, 2学年～ 好きな形に目や手足を付けてマークをつくったり、いろいろな色と形のものを集め、並べ方を工夫して飾りをつくったりする活動を通して、形や色などを基に、自分のイメージをもつ。</p> <p>第3, 4学年～ 絵の具を練り込んだ紙粘土で楽しい形の生活に使えるものをつくったり、絵の具を混ぜて同じ仲間の色を分類してイメージを広げたりする活動を通して、形や色などの感じを基に、自分のイメージをもつ。</p> <p>第5, 6学年～ 色と形を工夫して自分のマークを作成し、重ねたり、接写した写真の色や形からイメージを膨らませたりする活動を通して、形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつ。</p>				

	<p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1, 2学年～ はさみやのりを使って紙を切る、貼るなどして教室を飾る物をつくったり、クレヨンやパスで着色した部分をこすり、ぼかしの効果を生かした絵を描いたりするなど、技能を活用する活動</p> <p>第3, 4学年～ 水彩絵の具のパレットや水加減について学習し、いろいろな線を描いたり、のこぎりを使って角材を切り、釘を打って木片を組み合わせたるなど、技能を活用する活動</p> <p>第5, 6学年～ 液体粘土と布でできた凹凸のある画面に楽しい絵を描いたり、これまでに経験したいろいろな方法を使ってスチレンボードへの版の表し方を工夫したりするなど、技能を活用する活動</p>
<p>内容の構成・排列、分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1, 2学年～ 型押しとこすり出し、土や砂の造形遊びと色水の造形遊びなど、材料や方法などについて、学校や地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるよう構成し、発展的に学習できるような工夫</p> <p>第3, 4学年～ 光と影の飾りづくりや牛乳パックなどの様々な材料の工作、板や紙など、材料や方法などについて、学校や地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるよう構成し、発展的に学習できるような工夫</p> <p>第5, 6学年～ アルミ針金や紙バンドなどの線材、組み木パズルと動くおもちゃなど、材料や方法などについて、学校や地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるよう構成し、発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。(※ 判型をA4判に変更)</p> <p>第1, 2学年～ 「材料を基に造形遊びをする活動」が10ページ、「表したいことを絵や立体、工作に表す活動」が63ページ、作品などを鑑賞する活動が24ページであり、総ページは90ページで、前回より約5パーセント増となっている。</p> <p>第3, 4学年～ 「材料を基に造形遊びをする活動」が7ページ、「表したいことを絵や立体、工作に表す活動」が63ページ、作品などを鑑賞する活動が16ページであり、総ページは90ページで、前回より約5パーセント増となっている。</p> <p>第5, 6学年～ 「材料を基に造形遊びをする活動」が5ページ、「表したいことを絵や立体、工作に表す活動」が67ページ、作品などを鑑賞する活動が19ページであり、総ページは94ページで、前回より約9パーセント増となっている。</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 各巻の巻頭に「小さな美術館」と「ゆめをかたちに」を設け、児童の興味・関心に合わせた作品を掲載したり（全学年）、作家の作品とメッセージを掲載したり（全学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 安全、後片付け、必要な知識・技能や材料など周知させたい基礎的・基本的な内容を示したり（全学年）、授業の振り返りを囲みで示したり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 巻末に、造形活動に必要な知識や技法、道具の使い方などを示した「道具箱（どうぐばこ）・パレットコーナー」（全学年）や、題材ごとに培いたい力を示すマーク（全学年）を掲載したり、紙面全体の配色や写真の配置を工夫したりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>その他</p>	

様式3

番号  観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
<p>取扱内容</p> <p>各学年の目標、内容等</p> <p>学習指導要領の総則及び各教科、</p>	116・日文	第1, 2学年 第3, 4学年 第5, 6学年	図工133, 図工134 図工333, 図工334 図工533, 図工534	ずがこうさく 1・2上のいな おもしろいな、ずがこうさく1・2下のいな おもしろいな 図画工作3・4上 見つけたよ ためたよ、図画工作3・4下 見つけたよ ためたよ 図画工作5・6上 見つめて 広げて、図画工作5・6下見つめて 広げて
<p>○ 材料を基に造形遊びをする活動については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1, 2学年～ 砂を型に取って並べ、土の塊を積んだり、紙を切って長くつなぎ、上からつるしたりする活動を通して、進んで表す態度を身に付け、つくり出す喜びを味わう。</p> <p>第3, 4学年～ 身近な場所で雪やプラスチック容器などの自然や人工の材料を用いて構成したり、自分の好きな場所を多様な材料で変身させたりする活動を通して、進んで表現する態度を身に付け、つくり出す喜びを味わう。</p> <p>第5, 6学年～ 身近な場所の特徴を生かして空間を変身させたり、風や水の動きとその効果を考えて美しい空間を構成したりする活動を通して、創造的に表現する態度を身に付け、つくり出す喜びを味わう。</p> <p>○ 表したいことを絵や立体、工作に表す活動については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1, 2学年～ 生活の中で思い出に残っていることを絵に描いたり、お話や仕組みを考えてすごろくなどの楽しく遊べるものをつくったりする活動を通して、進んで表す態度を身に付け、つくり出す喜びを味わう。</p> <p>第3, 4学年～ 金づちを使って釘を打ち、楽しいものをつくったり、心に残った出来事をそのときの気持ちが伝わるように描いたりする活動を通して、進んで表現する態度を身に付け、つくり出す喜びを味わう。</p> <p>第5, 6学年～ 心に残っている場所や出来事を描いたり、板材の特徴を生かして生活の中で使えるものをつくったりする活動を通して、創造的に表現する態度を身に付け、つくり出す喜びを味わう。</p> <p>○ 作品などを鑑賞する活動については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1, 2学年～ 身近なものの感触を確かめ、凹凸を粘土で写し取ったり、お気に入りのきれいなものなどを並べて飾ったりする活動を通して、面白さや楽しさを感じ取る。</p> <p>第3, 4学年～ お気に入りの場所に自分の写真を飾って見ることで、その場所のよさを見つけたり、美術作品の人物の動作を真似て感じたことを友達と交流したりする活動を通して、よさや面白さを感じ取る。</p> <p>第5, 6学年～ 美術作品やいろいろな模様をカードにして友達と話し合ったり、日本の伝統的な美術に触れて、生活を豊かにする工夫を味わったりする活動を通して、よさや美しさを感じ取る。</p> <p>○ [共通事項] については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1, 2学年～ 紙を切る、ちぎるなどして生まれた形を基に思い付いて描いたり、カラーフィルムなどを透過させ楽しい形や色の光を地面などに映したりする活動を通して、形や色などを基に、自分のイメージをもつ。</p> <p>第3, 4学年～ 一筆で描いた線の形の面白さを生かし、自分の好きな色をつかって塗ったり、光にいろいろなものを当てて影を映し、楽しい影の形に表したりする活動を通して、形や色などの感じを基に、自分のイメージをもつ。</p> <p>第5, 6学年～ 自分の気持ちを表す形を見つけ、感じたことを表現したり、液体粘土で布を瞬間的に固めた形から想像を広げて表したりする活動を通して、形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつ。</p>				



	<p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1, 2学年～ 紙の切り方を工夫した楽しい飾りをつくって教室を飾ったり、切った紙の形を基に紙の置き方を考えて台紙に貼り、絵に表したりするなど、技能を活用する活動</p> <p>第3, 4学年～ 折る、まるめるなどして立たせた紙の形を生かしてその紙に絵を描いたり、木切れや板をのこぎりで切っているいろいろなものをつくったりするなど、技能を活用する活動</p> <p>第5, 6学年～ 割りピンで動く絵を少しずつ動かしてデジタルカメラで撮影し、アニメーションをつくったり、絵を描いて開いた傘の形や色を生かし、空間を飾ったりするなど、技能を活用する活動</p>
<p>内容の構成・排列、分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1, 2学年～ 土と粘土、紙版画と型紙で写すなど、材料や方法などについて、学校や地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるよう構成し、発展的に学習できるような工夫</p> <p>第3, 4学年～ ボール紙と段ボール、透明シートと新聞紙など、材料や方法などについて、学校や地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるよう構成し、発展的に学習できるような工夫</p> <p>第5, 6学年～ ビー玉の迷路とパズル、紙バンドと毛糸、布テープなど、材料や方法などについて、学校や地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるよう構成し、発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第1, 2学年～ 「材料を基に造形遊びをする活動」が16ページ、「表したいことを絵や立体、工作に表す活動」が72ページ、作品などを鑑賞する活動が24ページであり、総ページは114ページで、前回より約33パーセント増となっている。</p> <p>第3, 4学年～ 「材料を基に造形遊びをする活動」が16ページ、「表したいことを絵や立体、工作に表す活動」が72ページ、作品などを鑑賞する活動が28ページであり、総ページは114ページで、前回より約33パーセント増となっている。</p> <p>第5, 6学年～ 「材料を基に造形遊びをする活動」が8ページ、「表したいことを絵や立体、工作に表す活動」が68ページ、作品などを鑑賞する活動が36ページであり、総ページは114ページで、前回より約33パーセント増となっている。</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 生活の中にある形や色のよさや美しさを味わう「ぞうけいのもり」を掲載したり（全学年）、児童が自由にイメージを広げる「図画工作の広がり」を掲載したり（3, 4年、5, 6年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 児童が発想や鑑賞する際の視点を吹き出しなどで表したり（全学年）、表現の工夫や、振り返りを示す囲みを掲載したり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 巻末に、授業で扱う材料や用具について説明する「使ってみよう材料と用具（つかってみようざいりょうとようぐ）」（全学年）や、各題材のページ横に使用する主な用具を示すマーク（全学年）を掲載したり、紙面のデザインや文字の色を工夫したりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>その他</p>	

様式 1

教科用図書第 3 採択地区調査委員会

( 家 庭 ) 小委員会委員長

坂 本 景 子

印

調 査 研 究	<p>1 審議経過の概要</p> <p>(1) 審議の対象となった発行者名及び数</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・東京書籍、開隆堂の 2 者</li></ul> <p>(2) 調査結果の手順</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・第 1 回調査委員会 (6 月 26 日) で 2 者の教科書を配布し、調査の観点や手順を協議した。</li><li>・第 2 回調査委員会 (7 月 15 日、16 日) に、各自の調査研究を基に内容別に協議し、様式 1 について整理するとともに、全体を通して各者の特徴をまとめ、様式 2、様式 3 を作成した。</li></ul> <p>(3) 調査研究のための観点、項目</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・取扱内容については、学習指導要領の目標、内容等に基づいて取り上げられているか、また知識・技能の習得、活用、探求に対応できる内容などがどのように取り扱われているかという視点で調査し整理した。</li><li>・内容の程度・排列・分量等については、児童の発達の段階に応じて、系統的・発展的に組織され、領域等ごと、全体としてどのようになっているかという視点で調査し整理した。</li><li>・使用上の配慮等については、児童の学習意欲を高める工夫、主体的に学習に取り組める工夫、目次、索引、注、諸表など、使用上の便宜は図られているかという視点で調査し整理した。</li></ul>
全 体 を 通 じ て の 特 徴	<p>2 審議経過の概要</p> <p>(1) 東京書籍については、全ての学習項目を問題解決の流れに沿った課題発見、課題解決、活用の 3 ステップで展開することで学習内容が確実に身に付くようにするという特色があり、優れている。</p> <p>開隆堂については、基礎・基本がしっかり身に付くように題材を細かく構成、排列することで学習を積み上げ、応用させるとともに、生活に生かしていく力が身に付くようにしている特色があり、優れている。</p> <p>(2) このほか、東京書籍と開隆堂については、今日的な課題として防災教育に関する特集や言語力を育てる工夫がされているなどの話題も出されていた。</p>

家庭科の目標等について
<p><b>【教科の目標】</b></p> <p>衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けるとともに、家庭生活を大切にする心情をはぐくみ、家族の一員として生活をよりよくしようとする実践的な態度を育てる。</p>
<p><b>【学年・領域等の目標など】</b></p> <p>[第5学年及び第6学年]</p> <p>(1) 衣食住や家族の生活などに関する実践的・体験的な活動を通して、自分の成長を自覚するとともに、家庭生活への関心を高め、その大切さに気付くようにする。</p> <p>(2) 日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、身近な生活に活用できるようにする。</p> <p>(3) 自分と家族などとのかかわりを考えて実践する喜びを味わい、家庭生活をよりよくしようとする実践的な態度を育てる。</p>

**【参考】**

- 家庭科、技術・家庭科については、その課題を踏まえ、実践的・体験的な学習活動を通して、家族と家庭の役割、生活に必要な衣、食、住、情報、産業等についての基礎的な理解と技能を養うとともに、それらを活用して課題を解決するために工夫し創造できる能力と実践的な態度の育成を一層重視する観点から、その内容の改善を図る。

その際、他教科等との連携を図り、社会において子どもたちが自立的に生きる基礎を培うことを特に重視する。

- (ア) 家庭科については、自己と家庭、家庭と社会とのつながりを重視し、生涯の見通しをもって、よりよい生活を送るための能力と実践的な態度を育成する観点から、子どもたちの発達の段階を踏まえ、学校段階に応じた体系的な目標や内容の改善を図る。

- 社会の変化に対応し、次のような改善を図る。

- (ア) 少子高齢化や家庭の機能が十分に果たされていないといった状況に対応し、家族と家庭に関する教育と子育て理解のための体験や高齢者との交流を重視する。

心身ともに健康で安全な食生活のための食育の推進を図るため、食事の役割や栄養・調理に関する内容を一層充実するとともに、社会において主体的に生きる消費者をはぐくむ視点から、消費の在り方及び資源や環境に配慮したライフスタイルの確立を目指す指導を充実する。

- 体験から、知識と技術などを獲得し、基本的な概念などの理解を深め、実際に活用する能力と態度を育成するために、実践的・体験的な学習活動をより一層重視する。また、知識と技術などを活用して、学習や実際の生活において課題を発見し解決できる能力を育成するために、自ら課題を見出し解決を図る問題解決的な学習をより一層充実する。

- 家庭・地域社会との連携という視点を踏まえつつ、学校における学習と家庭や社会における実践と結び付きに留意して内容の改善を図る。

- 標準授業時数

第5学年－60単位時間

第6学年－55単位時間

様式 3

番号 観 点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
取扱 内容  各 学 年 の 目 標 、 内 容 等	2・東書	第5, 6学年	家庭 531	新編 新しい家庭 5・6
内 容 の 構 成 ・ 排 列	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「A家庭生活と家族」については、第5学年において団らんのための仕事をしたり、家庭生活を工夫したりする活動や、第6学年において生活時間を工夫したり、家族の一員として家庭や地域でできることを考えたりする活動を通して、家庭生活を支えているものを理解し、家庭生活の大切さに気付く。</li> <li>・「B日常の食事と調理の基礎」については、第5学年において「カラフルコンビネーションサラダ」やご飯とみそ汁をつくる活動や、第6学年において栄養のバランスのよい朝食のおかずをつくったり、家族が喜ぶ一食分の献立を考えたりする活動を通して、食生活にかかわる基礎的・基本的な知識及び技能を身に付ける。</li> <li>・「C快適な衣服と住まい」については、第5学年において「小物入れ」や「ウォールポケット」を製作したり、掃除したりする活動や、第6学年において洗濯などの衣服の手入れをしたり、冬を快適に過ごす工夫を考えたりする活動を通して、衣生活や住生活にかかわる基礎的・基本的な知識及び技能を身に付ける。</li> <li>・「D身近な消費生活と環境」については、第5学年においてノートの買い方を考える活動や、第5、6学年において、衣食住の生活と関連させた環境を大切にする工夫を考える活動を通して、物の選び方や金銭の使い方、環境に配慮した生活の仕方についての関心を高め、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付ける。</li> </ul> </li> <li>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、「カラフルコンビネーションサラダ」「ウォールポケット」など、調理や製作の基礎的・基本的な知識・技能を習得させる実習題材や、「家族が喜ぶ食事をつくろう」「トートバックをつくろう」など、実生活に活用できる具体的な活動例が取り上げられている。</li> </ul>			
使 用 上 の 配 慮 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 内容の構成・排列については、学習内容を14の大題材（42の小題材）で構成するとともに、「だんらんのための仕事」や「手ぬいで生活を楽しくする小物の製作」などの基礎的な学習をした後に、「家族が喜ぶ食事づくり」や「生活に役立つ布製品の製作」などの基礎的・基本的な知識及び技能の活用を図る学習を取り扱い、2年間を通して系統的・発展的に学習することができる工夫がなされている。</li> <li>○ 内容の分量については、「A家庭生活と家族」は19ページ、「B日常の食事と調理の基礎」は42ページ、「C快適な衣服と住まい」は59ページ、「D身近な消費生活と環境」は11ページであり、総ページ数は130ページで、前回より約15パーセント増となっている。（B5版からAB版に変更）</li> <li>○ 写真、挿絵、マーク、コラム欄などを効果的に配置することによって興味・関心を持たせたり、学習のめあてやワークシートを掲載し学習活動を促したりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</li> <li>○ 生活経験の有無にかかわらず誰もが課題意識をもつことができる「D o ! 活動」を提示して問題解決的な学習を促したり、「自由研究」を示し、長期休業中における家庭と連携を図った活動を促したりするなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</li> <li>○ 字体や配色を工夫するとともに、2年間の学習の見通しや振り返りに活用するため巻頭に「家庭科を学ぼう」「成長の記録」、巻末に「これからの私たち」を掲載したり、実習、実験における安全や衛生に留意しながら学習を進めるため「安全」マークを示したりするなど、使用上の便宜が図られている。</li> </ul>			
その他				

様式 3

番号 観 点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
取 扱 内 容  各 学 年 の 目 標 、 内 容 等	9・開隆堂	第5・6学年	家庭 532	小学校 わたしたちの家庭科5・6
内 容 の 構 成 ・ 排 列 、	<p>○ 各学年の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「A家庭生活と家族」については、第5学年において家族に協力して仕事をしたり、団らんを工夫したりする活動や、第6学年において生活時間を工夫したり、家庭や地域で共に生きるために自分ができることを考えたりする活動を通して、家庭生活を支えているものを理解し、家庭生活の大切さに気付く。</li> <li>・「B日常の食事と調理の基礎」については、第5学年において「カラフルゆで野菜サラダ」やご飯とみそ汁をつくる活動や、第6学年において朝食に合うおかずをつくったり、栄養のバランスのよい一食分の献立を考えたりする活動を通して、食生活にかかわる基礎的・基本的な知識及び技能を身に付ける。</li> <li>・「C快適な衣服と住まい」については、第5学年において「カード入れ」や「ランチョンマット」を製作したり、冬を快適に過ごす工夫を考えたりする活動や第6学年において掃除をしたり、洗濯などの衣服の手入れをしたりする活動を通して、衣生活や住生活にかかわる基礎的・基本的な知識及び技能を身に付ける。</li> <li>・「D身近な消費生活と環境」については、第5学年において「買い物名人〇か条」を考える活動や、第5、6学年において、衣食住の生活と関連させた環境を大切に工夫を考える活動を通して、物の選び方や金銭の使い方、環境に配慮した生活の仕方についての関心を高め、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付ける。</li> </ul> <p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、「カラフルゆで野菜サラダ」や「ランチョンマット」など、調理や製作の基礎的・基本的な知識・技能を習得させる実習題材や、「身近な食品でおかずをつくろう」「マイバックをつくろう」など、実生活に活用できる具体的な活動例が取り上げられている。</p>			
使 用 上 の 配 慮 等	<p>○ 内容の構成・排列については、学習内容や17の大題材（42の小題材）で構成するとともに、「やってみよう家庭の仕事」や「手ぬいで楽しい小物の製作」などの基礎的な学習をした後に、「栄養のバランスのよい食事づくり」や「生活を楽しくする布製品の製作」など基礎的・基本的な知識及び技能の活用を図る学習を取り扱い、系統的、発展的に学習することができる工夫がなされている。</p> <p>○ 内容の分量については、「A家庭生活と家族」は21ページ、「B日常の食事と調理の基礎」は38ページ、「C快適な衣服と住まい」は52ページ、「D身近な消費生活と環境」は4ページであり、総ページ数は114ページで、前回より約5パーセント増となっている。（B5版からAB版に変更）</p> <p>○ 写真、挿絵、マーク、コラム欄などを効果的に配置することによって興味・関心をもたせたり、学習のめあてや課題の振り返りを枠組みで掲載し、学習の見通しを持ったりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 課題の投げかけで「考えよう」「話し合おう」「調べよう」「やってみよう」の提示により問題解決的な学習を促したり、「チャレンジコーナー」を示し、長期休業中における家庭と連携を図った活動を促したりするなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ レイアウトや配色を工夫するとともに、2年間の学習の見通しや振り返りに活用するため巻頭に「家庭科の学習」、巻末に「成長した私たち」を掲載したり、実習、実験における安全や衛生に留意しながら学習を進めるため「安全」マークを示したりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>			
そ の 他				

様式 1

教科用図書第 3 採択地区調査委員会

( 保 健 ) 小委員会委員長

皆 川 一 海



<p>調 査 研 究 ・ 審 議 の 経 過</p>	<p>1 審議結果の概要</p> <p>(1) 審議の対象となった発行者名及び数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京書籍、大日本図書、文教社、光文書院、学習研究社の 5 者</li> </ul> <p>(2) 調査研究の手順</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第 1 回調査委員会（6 月 2 6 日）で 5 者の教科書を配布し、調査の観点や手順を協議した。</li> <li>・第 2 回調査委員会（7 月 1 5 日、1 6 日）に、各自の調査研究を基に内容別に協議し、様式 1 について整理するとともに、全体を通して各者の特徴をまとめ様式 2、様式 3 を作成した。</li> </ul> <p>(3) 調査研究のための観点、項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取扱内容については、学習指導要領の総則及び各教科各学年の目標、内容等に基づいて取り上げられているかという視点と知識・技能の習得、活用、探究に対応できるように、実生活に関する内容がどのように取り扱われているかという視点で調査し整理した。</li> <li>・内容の程度・排列・分野については、地域の実態や学年の発達の段階に応じて系統的、発展的に組織されているかという観点と内容の分量が、領域ごと、全体としてどのようになっているかという視点で調査し整理した。</li> <li>・内容上の配慮等については、児童の学習意欲を高めるような工夫がなされているかという視点と自ら課題解決に取り組み、主体的に学習に取り組めるような工夫がされているかという視点と目次など使用上の便宜は図られているかという視点で調査し整理した。</li> </ul>
<p>全 体 を 通 じ て の 特 徴</p>	<p>2 審議結果の概要</p> <p>(1) 東京書籍については、学習の課題が明確に表示されていることや、学習が「振り返ってみよう」「考えてみよう」「活用して深めよう」と、実生活に即して展開するよう工夫がされており、優れている。</p> <p>大日本図書については、導入において豊富なイラストを掲載し、児童自ら課題を見つけ出し学習を進めていく工夫がなされている。また、「〇〇の先生」という小コラムで豆知識を盛り込んであり、優れている。</p> <p>文教社については、「つぶやきくん」というキャラクターからのメッセージとして、知識の補足を行い、課題意識を高める工夫や、脚注に豆知識を掲載するなどの全体の構成に工夫が見られ、優れている。</p> <p>光文書院については、学習方法や課題の解決に導くヒントなどを、マークで表示して学習をスムーズに進めることができる工夫がなされ、学習に関連するホームページのアドレスが掲載されており、優れている。</p> <p>学研については、キャラクターの吹き出しで学習の進展にヒントを与えたり、脚注に、豆知識を掲載するなどの工夫がなされている。また、文字の大きさや書体を工夫するなど使いやすい配慮がなされており、優れている。</p> <p>(2) このほか、東京書籍と光文書院については、関連する学習内容を示す記述がされている事、薬物乱用についても触れているなどの話題も出されていた。</p>

保健領域の目標等について

【教科の目標】

心と体を一体としてとらえ、適切な運動の経験と健康・安全についての理解を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育てるとともに健康の保持増進と体力の向上を図り、楽しく明るい生活を営む態度を育てる。

【学年・領域等の目標など】

[第3学年及び第4学年]

(3) 健康な生活及び体の発育・発達について理解できるようにし、身近な生活において健康で安全な生活を営む資質や能力を育てる。

[第5学年及び第6学年]

(3) 心の健康、けがの防止及び病気の予防について理解できるようにし、健康で安全な生活を営む資質や能力を育てる。

【参考】

○ 保健については、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し改善していく資質や能力を育成するため、一層の内容の改善を図る。その際、小・中・高等学校を通じて系統性のある指導ができるように、子どもたちの発達の段階を踏まえて保健の内容の体系化を図る。また、生活習慣の乱れやストレスなどが健康に影響することを学ぶことが重要であり、健康の概念や課題などの内容を明確に示すとともに、心身の発育・発達と健康、生活習慣病などの疾病の予防、保健医療制度の活用、健康と環境、傷害の防止としての安全などの内容の改善を図る。特に、小学校低学年においては、運動を通して健康の認識がもてるよう指導の在り方を改善する。

○ 標準授業時数

第3学年— 105単位時間

第4学年— 105単位時間

第5学年— 90単位時間

第6学年— 90単位時間

様式3

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
<p>取 扱 内 容</p> <p>各 学 年 の 目 標 、 内 容 等</p> <p>学 習 指 導 要 領 の 総 則 及 び 各 教 科</p>	2・東書	第3,4学年 第5,6学年	保健331 保健531	新編 新しいほけん3・4 新編 新しい保健5・6
<p>内 容 の 構 成 ・ 排 列 、 分 量 等</p>	<p>○ 各学年の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第3,4学年～ 「毎日の生活と健康」については、健康に過ごすための1日の生活について考えたり、身の回りの環境の整え方について考えたりする活動を通して、健康の大切さを認識するとともに、健康によい生活について理解する。</p> <p>「育ちゆく体とわたし」については、入学してから現在までの自分の身長を調べたり、思春期における体の変化について調べたりする活動を通して、体の発育・発達について理解する。</p> <p>第5,6学年～ 「心の健康」及び「けがの防止」については、心と体が影響し合っていることについて考えたり、犯罪が起こりやすい場所について考えたりする活動を通して、心の発達及び不安、悩みへの対処やけがの防止について理解する。</p> <p>「病気の予防」については、感染症や生活習慣病の予防の仕方について考えたり、喫煙や飲酒が健康に及ぼす影響について調べたりする活動を通して、病気の予防について理解する。</p> <p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第3,4学年～ 事例を基に生活習慣や身の回りの環境について改善点を見付けたり、栄養のバランスがとれた朝食のメニューを選んだりするなど、知識を活用する活動</p> <p>第5,6学年～ 事例を基に不安や悩みへの対処の仕方やけがの防止の仕方について考えたり、喫煙や飲酒を勧められたときの断り方を考えたりするなど、知識を活用する活動</p> <p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第3,4学年～ 健康によい生活の仕方について学習した後、学習したことを生かして自分の考えをまとめる活動を位置付け、既習事項を生かすことができるようにするなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第5,6学年～ 身近な生活における健康・安全について学習した後、健康に関する目標を立てる活動を位置付け、中学校での指導に結び付けるようにするなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第3,4学年～ 「毎日の生活と健康」は14ページ、「育ちゆく体とわたし」は15ページであり、総ページ数は29ページで、前回と同程度である。</p> <p>第5,6学年～ 「心の健康」は10ページ、「けがの防止」は18ページ、「病気の予防」は23ページにであり、総ページ数は51ページで、前回より約4パーセント増となっている。</p>			
<p>使 用 上 の 配 慮 等</p>	<p>○ 学習に関連する資料を「まめちしき」等として掲載したり（全学年）各章末に「広げよう」として資料ページを設け、健康に関する今日的な話題などを掲載したり（全学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 「考えてみよう」、「話し合ってみよう」などの学習方法を提示したり（全学年）、課題の解決に結び付く視点やヒントをキャラクターの吹き出しで示したり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</p> <p>○ 自分の身長の伸びを確認できる目もりや（第4学年）、單元ごとに学習内容の理解の状況をチェックできる「学習を振り返ろう」を掲載したり（全学年）、文字の書体や大きさを工夫したりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>			
<p>その他</p>				



様式3

番号 観 点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
取 扱 内 容  各 学 年 の 目 標 、 内 容 等	4・大日本	第3,4学年 第5,6学年	保健332 保健532	新版 たのしいほけん3・4年 新版 たのしい保健 5・6年
内 容 の 構 成 ・ 排 列 、 分 量 等	○ 各学年の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第3,4学年～ 「毎日の生活と健康」については、自分の1日の生活を振り返り、規則正しい生活について考えたり、身の回りの環境の整え方について考えたりする活動を通して、健康の大切さを認識するとともに、健康による生活について理解する。 「育ちゆく体とわたし」については、1年生から4年生までの自分の体格の変化を調べたり、健康による食事の内容について考えたりする活動を通して、体の発育・発達について理解する。 第5,6学年～ 「心の健康」及び「けがの防止」については、不安や悩みに関する自分の経験を振り返ったり、犯罪被害に遭わない行動の仕方を考えたりする活動を通して、心の発達及び不安、悩みへの対処やけがの防止について理解する。 「病気の予防」については、生活習慣病の予防に関する自分の経験を振り返ったり、喫煙や飲酒が健康に及ぼす影響について調べたりする活動を通して、病気の予防について理解する。 ○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第3,4学年～ 健康による生活を送るために自分が気を付けることを考えたり、思春期の体や心が変化する時期の生活の仕方について考えたりするなど、知識を活用する活動 第5,6学年～ 自分が不安や悩みをもったときの対処の仕方について考えたり、喫煙や飲酒などを勧められたときの断り方を考えたりするなど、知識を活用する活動			
使 用 上 の 配 慮 等	○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第3,4学年～ 体の変化や発育の違いについて学習した後、命の大切さを扱う発展的な内容を位置付け、体をよりよく発育・発達させる大切さについて認識を深められるようにするなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第5,6学年～ 喫煙による健康への害について学習した後、人から勧められたときの断り方を学習する活動を位置付け、飲酒も同様の流れで繰り返し学習できるようにするなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 ○ 内容の分量については、次のようになっている。 第3,4学年～ 「毎日の生活と健康」は14ページ、「育ちゆく体とわたし」は14ページであり、総ページ数は29ページで、前回と同程度である。 第5,6学年～ 「心の健康」は12ページ、「けがの防止」は14ページ、「病気の予防」は22ページであり、総ページ数は49ページで、前回より約9パーセント増となっている。			
そ 他	○ 各単元の導入で、学習をナビゲートするゲームを掲載したり（全学年）、学習に関連する資料やホームページのアドレスを「ミニちしき」などとして掲載したり（全学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 「やってみよう」、「話し合ってみよう」などの学習方法を提示したり（全学年）、課題の解決に結び付く視点やヒントをキャラクターの吹き出しで示したり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。 ○ 目次に学習する内容と学習の仕方の流れや（全学年）、自分の成長の変化に興味・関心をもって学習することができるシールを掲載したり（第4学年）、色づかいや表現を簡潔に記述したりするなど、使用上の便宜が図られている。			

様式3

番号 観 点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
取 扱 内 容  各 学 年 の 目 標 、 内 容 等	207・文教社	第3,4学年 第5,6学年	保健333 保健533	わたしたちのほけん3・4年 わたしたちの保健 5・6年
内 容 の 構 成 ・ 排 列 、 分 量 等	<p>○ 各学年の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第3,4学年～ 「毎日の生活と健康」については、生活リズムの見直しを考えたり、体を清潔にするために気を付けていることを振り返ったりする活動を通して、健康の大切さを認識するとともに、健康によい生活について理解する。</p> <p>「育ちゆく体とわたし」については、自分の体格の変化や発育の個人差について調べたり、思春期における異性とのかかわり方について考えたりする活動を通して、体の発育・発達について理解する。</p> <p>第5,6学年～ 「心の健康」及び「けがの防止」については、不安や悩みに関する自分の経験を振り返ったり、けがを防ぐためのめあてを考えたりする活動を通して、心の発達及び不安、悩みへの対処やけがの防止について理解する。</p> <p>「病気の予防」については、病原体が主な要因となって起こる病気の予防の仕方について考えたり、喫煙や飲酒などが健康に及ぼす影響について考えたりする活動を通して、病気の予防について理解する。</p> <p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第3,4学年～ 自分の生活調べを通して生活リズムを見直す点について考えたり、よりよい発育のために心掛けたいことを考えたりするなど、知識を活用する活動</p> <p>第5,6学年～ 自分の学校の「校内安全点検」や地域の安全点検をしたり、自分が食べているおやつ脂肪分や塩分の量を調べたりするなど、知識を活用する活動</p> <p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第3,4学年～ 体の清潔について学習した後、手や1日着た衣類の汚れを調べる学習を位置付け、調べたことを生かして学習内容の定着が図られるようにするなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第5,6学年～ 思春期の心の健康について学習した後、友達の不安や悩みへのアドバイスを考える学習を位置付け、自分から他者へと考える視野を広げられるようにするなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第3,4学年～ 「毎日の生活と健康」は10ページ、「育ちゆく体とわたし」は14ページであり、総ページ数は25ページで、前回と同程度である。</p> <p>第5,6学年～ 「心の健康」は10ページ、「けがの防止」は12ページ、「病気の予防」は22ページであり、総ページ数は45ページで、前回より約10パーセント増となっている。</p>			
使 用 上 の 配 慮 等	<p>○ 児童が親しみやすい大人のキャラクターを用いて本文の補足をしたり（全学年）、「情報コーナー」を設け、学習に関連する資料やホームページのアドレスを掲載したり（全学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 学習する内容に応じて「考えてみよう」、「話し合ってみよう」などの学習方法を提示したり（全学年）、課題の解決に結び付く視点やヒントを示したり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</p> <p>○ 自分の身長伸びを確認できる目もりや（第4学年）、心の健康について課題意識をもって学習に取り組むことができるチェック欄を掲載したり（第5学年）、文字の書体や大きさを工夫したりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>			
その他				

様式3

番号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
観点	208・光文	第3,4学年 第5,6学年	保健334 保健534	新版 小学ほけんけんこうってすばらしい 3・4年 新版 小学保健見つめよう健康 5・6年
取扱内容  各学年の目標、内容等	<p>○ 各学年の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第3,4学年～ 「毎日の生活と健康」については、1日の生活を振り返り、生活時間表を作ったり、身の回りの環境の整え方について考えたりする活動を通して、健康に大切さを認識するとともに、健康によい生活について理解する。 「育ちゆく体とわたし」については、個人による身長伸び方の違いを調べたり、思春期における男女の体の変化を比べたりする活動を通して、体の発育・発達について理解する。</p> <p>第5,6学年～ 「心の健康」及び「けがの防止」については、心と体の関係について考えたり、危険を予測し、安全な行動の仕方について考えたりする活動を通して、心の発達及び不安、悩みへの対処やけがの防止について理解する。 「病気の予防」については、病原体が主な要因となって起こる病気の予防の仕方について考えたり、喫煙や飲酒などが健康に及ぼす影響について考えたりする活動を通して、病気の予防について理解する。</p> <p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第3,4学年～ 自分のこれからの生活や体の清潔を保つことについて気を付けたいことを考えたり、毎日続けられる自分に合った運動について考えたりするなど、知識を活用する活動</p> <p>第5,6学年～ 身の回りにおける危険から身を守るための対処の仕方について考えたり、喫煙や飲酒などを勧められたときの断り方を考えたりするなど、知識を活用する活動</p>			
内容の構成・排列、分量等	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第3,4学年～ 自分の生活の仕方について学習した後、食育に関する内容を位置付け、学習したことを実生活に生かすことができるようにするなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第5,6学年～ 交通事故の防止について学習した後、安全な行動の仕方について学習する活動を位置付け、犯罪被害の防止も同様の流れで繰り返し学習できるようにするなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第3,4学年～ 「毎日の生活と健康」は12ページ、「育ちゆく体とわたし」は14ページであり、総ページ数は29ページで、前回と同程度である。</p> <p>第5,6学年～ 「心の健康」は10ページ、「けがの防止」は18ページ、「病気の予防」は20ページであり、総ページ数は49ページで、前回より約9パーセント増となっている。</p>			
使用上の配慮等	<p>○ 知っておくためになる内容や学習に関するホームページのアドレスを掲載したり（全学年）、健康に関する今日的な話題などを「保健の広場」として掲載したり（全学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 話し合いや記述などの学習方法をマークで提示したり（全学年）、課題の解決に結び付く視点やヒントをキャラクターの吹き出しで示したり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</p> <p>○ 既習の内容について、確認・復習するためのマークや（全学年）、ページ下に学習内容のまとめりごとの区切りのマークを掲載したり（全学年）、色づかいや表現を簡潔に記述したりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>			
その他				

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
		224・学研	第3,4学年 第5,6学年	保健335 保健535
取扱内容  各学年の目標、内容等	<p>○ 各学年の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第3,4学年～ 「毎日の生活と健康」については、生活の仕方による心や体の調子の変化について振り返ったり、手や下着などの汚れを調べたりする活動を通して、健康の大切さを認識するとともに、健康によい生活について理解する。</p> <p>「育ちゆく体とわたし」については、台紙を使って自分の身長伸びを調べたり、給食の献立を調べたりする活動を通して、体の発育・発達について理解する。</p> <p>第5,6学年～ 「心の健康」及び「けがの防止」については、事例を基に自分の気持ちの伝え方を考えたり、事故が起こりやすい行動について予測したりする活動を通して、心の発達及び不安、悩みへの対処やけがの防止について理解する。</p> <p>「病気の予防」については、病原体が主な要因となって起こる病気の予防の仕方について考えたり、喫煙や飲酒などが健康に及ぼす影響について調べたりする活動を通して、病気の予防について理解する。</p> <p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第3,4学年～ 身の回りの生活環境を整えるために自分が気を付けることを考えたり、体がよりよく成長するために自分が実行することを考えたりするなど、知識を活用する活動</p> <p>第5,6学年～ 身の回りの事故や犯罪が起こりやすい場所などを調べて、地域の安全マップ作りをしたり、飲酒や喫煙などを勧められたときの断り方を考えたりするなど、知識を活用する活動</p>			
内容の構成・ 排列、 分量等	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第3,4学年～ 健康によい生活の仕方について学習した後、リズムのある生活について考える活動を位置付け、学習したことを実生活に生かすことができるようにするなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第5,6学年～ 心と体のつながりについて学習した後、思春期における不安や悩みについて考える学習を位置付け、心と体のつながりについて関連を図りやすいようにするなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第3,4学年～ 「毎日の生活と健康」は14ページ、「育ちゆく体とわたし」は17ページであり、総ページ数は33ページで、前回より約32パーセント増となっている。</p> <p>第5,6学年～ 「心の健康」は12ページ、「けがの防止」は14ページ、「病気の予防」は25ページであり、総ページ数は53ページで、前回より約29パーセント増となっている。</p>			
使用上の配慮等	<p>○ 学習に関連する資料やホームページのアドレスを脚注などに掲載したり(全学年)、学習の見通しをもてるよう単位時間の学習課題を各項目のタイトルの近くに示したり(全学年)するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 「考えてみよう」、「調べてみよう」などの学習方法を提示したり(全学年)、課題の解決に結び付く視点やヒントをキャラクターの吹き出しで示したり(全学年)するなど、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</p> <p>○ 目次に健康の概念を表すイラストや(全学年)、まとめのページに学習の振り返りや学びを生かした取組ができる「学習のまとめ」を掲載したり(全学年)、文字の書体や大きさを工夫したりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>			
その他				

<p>調査研究・審議の経過</p>	<p>1 審議経過の概要</p> <p>(1) 審議の対象となった発行者及び数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・偕成社、学研教育出版、成美堂出版、永岡書店、日本教育研究出版、ひさかたチャイルド、ポプラ社、ジュラの8者</li> </ul> <p>(2) 調査研究の手順</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回調査委員会(6月26日)で8者の教科書を配付し、調査の観点や手順を協議した。</li> <li>・第2回調査委員会(7月15日、16日)で、各自の調査研究を基に内容別に協議し、様式1について整理するとともに、全体を通して各者の特徴や優れている点についてまとめ、様式2を作成した。</li> </ul> <p>(3) 調査研究のための観点、項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取り扱い内容については、各者とも「学習指導要領に定める小学校の目的及び目標を達成する内容を適切に取り上げているか」「子どもの興味や関心に応じて学びやすい内容になっているか」という観点で調査し整理した。</li> <li>・内容の程度、排列、分量等については、「程度は、地域の実態や子どもの生活経験及び興味や関心に配慮されているか」「排列が発達の段階や障害の程度に応じて、体系的、系統的に組織されているか」、「量が障害の種類や程度に応じて押さえられているか」という観点で調査し整理した。</li> <li>・使用上の配慮等については、「子どもの学習意欲を高める工夫や扱いやすく、丈夫な作りになっているか」という観点で調査し整理した。</li> </ul>
<p>全体を通じての特徴</p>	<p>2 審議経過の概要</p> <p>(1) 偕成社については、子どもが興味を示す動物の特徴的な動作が絵本の形で掲載されている特徴があり、読みながら、真似っこ遊びを楽しみ、動物のイメージを膨らませていくことができるよう配慮されており、優れている。</p> <p>学研教育出版については、体と健康をテーマに体の中の仕組みや働きについて分かりやすく説明しているという特徴があり、見開き全体に示された絵と解説文で紹介されており、興味・関心がもてるよう配慮されており、優れている。</p> <p>成美堂については、子どもになじみの深い童謡が収められ、音楽が流れるなど子どもの興味を高めるという特徴があり、豊富な写真やイラストを基に子どもが見通しをもって学習を進められるよう配慮がされており、優れている。</p> <p>永岡書店については、子どもがよく知っている曲が収められ、曲のテンポに合わせて打ったり、振ったりすると様々な音が出る特徴があり、子どもが興味をもってリズム感が養われるよう配慮がされており、優れている。</p> <p>日本教育研究出版は、自分の生い立ちから社会人になるまでをプリント形式にしながらか順番に学習できる特徴があり、子どもの考えを助けるような適切なイラストが掲載されるなど、資料として活用しやすいよう配慮がされており、優れている。</p> <p>ひさかたチャイルドについては、電車に乗って、景色や季節の移り変わり、人の表情の変化などについて学習する構成の特徴があり、トンネルの小窓から次のページの様子が見えたり、学習意欲を高める配慮がされており、優れている。</p> <p>ポプラ社については、子どもに馴染みの深い童謡が22曲収められているという特徴があり、お手本の歌を聞いたり、メロディーに合わせて歌ったりすることができるよう配慮がされており、優れている。</p> <p>ジュラについては、見開きごとに物語性を取り入れるなど、子どもが興味をもてる特徴があり、ひらがな50音をマーカーでなぞりながら繰り返し学習ができるよう配慮がされており、優れている。</p> <p>(2) このほかの話題は出されていない。</p>

書名	発行者	取扱内容 内容の程度・排列・分量等 使用上の配慮等	障害の種類	発達の段階	備考
	著者名				
	価格				
教科名		国語			
かいてけしてまたかける あいうえお	ジュラ	見開きごとに物語性を取り入れることによって、子どもが興味をもてるという特徴をもっている。 楽しい絵により子どもの関心を高め、ひらがな50音をマーカーペンでなぞり、空白欄に書けるようになっている。ペンで書いたところを、何度も書いたり消したりできるので繰り返し学習ができる。	視聴知肢病	B	体裁は25.5×18cmで、ページ数は20ページである。 各ページ厚紙で堅ろうで、マーカーペン赤黒つきである。
	うだがわさちこ				
	1,360				
教科名		社会			
はじめてののりもの絵本 はっけんずかんのりもの	学研教育出版	乗物全般について、その働きなどの特徴について子どもが視覚的に理解しやすい内容という特徴をもっている。 分かりやすい絵に加えて、扉を開くと中の様子が見える仕掛けがあり、子どもが興味・関心をもって学習できるよう配慮されている。絵や実物の写真など、分かりやすく読めるよう工夫されている。	視聴知肢病	C	体裁は26.5×21.5cmで、ページ数は34ページである。 各ページ厚紙で堅ろうである。
	小賀野実 東京消防庁 田園 調布消防署 監修				
	1,880				
ロングセラー絵本 でんしゃで いこう でんしゃで かえろう	ひさかたチャイルド	電車に乗って、景色や季節の移り変わり、人の表情の変化などについて学習する構成という特徴をもっている。 トンネルの出口の小窓から、次ページの様子が見えるなど、学習意欲を高める配慮がなされている。 絵は、季節感や電車が通る土地の特色が子どもに分かりやすく描かれており、工夫されている。	視聴知肢病	A	体裁は25×25cmで、ページ数は24ページである。 装丁は美しく堅ろうで、紙質も良い。
	間瀬 なおかた				
	1,000				

書名	発行者	取扱内容 内容の程度・排列・分量等 使用上の配慮等	障害の種類	発達の段階	備考
	著者名				
	価格				
教科名		音楽			
音と光の出る絵本の たのしいどうよう	成美堂出版	「メリーさんのひつじ」「いとまき」等の14曲の童謡が収められているという特徴をもっている。 見開き2ページに大きな歌詞とイラストが示され、曲に合わせて楽しく歌えるよう配慮されている。 曲名の絵ボタンを押すと歌詞入りと伴奏のみの両方の演奏が聴くことができ、関心を高める工夫がされている。	視聴 知肢病	A	体裁はA5版で、ページ数は35ページである。表紙はビニール装丁である。 音の出る装置が付いている。
	深見 悦司				
	1,600				
たんたんタンバリン リズムえほん	永岡書店	子どもがよく知っている「いぬのおまわりさん」「キラキラぼし」「さんぽ」など全6曲が収められている特徴をもっている。 曲のテンポに合わせて叩くと「タンタン」「パフパフ」と、縦に振ると「シャンシャン」「キラリーン」と音が出て、子どもが楽しみながらリズム感が養われる。また、様々な表現活動において活用できるなど工夫されている。	視聴 知肢病	A	体裁は円形で、14ページある。 表紙はビニール装丁で、堅ろうである。 音の出る装置が付いている。
	ホビー カルチャー部				
	1,280				
リズムにあわせて、 うたいながら、 たたこう！ たいこでドン！ドン！ スペシャル	永岡書店	子どもがよく知っている「崖の上のポニョ」「ドラえもん」など全10曲が収められているという特徴をもっている。 曲のテンポに合わせて叩くと「円盤の飛ぶ音」「ピヨピヨ」「ニャー」「バシーン」と8種類の音が出て、子どもが楽しみながらリズム感が養われる。また、様々な表現活動において活用できるなど工夫されている。	視聴 知肢病	A	体裁は22.5×21cmである。 表紙はビニール装丁で厚紙、堅ろうである。 音の出る装置が付いている。
	ホビー カルチャー部				
	1,500				

書名	発行者	取扱内容 内容の程度・排列・分量等 使用上の配慮等	障害の種類	発達の段階	備考
	著者名				
	価格				
教科名		音楽			
おととあそぼうシリーズ 33 新装版おてほんのうたがながれるどうようえほん	ポプラ社	「アイアイ」「いぬのおまわりさん」など、22曲の童謡が収められているという特徴をもっている。 お手本の歌を聞きながら歌えるなど、段階的な活用ができるよう配慮されている。選曲スイッチと歌詞の絵が同じであり、音量調節もできるなど、操作がわかりやすいよう工夫されている。	視聴 知 肢 病	A	体裁は15×24cmで、ページ数は47ページである。表紙はビニール装丁、厚紙、堅ろうである。歌詞と選曲するスイッチに分かれている。
	坂井宏先 編集				
	1,780				
教科名		図画工作			
作ってみよう！ リサイクル工作68	成美堂出版	リサイクル工作が、素材ごとに整理され、子どもの興味・関心に応じて選択しやすい構成となっている。 遊び方を最初に写真で提示し、意欲を喚起している。また、用意するものや作業工程が視覚的に表示され、見通しをもって学習に取り組めるよう配慮されている。 絵や色彩が鮮明であり、工夫されている。	視聴 知 肢 病	C	体裁は26×19.5cmで、ページ数は143ページである。 装丁は内容が分かりやすく表現されて、堅ろうである。
	近藤 芳弘				
	900				
教科名		家庭、技術・家庭、職業・家庭			
私たちの進路 〈あしたへのステップ〉	日本教育研究出版	高等部で勉強している生徒の進路について勉強するために編集されたものという特徴をもっている。 各学校で実践しているプリント教材を項目ごとに精選、整理されており、卒業後の進路、自らの生き方の選択に役立てることができるよう配慮されている。 絵や文字が分かりやすく、工夫されている。	視聴 知 肢 病	C	体裁は18×25.5cmで、ページ数は128ページである。 表紙はビニール装丁である。
	全国特別支援学校 知的障害教育学校 長会				
	1,400				



書名	発行者	取扱内容 内容の程度・排列・分量等 使用上の配慮等	障害の種類	発達の段階	備考
	著者名				
	価格				
教科名		体育・保健 体育			
エリック・カールの絵本 できるかな？ あたまからつまさきまで	偕成社	子どもが興味を示す動物の特徴的な動作を、絵本の中の子どもが真似をするという特徴をもっている。 読みながら、真似っこ遊びを楽しみ、動物のイメージを膨らませることができるよう配慮されている。 絵は背景を無色とし、対象を色彩豊かに分かりやすく描いているなど工夫されている。	視聴 知 肢 病	A	体裁は31×23.5cmでページ数は25ページである。 装丁は美しく、堅ろうである。
	エリック・カール				
	1,200				
あそびのおうさまずかん 1 からだ	学研教育出版	体と健康をテーマに、体の中の仕組みや働きについて分かりやすく説明しているという特徴をもっている。 見開き2ページで体の仕組みや働きなどについて紹介されており、興味・関心がもてるよう配慮されている。 写真で動物と比較することによって、自分の体や健康への関心を高めることができるよう工夫されている。	視聴 知 肢 病	C	体裁は26×23cmでページ数は64ページである。 表紙は厚紙でビニール加工されている。
	保志 宏 監修				
	780				